

令和8年度
大学・高等学校教育研究懇談会 報告集
第48号

兵庫県立学校長協会進路指導委員会
兵庫県高等学校進路指導研究会

【7月28日（火）】 兵庫教育大学

時 間：14：00～16：00

方 法：オンライン開催

【7月29日（水）】 兵庫県立大学・芸術文化観光専門職大学

時 間：10：00～12：00

会 場：兵庫県立大学神戸商科キャンパス【本部棟大会議室】

目 次

I 大学・高等学校教育研究懇談会報告集の発刊によせて	1
II 兵庫県立大学・芸術文化観光専門職大学	2
1 高等学校 参加校等一覧	3
2 次第	5
3 各大学出席者一覧	6
4 代表挨拶	7
(1) 兵庫県立大学 高坂 誠 学長	
(2) 芸術文化観光専門職大学 平田 オリザ 学長	
(3) 県教育委員会事務局高校教育課 都築 紫峰 指導主事	
(4) 県立学校長協会 新谷 浩一 会長（県立神戸高等学校長）	
5 質問事項・回答（兵庫県立大学）	10
6 質問事項・回答（芸術文化観光専門職大学）	49
7 質疑応答・懇談	101
8 閉会挨拶 兵庫県公立大学法人 藤原 俊平 副理事長兼事務総長	105
III 兵庫教育大学	106
1 高等学校 参加校等一覧	107
2 次第	109
3 大学出席者一覧	110
4 代表挨拶	111
(1) 兵庫教育大学 森山 潤 学長	
(2) 県教育委員会事務局高校教育課 都築 紫峰 指導主事	
(3) 県立学校長協会 波部 新 副会長（県立西脇工業高等学校長）	
5 兵庫教育大学学校教育学部概要	114
6 質問事項・回答	125
7 質疑応答・懇談	131
8 閉会挨拶 兵庫教育大学 森山 潤 学長	135
IV お礼・編集後記	136

大学・高等学校教育研究懇談会報告集の発刊によせて

県立学校長協会進路指導委員会
委員長 大塚 剛 啓
(県立淡路三原高等学校長)

県立学校長協会の進路指導委員会では、就職指導と進学指導の両面において活動していますが、進学指導に関する活動の一つとして、従来から進路指導研究会と連携し、県内の3大学との教育研究懇談会を開催しています。

この懇談会の開催にあたっては、兵庫教育大学、兵庫県立大学、芸術文化観光専門職大学の関係者の皆様に、事前質問への回答、当日の会場設営、進行、オンライン配信等において多大なご協力を賜っております。この場をお借りし、大学関係者の皆様に、改めて心から感謝を申し上げます。

各大学からは、学長、副学長、学部長などの幹部の先生方にご出席をいただき、大学の紹介や入試についての説明、高校側からの質問に対する回答などをしていただいています。また、兵庫教育大学との懇談会ではオンライン開催ということもあり、大学の先生にご講義いただいています。

高校側にとっては、各大学について詳しく知ることができる上、大学の幹部の皆様と様々な意見交換ができる貴重な機会となっています。

さて、高校教育改革の国の動きとしては、今年2月に文部科学省が『高校教育に関する基本方針（グランドデザイン）～2040年に向けた「N-E.X.T（ネクスト）ハイスクール構想」～』を公表し、今後の改革の方向性を示しました。

この中で、①専門高校の機能強化・高度化、②普通科改革を通じた特色化・魅力化、③地理的アクセス・多様な学びの確保の3つの観点で各都道府県に拠点校を設け、取り組むことになっています。兵庫県では現在のところ、1校がこの事業の指定を受け、巨額の予算が投じられることになっています。

また、学習指導要領改訂の動きも進んでおり、令和14（2032）年度入学生から順次新たな学習指導要領が実施されることが予定されています。

今後の高校教育改革や学習指導要領改訂などの流れをうけ、大学入試のあり方も変化していくことが予想されます。そのような変化に対応するためには、高校側は大学との連携を深め、最新の情報を把握しておくことが肝要です。その意味において、これまで継続して行われてきたこの大学・高等学校教育研究懇談会の意義はますます高まっていると考えます。

この報告集では、今年度の懇談会の実施内容が詳しく記載されています。今後の各高等学校における進路指導の一助になれば幸いです。

最後になりましたが、ご多用の中ご参加くださいました県教育委員会事務局高校教育課、県立学校長協会役員の皆様、そして各高等学校の校長先生や進路指導担当の先生方に厚く御礼申し上げます。さらに、準備から本報告集の作成まで多大な労力を注いでいただいた進路指導委員会の担当の皆様に、深く感謝申し上げ、発刊にあたってのあいさつとさせていただきます。

兵庫県立大学 神戸商科キャンパス会場

兵庫県立大学
芸術文化観光専門職大学

7月29日(水)

会 場：兵庫県立大学 神戸商科キャンパス（本部棟大会議室）
（対面・オンライン）

時 間：10:00～12:00

〔別添 配付資料〕

○兵庫県立大学

1. 兵庫県立大学学校推薦型選抜実施概要・実績・今年度予定
2. 2027 年度（令和 9 年度）環境人間学部改編資料
3. 個と社会の Well-being に貢献する新たな知の拠点
4. 兵庫県立大学案内「CAMPUS GUIDE 2026」
5. クローズアップ兵庫県立大学
6. 2027 年度（令和 9 年度）兵庫県立大学入学者選抜方法等
7. 入試ガイド
8. 令和 8 年度(2026 年度)入試結果等資料
9. 兵庫県立大学 OPEN CAMPUS 2026
10. GO GLOBAL 留学プログラム 2026
11. 教職教育センター資料（ポスター、説明用 PP）

○芸術文化観光専門職大学

1. 芸術文化観光専門職大学学校推薦型選抜実施概要・実績・今年度予定
2. 2026 年度（令和 8 年度）入学者選抜の実施状況
3. 就職・進路状況（2025 年度卒業生）
4. 芸術文化観光専門職大学案内「CAT GUIDE BOOK 2027」
5. 2027 年度（令和 9 年度）芸術文化観光専門職大学入学者選抜方法等

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会 出席者(高等学校関係者)一覧

【7月29日(水)兵庫県立大学・芸術文化観光専門職大学】

41

35

	所属	職名・分掌等	名前	対面	オンライン
1	県教育委員会 高校教育課	指導主事	都築 紫峰	○	
2	学校長協会会長	校長（県立神戸）	新谷 浩一	○	
3	学校長協会副会長	校長（県立西脇工業）	波部 新	○	
4	進路指導委員会委員長	校長（県立淡路三原）	大塚 剛啓	○	
5	進路指導委員会副委員長	校長（県立大学附属）	足立 幸謙	○	
6	県立相生産業高等学校	教諭 進路指導部	首藤 賀子		○
7	県立明石高等学校	教諭 進路指導部長	池本 圭佑		○
8	県立明石高等学校	校長	泉村 靖治	○	
9	県立明石北高等学校	教諭 進路指導部長	松原 康子		○
10	県立明石城西高等学校	教諭 進路指導部長	梅原 英治		○
11	県立明石西高等学校	主幹教諭 進路指導部長	魚住 和晃		○
12	県立尼崎稲園高等学校	教諭 キャリアガイダンス部長	笹木 紫		○
13	県立尼崎稲園高等学校	校長	長澤 広昭	○	
14	県立尼崎小田高等学校	主幹教諭 進路指導部長	吉田 美香		○
15	県立淡路三原高等学校	主幹教諭 進路指導部長	宮尾 文明		○
16	県立家島高等学校	校長	井上 新悟	○	
17	県立家島高等学校	教諭 進路指導部長	三澤 岳人		○
18	県立生野高等学校	校長	前田 仁志		○
19	県立伊丹北高等学校	校長	高橋 義尚	○	
20	県立伊丹北高等学校	教諭 進路ガイダンス部長	足立 龍飛		○
21	県立小野高等学校	教諭 進路指導部長	大江 佐智子		○
22	県立加古川西高等学校	教諭 進路指導部長	安田 泉		○
23	県立加古川東高等学校	主幹教諭 進路指導部長	大澤 哲		○
24	県立上郡高等学校	校長	大楠 扶美男	○	
25	県立川西北陵高等学校	校長	長谷場 純一	○	
26	県立神崎工業高等学校	校長	笹城戸 清司	○	
27	県立神戸甲北高等学校	教諭 キャリア支援部長	原田 明日香	○	
28	県立神戸鈴蘭台高等学校	校長	横山 清隆		○
29	県立神戸高塚高等学校	校長	石井 良和	○	
30	県立篠山鳳鳴高等学校	教諭 進路ガイダンス部長	藤原 一彦		○
31	県立佐用高等学校	校長	小倉 裕史	○	
32	県立飾磨工業高等学校	副校長	大崎 みずほ	○	
33	県立須磨東高等学校	教諭 進路指導部長	藤後 美佳	○	
34	県立洲本高等学校	教諭 進路指導部	大石 昇平		○
35	県立青雲高等学校	教諭 進路指導部長	岩橋 嘉大	○	
36	県立青雲高等学校	教諭 進路指導部、3年次担任	原 琴名		○
37	県立太子高等学校	教諭 進路指導部長	安原 秀晃		○
38	県立多可高等学校	校長	木澤 直子		○
39	県立多可高等学校	教諭 進路指導部長	勝田 真萌		○
40	県立宝塚西高等学校	教諭 第3学年担任	福嶋 佑弥		○

	所属	職名・分掌等		名前	対面	オンライン
41	県立龍野北高等学校	教諭	進路指導部	林 敏一		○
42	県立長田高等学校	校長		藤原 生也	○	
43	県立西宮高等学校	教諭	進路指導部長	稲垣 智彦		○
44	県立西宮高等学校	校長		千家 弘行	○	
45	県立西宮甲山高等学校	校長		横山 真紀	○	
46	県立西脇高等学校	主幹教諭	進路指導部長	大久保 晃希		○
47	県立浜坂高等学校	校長		西岡 優子	○	
48	県立浜坂高等学校	教諭	進路指導部	田中 美晃		○
49	県立東灘高等学校	校長		下浦 広章	○	
50	県立東灘高等学校	教諭	進路指導部長	川中 修	○	
51	県立東播磨高等学校	教諭	キャリア支援部	野口 敦雄		○
52	県立姫路飾西高等学校	教諭	3学年副担任	脇本 佳子		○
53	県立姫路飾西高等学校	教諭	進路指導部長	渡辺 憲	○	
54	県立姫路聴覚特別支援学校	教諭	進路指導部	寺前 瑞代		○
55	県立姫路西高等学校	教諭	進路指導部次長	前川 慎一郎	○	
56	県立兵庫高等学校	主幹教諭	進路人権部長	吉井 克行	○	
57	県立兵庫工業高等学校	教諭	進路指導部長	小玉 雄介	○	
58	県立舞子高等学校	校長		富永 和典	○	
59	県立三木高等学校	校長		中谷 肇	○	
60	県立三木東高等学校	教諭	進路指導部	伊郷 和真		○
61	県立湊川高等学校	校長		岡 昌秀	○	
62	県立夢前高等学校	校長		田中 良夫	○	
63	県立夢野台高等学校	教諭	進路指導部	藤原 靖彦	○	
64	県立夢野台高等学校	教諭	進路指導部	尾崎 竜平		○
65	県立吉川高等学校	校長		塚本 宏美	○	
66	県立大学附属高等学校	教諭	進路指導部長	置家 克彦	○	
67	伊丹市立伊丹高等学校	教諭	進路指導部長	丸谷 喜唯		○
68	西宮市立西宮高等学校	教頭		大崎 稔	○	
69	姫路市立高等学校	校長		平山 智樹	○	
70	姫路市立琴丘高等学校	教頭		松井 応式	○	
71	姫路市立姫路高等学校	校長		間嶋 孝史	○	
72	神戸学院大学附属高等学校	教諭	進路指導部	森永 武人		○
73	神戸星城高等学校	教諭	進学指導部	太田 泰文	○	
74	滝川高等学校	教諭	進路指導部長	小林 ひかり	○	
75	滝川第二高等学校	教諭	教務	荒木 希美		○
76	県立豊岡高等学校	主幹教諭	進路指導部	原田 満		○

2 次第

令和8年度大学・高等学校教育研究懇談会 次第

日 時 令和8年7月29日（水）10:00～12:00

場 所 兵庫県立大学本部2階大会議室

1 開会・あいさつ

- （1）兵庫県立大学長
- （2）芸術文化観光専門職大学長
- （3）兵庫県教育委員会事務局高校教育課
- （4）兵庫県立学校長協会会長

2 各大学学部紹介

- （1）各学部長による兵庫県立大学学部紹介
- （2）副学長による芸術文化観光専門職大学紹介
- （3）学校推薦型選抜の各大学実施状況報告
- （4）令和9年度入学者選抜の予告・主な変更について

3 議 題

- （1）質問項目への回答
- （2）教職教育センターより
- （3）意見交換

4 閉会あいさつ

- （1）兵庫県公立大学法人副理事長兼事務総長

3 各大学出席者一覧

令和8年度 大学・高校教育懇談会 出席者(兵庫県立大学)一覧

【兵庫県公立大学法人】

No.	所 属	職名	氏名	備考
1	大 学 法 人	副理事長兼事務総長	藤原 俊平	

【兵庫県立大学】

No.	所属	職名	氏名	備考
1	大 学 本 部	学長兼副理事長	高坂 誠	
2	大 学 本 部	理事兼副学長	畑 豊	
3	大 学 本 部	理事兼副学長	坂下 玲子	
4	大 学 本 部	理事兼副学長	内田 勇人	
5	大 学 本 部	副学長	加納 郁也	
6	大 学 本 部	理事兼事務局長	陰山 晶彦	
7	国 際 商 経 学 部	国際商経学部長	小宮 一高	
8	社 会 情 報 科 学 部	社会情報科学部長	藤江 哲也	
9	工 学 部	工学部長	住友 弘二	
10	理 学 部	理学部長	田中 義人	
11	環 境 人 間 学 部	環境人間学部長	吉村 美紀	
12	看 護 学 部	看護学部長	森 菊子	
13	大 学 本 部	副局長兼教育企画部長	西島 健治	

【芸術文化観光専門職大学】

No.	所属	職名	氏名	備考
1	大 学 本 部	学長兼副理事長	平田 オリザ	
2	大 学 本 部	理事兼副学長	小橋 浩一	
3	大 学 本 部	事務局長	守本 浩二	
4	大 学 本 部	教育企画部長	梶井 敦子	

【兵庫県】

No.	所属	職名	氏名	備考
1	教 育 課	大学振興官	中津 直己	

4 代表挨拶（要旨）

(1) 兵庫県立大学 高坂 誠 学長

学長の高坂です。本当に炎暑の中、ご参集いただきまして心より御礼申し上げます。短い時間ではありますが、いろんなディスカッションができたらいと思っています。それから昨日の5時過ぎあたりからずっとくぎ付けでした。令和8年熊本地震。燃えているのに消防車がない。壊れているのに重機がない。31年前の117、15年前の311のことがフラッシュバックしてきて、しんどかったです。不幸にして亡くなられた方、あるいはこの炎暑の中、水も飲めずに助け出されるのを待っている方がまだ何人いるか分からない。これは私の勝手なお願いですけども、最初に20秒で良いので、追悼の意を込めて、また救援が早く届くことを願って一緒にお祈りをしていただけませんか。よろしくお願いします。（黙祷）ありがとうございました。それで、この表を見たらもう何を言おうとしているか分かると思いますけど、今年67万人、18年後に67万人の学生を大学がどう受け入れるのかというのは、15年後に高校はどう受け入れていくのかということです。今年は107、8万人で、高校生は少し少ない程度。でも、2035年には大学が96万、一気に100万を切ると。それがその3年先には高校がやってくる、2038年にはそういう状況ですよね。本当に厳しい状況の中、僕らはどういう形で乗り越えていくか。それから県立高校の先生方が多いと思われませんが、県は依然として政治が非常に不安定、お金もない。もう2、3年したら早期健全化団体になるのは不可避だろうと言われていいる。その中でお金もない、指揮系統も乱れている。でも僕らはその中でやっていかないといけない。先生方には本当に色々な重い荷物を背負っていかねばならない役割があると思います。ただ僕らはどんな状況になっても教育者としての矜持があると思う。これは次の世代を育てる、次の世代の人たちが自分たちの力が存分に出せるような、自分たちが幸せになるような、そういう時代を共に作っていく人たちを僕らが育てる。そこはいつになっても僕らのプライドとして残っていく。一緒に高大接続という中で若者をどう育てていくかを議論できたらいいと思っています。短い時間ですが、どうぞ今日はよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

(2) 芸術文化観光専門職大学 平田 オリザ 学長

6年目を迎えて、順調に全国から学生が集まっております。ご承知のように今年は全国総文祭が秋田で開催なんですけど、私、今年演劇部門の審査員なので、この後、秋田に飛行機で行って3日間審査員をして、土曜日は仙台で、本校初めての東北でのオープンキャンパスを開催して、総文祭に来た全国の学生をがっつり取ろうという風にトップセールスで頑張っております。ご心配をいただきました就職先も、一期生、昨年ご紹介しましたようにディズニーランドの関連会社3名他、非常にいいところに入ってくれたんですけど、二期生も、USJとかハウステンボスから、JALのCAとか、高知新聞の記者職とか、あと公務員も北海道庁をはじめとして色々なところに入りました。残念ながら兵庫県庁はおりませんでした。そういうわけで「公務員からディズニーランドまで」というのがうちの売りになっておりますので、積極的な学生をぜひよこしていただければと思います。総文祭の話をしましたけど、今年、兵庫県、近畿総文祭の演出の方を教育委員会からうちの大学にお手伝いするということ、

今日もうちの教員たちが淡路三原高校の方に、郷土芸能の方の取材と打ち合わせに行かせていただいています。色々な学校にお世話になるかと思いますが、数年後の全国総文祭も含めて、せっかくできた県立の芸術系の大学ですので、もちろん高大接続、特に但馬県域は教員派遣たくさん行っておりますけれども、他のこれまでできなかったその芸術系あるいは文化系の様々なご支援もさせていただきたいと思っておりますので、今後とも一層緊密な連携をお願いいたします。本日はよろしくお願いいたします。

(3) 県教育委員会事務局高校教育課 都築 紫峰 指導主事

ただ今、ご紹介いただきました兵庫県教育委員会事務局高校教育課の都築でございます。

平素は、本県の教育振興のため、ご理解とご協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

本日は、お忙しい中、大学と高等学校との研究懇談会の場を設けていただき、兵庫県立大学の高坂学長様、芸術文化観光専門職大学の平田学長様をはじめ関係の皆様方に感謝申し上げます。また、高等学校の校長先生をはじめ、進路指導ご担当の先生方にも多数お集まりいただきありがとうございます。

この懇談会は、大学と高等学校の双方が相互に意見を交換できる貴重な機会として長年続いております。本日も積極的に意見が交わされ、充実した会合となりますことを期待いたします。

現代は、グローバル化が我々の社会に多様性をもたらし、急速な情報化や技術革新が人間生活を質的に変化させつつあると言えます。こうした社会の変化が激しく将来の予測が困難な時代にあつてこそ、自信をもって自分の人生を切り拓き、よりよい社会を創り出すことができる人材の育成が求められています。兵庫県教育委員会では、第4期「ひょうご教育創造プラン」の重点テーマである『絆』を深め、『在りたい未来』を創造する力の育成のもと、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、兵庫らしい教育はもとより、新しい時代に応じた取組を推進しています。

本県の県立高等学校の進路状況を見ますと、令和8年3月卒業者約25,000名のうち、大学・短期大学進学者数が約16,000名で、卒業者数の約64%でした。このうち、国公立大学への進学者は3,551名でした。そのような状況の中、進学する生徒が「大学進学後何を学ぶのか」、「大学卒業後を含め、どのようなキャリア設計を行うのか」ということを考えて進学できるよう、大学進学前の高校生の段階におけるキャリア教育の必要性が重要視されています。

大学入学者選抜においては、各大学がそれぞれの教育理念に基づき、生徒が高等学校段階までに身に付けた力を、大学において発展・向上させ、社会へ送り出すという大学教育の一貫したプロセスを前提として、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえたアドミッション・ポリシーに基づき、入学段階において求める資質・能力を多面的・総合的に評価・判定する役割を担うものとされています。

また、各大学においては、調査書、学力検査、小論文、面接、志願者本人の記載する資料等を適切に組み合わせ、入学志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定することが求められています。

令和9年度大学入学者選抜実施要項においては、以下の変更がありました。まず、志願者の

能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定する「総合型選抜」及び「学校推薦型選抜」においては、面接による評価を必ず行うこととされました。

次に、文理横断・文理融合教育を通じた課題解決力の涵養等の重要性に鑑み、言語能力及び数理的思考力の育成に配慮することとされました。

あわせて、私立大学における入学料に係る負担軽減等に関する記載や、不正行為防止のための本人確認の適正な実施、ならびにオンライン試験に関する留意事項等の追記がありました。

本日は、大学側から求める生徒像をお示しいただき、高等学校で身に付けておくべき学力、また適切な入学者選抜の方法等について忌憚のない意見交換をしていただきたいと思っております。

この懇談会が、今後とも大学と高等学校との率直な意見交換の場として、有意義な機会となることを祈念いたしまして、県教育委員会のあいさつとさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(4) 県立学校長協会 新谷 浩一 会長（県立神戸高等学校長）

兵庫県立学校長協会の会長を仰せつかっております、神戸高校の新谷でございます。本日は大変ご多用の中、高坂学長様、平田学長様、藤原副理事長様をはじめ、多くの方々にお揃いいただきまして、この教育研究懇談会が開催されますこと、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

私ども兵庫県の高校教育に携わる者にとりまして、また県内の高校生にとりまして、兵庫県立大学は非常に意識させていただいている大学の1つです。特に、高校生にとっては、どこの大学に入学するののかということも大切なことではありますが、そこでどのような学びが可能か、そこで自分はどこまで成長できるのかということについて事前に知り、未来に思いを馳せることは、より大切で、より必要不可欠のことであると考えています。

私どもとしましては、そのような高校生の思いに答えるための要素をひとつでも多く手に入れたと考えています。この教育研究懇談会におきまして、各学部での取組でありますとか、今後の改革の流れですとか、そういったことのご説明を受け、それをもとに現場での進路指導に反映させていけたらと強く思っている次第です。

本日のこの機会が、そのために資する機会になりますことを祈念申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

5 質問事項・回答（兵庫県立大学）

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会 質問事項 一覧

資料3

1 教育方針・教育内容・研究内容等について

質 問 事 項				備考	ページ数
区分	通し No.	区分別 No.	内 容		
全学	1	1	海外の大学との連携状況について教えてください。	新規	1
全学	2	2	県立大のアドミッションポリシー、コンセプト、最大のPRポイントを教えてください。	新規	2
国際商経 学部	3	3	グローバルビジネスコースでは、実際に専門の授業を英語で受けていくための英語能力向上のための授業はあるのでしょうか。		3
看護学部	4	4	助産師の資格を4年間で取得可能とのことですが、実際に4年で取得した学生の割合を教えてください。		4
看護学部	5	5	関連病院がない看護学部として、どのようなサポートがあるのでしょうか。		5

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会 質問事項 一覧

2 入学者選抜全般について

質 問 事 項				備考	ページ数
区分	通し No.	区分別 No.	内 容		
全学	1	1	各学部のR8年度入学者選抜結果の詳細を教えてください。		6
全学	2	2	兵庫県内の高等学校に設ける指定校推薦枠について予定を教えてください。		7
全学	3	3	今後、環境人間学部以外で、総合型選抜入試の予定はありますか。		8
全学	4	4	学校選抜型入試において、資格試験、検定試験等の成績の扱いについて。		9
全学	5	5	地域推薦枠の導入を継続して検討されておられるでしょうか。		10
全学	6	6	R9年度選抜では、工学部に加え、新たに社会情報科学部と環境人間学部で指定校推薦を実施しますが、各校に依頼する人数を教えてください。（1校当たりの人数、全県での人数）また、他の3学部は指定校推薦を実施する計画はありますか。	新規	11
国際商経 学部	7	7	学校推薦型選抜（グローバルビジネスコース）の資格要件において、例年、指定の資格の取得時期を高校時代に限定しておられますが、今年度も高校時代限定とする予定ですか。また、高校時代に限定している理由も教えてください。		12
工学部	8	8	これまでの数・英・理・理の入試科目は、必然的に一定の学力を必要とするものだと感じていましたが、R8年度入試からの入試科目の軽減（英語廃止、理科1つ）は、志願者増による成績上位者の確保を目的としたものでしょうか。また、負担を軽くした結果、学生に変化は見られますか。		13
工学部	9	9	はじめて指定校推薦を実施されましたが、貴学部の狙い通りの選抜になりましたか。（出願者数、該当学生の大学での様子等）		14

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会 質問事項 一覧

3 入学後の学生の状況等について

質 問 事 項				備考	ページ数
区分	通し No.	区分別 No.	内 容		
全学	1	1	各学部間における交流はどの程度設定してありますか。		15
全学	2	2	各キャンパス周辺に、学生が下宿できる施設は十分にありますか。		16
全学	3	3	障害のある学生に対して、相談所や支援室のような部署はありますか。また、支援員のような個別対応をしていただける制度はありますか。		17
全学	4	4	トランスジェンダー等の学生に対する、具体的な配慮や対応について教えてください。		18
理学部	5	5	理学部の学生寮の利用状況についてお聞かせください。		19

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会 質問事項 一覧

4 卒業後の進路（進学・就職・展望等）について

質 問 事 項				備考	ページ数
区分	通し No.	区分別 No.	内 容		
全学	1	1	学部別の就職先（職種等を含む）を教えてください。		20
全学	2	2	学部別の就職先の傾向として顕著なものがありましたら教えてください。		21
全学	3	3	学部別の貴学大学院進学率・進学先及びそれらの男女比を教えてください。		22
全学	4	4	海外の大学への進学状況を教えてください。		23
全学	5	5	学部別の教員免許取得状況及び教員採用試験受験（合否人数、受験・採用教科、受験都道府県等）について教えてください。		24
看護学部	6	6	看護師、保健師、養護教諭（看護学部にて）の免許を4年間で取得できるとのことですが、卒業後の看護師・保健師・助産師・養護教諭・その他職種ごとの就職者数・就職先を教えてください。		25

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会 質問事項 一覧

5 高大連携の取組等について

質 問 事 項				備考	ページ数
区分	通し No.	区分別 No.	内 容		
全学	1	1	現時点でも多くの高校と貴大学で連携がなされていると思いますが、連携のあり方について、さらに広げる方向でしょうか。または、連携の効果的運営の観点から連携先を絞ることは考えていますか。		26
全学	2	2	各学部における高校との連携について、特徴的な連携の実例や活動があれば教えてください。		27
全学	3	3	昨年度各高校で実施した出前授業、大学(学部)説明会などの実績を教えてください。		28

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会 質問事項 一覧

6 その他（意見・要望を含む）

質 問 事 項				備考	ページ数
区分	通し No.	区分別 No.	内 容		
全学	1	1	推薦書類の郵送を学校取りまとめではなくて、個人扱いに改めていただくことはできないでしょうか。		29
全学	2	2	志願者または高校が出願時におけるミスを防ぐために、昨年度に発生した出願時の不備などを教えてください。	新規	30

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	区分 No.	回 答 所 属
1	全学	1	国際交流推進課
【質問事項】 海外の大学との連携状況について教えてください。			
【回答要旨】 海外の大学とは、研究者交流・学生交流等における協力のための学術交流協定を締結しています。 〔参考〕 ・R8. 5. 30 時点大学間協定締結状況 相手大学数：21ヶ国(地域)・50大学 (中国7、タイ7、アメリカ6、ルーマニア6、台湾3、インド2、バングラデシュ2、オーストラリア2、フランス2、ブラジル2、インドネシア、韓国、トルコ、イギリス、フィリピン、カンボジア、ベトナム、ドイツ、ハンガリー、メキシコ 各1) ・R8. 5. 30 時点部局間協定締結状況(特定の学部・研究科のみにおける協定) 相手大学数：10ヶ国(地域)・21大学(研究所) (中国8、台湾4、韓国2、インドネシア、ベトナム、バングラデシュ、インド、アメリカ、フランス、ルーマニア 各1) また、大学間協定に基づく交換留学の令和7年度の実績は以下のとおりです。 ・派遣：12名(ルーマニア4、ドイツ3、フランス2、韓国、台湾、中国 各1) ・受入：15名(カンボジア4、台湾2、中国2、ベトナム2、アメリカ2、フランス2、ルーマニア1) 協定校において、本学の学生が春季、夏季休業期間を利用した語学研修・短期研修を実施しています。 ・令和7年度実績 語学研修(フィリピン、アメリカ、イギリス) 43名参加 短期研修(イギリス) 9名参加 協定校等の学生と本学の学生をマッチングしてオンラインセッションを行うことで国際コミュニケーション力向上を図るカンバーセッションパートナー・プログラムも実施しています。 ・令和7年度実績 本学学生71名、相手方大学学生52名、計123名参加			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	区分 No.	回 答 所 属
1	全学	2	教育企画課
【質問事項】 県立大のアドミッションポリシー、コンセプト、最大のPRポイントを教えてください。			
【回答要旨】 兵庫県立大学は、「社会から信頼され評価される、世界水準の大学」を目指し、地域に根ざしながら世界に開かれた教育・研究を推進する公立総合大学です。6学部、9大学院研究科、5附置研究所、2海外事務所、附属中学・高等学校を擁し、人文社会系・理工系・医療系・生態系まで幅広い学問分野を有する総合大学として、学部・研究科の枠を越えた学際的な学びや、兵庫県内各地を教育・研究のフィールドとした実践的な学びを展開しています。 なお、アドミッションポリシーは『2027年度(令和9年度)兵庫県立大学入学者選抜方法等』のP1～7に掲載していますので、ご確認ください。			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	区分 No.	回 答 所 属
1	国際商経学部	3	国際商経学部

【質問事項】

グローバルビジネスコースでは、実際に専門の授業を英語で受けていくための英語能力向上のための授業はあるのでしょうか。

【回答要旨】

もともと英語の能力が高い学生に入学いただいておりますが、1年次前期に集中的に英語能力を引き上げる教育プログラムを用意しています。日本人学生向けに英語集中講義（学内、8週間）及び英語研修（海外大学、5週間）がそれです。特に、1年次夏における約5週間の海外語学研修は英語に対する自信と実力をつける好機となります。

1年次前半で語学力を高めたのち、1年次後期から経済学・経営学の専門科目を英語で学び始めます。1年次後半からスタートするプロジェクトゼミの中にも、英語強化のための特別クラスを設けています。また、入学後1年間は国際学生寮で留学生と共同生活を送ることで、英語によるコミュニケーション能力も急激に向上します。留学生の英語の発音にはそれぞれ特徴があり、ネイティブスピーカーとの意思疎通よりも難しく感じる場面もあります。こうした経験は、将来、非英語圏の人々と英語を用いてコミュニケーションをとる際にとても役立ちます。

さらに、本学では主専攻以外に学びの機会を拡げる副専攻の一つとして「グローバルリーダー教育プログラム」を設けています。

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	区分 No.	回 答 所 属
1	看護学部	4	看護学部

【質問事項】

助産師の資格を4年間で取得可能とのことですが、実際に4年で取得した学生の割合を教えてください。

【回答要旨】

希望者について、20名を上限として3年次に選抜しています。
資格取得率は下記のとおりです。

区 分	卒業生数 A	国家試験		資格取得率	
		受験者 B	合格者 C	対卒業生 C/A	対受験者 C/B
令和8年3月卒	109名	15名	15名	13.8%	100%
令和7年3月卒	97名	16名	16名	16.5%	100%
令和6年3月卒	106名	15名	15名	14.2%	100%

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	区分 No.	回 答 所 属
1	看護学部	5	看護学部
【質問事項】 関連病院がない看護学部として、どのようなサポートがあるのでしょうか。			
【回答要旨】 大学の附属病院はありませんが、県内の県立・市立・私立病院や介護・訪問看護施設、公共施設等（約100施設）で看護師・保健師・助産師の実習を行っています。 また、県立大学と県立病院の連携のもと、兵庫県立大学の卒業生を中心とした県立病院の看護職（年間約40名）が教育に参加し、現場での実践を交えた基本的な知識や技術を学ぶことができる教育支援体制を整えています。			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	区分 No.	回 答 所 属
2	全学	1	教育企画課

【質問事項】

各学部 of R 8 年度入学者選抜結果の詳細を教えてください。

【回答要旨】

『令和8年度(2026 年度)入学者選抜結果等資料』により選抜結果の詳細をとりまとめているのでご確認ください。

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	区分 No.	回 答 所 属
2	全学	2	教育企画課

【質問事項】

兵庫県内の高等学校に設ける指定校推薦枠について予定を教えてください。

【回答要旨】

<国際商経学部>

- ・グローバルビジネスコースに限り、県内の高大連携教育協定締結校を対象とした特別選抜を学校推薦型選抜の枠組みで実施しています。

R8.6時点協定締結校：兵庫県立国際高校

定員：若干名

<工学部>

- ・県内の指定校を対象とした特別選抜を学校推薦型選抜の枠組みで実施しています。指定校については、これまでの工学部志願状況等を踏まえ検討したうえで決定し、対象学校には、個別に連絡させていただいております。

指定校選定基準

- ・指定校：1名以上
- ・協定締結校：1名以上
- ・SSH 指定校：1名以上

定員：63名(兵庫県立大学附属高等学校特別選抜定員を含む)

また、令和9年度以降の入学者選抜において、以下のとおり実施します。

○令和9年度入学者選抜

<社会情報科学部、環境人間学部> (新設)

- ・県内の指定校を対象とした特別選抜を学校推薦型選抜の枠組みで実施します。指定校については、各校の特色や実績を踏まえ検討したうえで決定し、対象学校には、個別に連絡させていただいております。

定員：

社会情報科学部：5名(兵庫県立大学附属高等学校特別選抜定員を含む)

環境人間学部：28名(兵庫県立大学附属高等学校特別選抜定員を含む)

○令和10年度入学者選抜

<看護学部> (新設)

- ・県内の指定校を対象とした特別選抜を学校推薦型選抜の枠組みで実施する予定です。指定校については、各校の特色や実績を踏まえ検討したうえで決定し、対象学校には、個別に連絡させていただきます。

定員：公募型学校推薦型選抜定員40名の中に指定校推薦枠を含む

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	区分 No.	回 答 所 属
2	全学	3	教育企画課

【質問事項】

今後、環境人間学部以外で、総合型選抜入試の予定はありますか。

【回答要旨】

環境人間学部以外の学部では、現在、総合型選抜の導入予定はありません。

なお、選抜方法等については、受験生の動向や入学後の成績等を勘案し必要に応じて見直し公表しておりますが、今後も見直し等を行った場合には、大学ホームページや毎年発行している兵庫県立大学入学者選抜方法等においてご案内しますのでご確認ください。

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	区分 No.	回 答 所 属
2	全学	4	教育企画課

【質問事項】

学校選抜型入試において、資格試験、検定試験等の成績の扱いについて。

【回答要旨】

本学の学校推薦型選抜においては、以下の選抜区分において、資格取得していることや外部検定試験結果の提出を出願資格として設定している場合や、合否判定評価時に考慮することとしています。詳細は『2027 年度(令和9年度)兵庫県立大学入学者選抜方法等』によりご確認ください。

＜出願資格＞

国際商経学部経済学・経営学コース(商業科等)

国際商経学部グローバルビジネスコース

＜合否判定に考慮＞

国際商経学部経済学・経営学コース(普通科等)

国際商経学部経済学・経営学コース(商業科等)

環境人間学部

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	区分 No.	回 答 所 属
2	全学	5	教育企画課

【質問事項】

地域推薦枠の導入を継続して検討されておられるでしょうか。

【回答要旨】

地元の高校から本学のアドミッションポリシーに適合する優秀な生徒に本学に入学してもらい、社会に貢献する人材として育成することは、大変重要であると認識しています。兵庫県下全域にキャンパスを有する本学へは、指定校推薦枠（地域推薦枠）の導入について、兵庫県下高等学校のみならず、多方面から要望があるところです。

地域の高校との連携推進や、入学する学生の学力の担保等の観点から、引続き慎重に検討を進めてまいります。

なお、2-2 質問・回答において記載しているとおり、一部学部において兵庫県内の指定校・協定校を対象とした選抜の実施を予定しており、県内高校生の本学への入学割合が高まるものと考えています。

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	区分 No.	回 答 所 属
2	全学	6	教育企画課

【質問事項】

R 9 年度選抜では、工学部に加え、新たに社会情報科学部と環境人間学部で指定校推薦を実施しますが、各校に依頼する人数を教えてください。（1 校当たりの人数、全県での人数）また、他の 3 学部は指定校推薦を実施する計画はありますか。

【回答要旨】

R 9 年度学校推薦型選抜（指定校）の募集人員は下表のとおりです。

なお、指定校ごとの推薦人員の上限については、対象学校に個別に通知しており、公表しておりません。

また、国際商経学部及び理学部の今後の予定については現時点では未定ですが、看護学部については、『2027 年度（令和 9 年度）兵庫県立大学入学者選抜方法等』の【2028 年度（令和 10 年度）入学者選抜の予告】（P58）に掲載しているとおり、令和 10 年度入学者選抜から学校推薦型選抜（指定校）を導入する予定です。

学部	学科	募集人員(目安)
社会情報科学部	社会情報科学科	5 名
工学部	工学科	63 名
環境人間学部	環境人間学科	10 名
	建築地域デザイン学科	7 名
	グリーンサイエンス学科	8 名
	食環境栄養学科	3 名

※ 募集人員には兵庫県立大学附属高等学校を対象とした特別選抜を含みます。

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	区分 No.	回 答 所 属
2	国際商経学部	7	国際商経学部

【質問事項】

学校推薦型選抜（グローバルビジネスコース）の資格要件において、例年、指定の資格の取得時期を高校時代に限定しておられますが、今年度も高校時代限定とする予定ですか。また、高校時代に限定している理由も教えてください。

【回答要旨】

今年度入試（2027 年度入学生用）においても、これまでと同様に、外部試験の受検機会を確保する観点から、高等学校在学期間に対応する 3 年間を受検期間として、CEFR「B1」レベル以上の資格取得者に出願資格を限定させていただいております。

受検期間について高校時代という制限を設けているのは、直近の英語能力の定着状況を確認するためです。したがって、中学校在学時の受検結果を出願時に利用することを認めていませんが、今後、必要性が生じましたらご意見を踏まえて検討して参ります。

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	区分 No.	回 答 所 属
2	工学部	8	工学部
【質問事項】 これまでの数・英・理・理の入試科目は、必然的に一定の学力を必要とするものだと感じていましたが、R8年度入試からの入試科目の軽減（英語廃止、理科1つ）は、志願者増による成績上位者の確保を目的としたものでしょうか。また、負担を軽くした結果、学生に変化は見られますか。			
【回答要旨】 現行の学部の教育カリキュラムは、個別学力検査の科目に関する一定の学力を前提として構成していました。一方で、社会課題が複雑化・多様化・グローバル化し、工学の対象も医療や生体、環境などを含む幅広い分野へ広がっています。このような現状を踏まえ、令和8年度からは、ある専門分野に軸足をおきつつも、幅広い分野を柔軟に学べる新しいカリキュラムを提供します。これは、自分の好きな分野、あるいは得意な分野をベースに、学びの幅を広げ、多様化する課題に立ち向かえる工学系人材の育成を目指すものです。このような考えのもと、共通テストでは『生物』の選択を可能とすると同時に、個別学力検査の理科は1科目としています。個別学力検査の英語は廃止しますが、入学後の新カリキュラムでは、新設のグローバル関連科目を中心に、工学分野における英語コミュニケーションの必要性・重要性を認識させたうえで、英語学習をサポートする体制としています。決して工学部で英語が不要というわけではなく、入学後に必要性を感じさせ、自ら取り組むことを期待するものです。 また、今回の改組では現行の3学科6コース制から1学科5コース制に再編されます。現在は2年進級時にコース選択をしますが、新学科では目的意識の明確な学生さんを期待して、コースは出願時に選択して頂きます。入学後の志望変更にも柔軟に対応できるカリキュラムにしておりますが、自分の軸足をどこに置くか、見定めたうえでの出願を期待しています。 令和8年度入試の結果として、理科1科目化については、化学コースおよび知能情報コースにおいて、共通テストで物理を選択せず、生物・化学で受験した学生も入学しており、これまでより多様な学習背景を持つ学生を受け入れることができています。ただし、その人数は現時点では多くありません。 また、個別学力検査における英語の廃止については、入学直後に実施したTOEIC Bridgeによる英語力調査において、前年（英語試験あり）の入学生と今年度（英語試験なし）の入学生を比較したところ、平均的な英語力に大きな違いは認められず、むしろわずかに向上する傾向が見られました。このことから、英語の個別学力検査を廃止したことにより、英語を苦手とする学生が増加したという状況は現時点では確認されていません。今後も継続して学生の学修状況を検証し、必要に応じて教育内容の改善を図ってまいります。			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	区分 No.	回 答 所 属
2	工学部	9	工学部

【質問事項】

はじめて指定校推薦を実施されましたが、貴学部の狙い通りの選抜になりましたか。（出願者数、該当学生の大学での様子等）

【回答要旨】

指定校推薦については、初年度の実施であったため、出願者数は当初の期待をやや下回る結果となりました。一方で、入学した学生については、まだ入学後間もない段階ではありますが、現在のところ学修面・生活面ともに特段の問題は見られていません。

本制度の効果や、本学部の狙いに沿った選抜となっているかについては、今後の学修状況や成長の様子を継続的に見ながら評価していきたいと考えています。現時点では、概ね良好なスタートを切れていると認識しています。

分類	区 分	区分 No.	回 答 所 属
3	全学	1	教育改革課(授業・副専攻等) 教育企画課(学生生活等)
【質問事項】 各学部間における交流はどの程度設定してありますか。			
【回答要旨】 本学では、学部間の交流機会を体系的に設けており、入学直後から学部の枠を超えて学ぶ環境を整えています。 1年次の共通教育は、神戸商科キャンパス（国際商経学部・社会情報科学部・看護学部）と姫路工学キャンパス（工学部・理学部・環境人間学部）の2か所で実施しており、ICTを活用して両キャンパスを接続し、他学部の学生とともに学ぶ機会を設けています。これにより、課題探究能力の向上や国際的なコミュニケーション能力の養成に向けた取り組みを全学的に進めています。 さらに、令和8年度の共通教育改革の一環として、学部横断型の「学際ゼミ」を開講しており、異なる専門分野の学生が協働して課題解決に取り組むことで、学部の枠を超えた交流を促進しています。 また、所属学部の専門分野に加え、「地域創生リーダー教育プログラム」「グローバルリーダー教育プログラム」「防災リーダー教育プログラム」の3つの副専攻プログラムを履修することができ、学部を超えた学生同士の学びや交流の機会となっています。 このように、本学では、ICTを活用した共通教育、学際ゼミ、副専攻プログラム等を通じて、学部横断的な学修と交流を推進しています。 課外活動としては、神戸商科キャンパス、姫路工学キャンパスを中心に体育会系、文化系の多くのクラブがあり、近隣キャンパスの学生がともに活動しています。			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	区分 No.	回 答 所 属
3	全学	2	各学部

【質問事項】

各キャンパス周辺に、学生が下宿できる施設は十分にありますか。

【回答要旨】

<国際商経学部、社会情報科学部>

本学神戸商科キャンパスは、昭和 60 年に整備された神戸市営地下鉄学園都市駅を中心に広がる「神戸研究学園都市」にあります。

この地域は、本学のほか、神戸市外国語大学、神戸市看護大学、流通科学大学、神戸芸術工科大学、神戸市工業高等専門学校の 5 大学 1 高専などの研究教育機関が集中して設置されており、学生が入居できるアパート物件が多数あります。また、神戸市営地下鉄沿線や本学までのアクセスが便利な神戸市垂水区や明石エリアにも学生向け物件が豊富です。

これらの物件の賃料の目安は、垂水区や明石エリアでは約月 3～4 万円、本学近隣では約月 4～6 万円となっています。

なお、これらの物件は、一般の住宅探しウェブサイトなどでも検索できますが、特に、本学の大学生協では、入学前に「住まいの相談会」を開催しているほか、ウェブサイトを通じた住まい探しや住宅の斡旋、住まいに関するサポートも行うなど、本学で学ぶ学生向けに入居手続きから入居後のフォローに至る充実した支援を行っています。

<工学部>

姫路工学キャンパス周辺では、通学方法や家賃等の希望に沿ったお部屋探しが可能です。また、学生専用マンション等もあり、学生が下宿できる施設は十分にあります。家賃相場は概ね 2 万円～5 万円／月程度で、安いところでは 1 万円／月台のお部屋もあります。工学部に通う学生の概ね 3 割が下宿しています。なお、合格後のお部屋探しや入居後についても、兵庫県立大学生協でフォローしておりますので、お問い合わせください。

<理学部>

現在、学部 1 年生（約 180 名）は姫路工学キャンパスで学んでいるので、自宅からの通学が困難な学生は姫路工学キャンパス周辺に下宿しております。

また、播磨理学キャンパスには学部生（2 年生～4 年生）・院生あわせて約 710 名在籍しています。周辺には、学生寮を有しており、現在約 150 名（21.1%）が入寮しています。寮は大学北側に位置しており、学生は徒歩（約 5 分）等で通学しております。寮は、A・B・C の 3 棟に分かれており、A・B 棟には主に学部生が、C 棟には院生が入寮しています。家賃につきましては、A・B 棟が 3,000 円/月、C 棟が 4,000 円/月となっております。

キャンパス徒歩圏内となると、学生寮のほかに下宿できる施設は限られるため、中には、近隣市町に下宿し、自家用車若しくは、バス、電車等の公共交通機関を利用して通学している学生もいます。

<環境人間学部>

環境人間学部の 1 年生は、週 4 日間姫路工学キャンパスで授業を履修するため、姫路環境人間キャンパス周辺に加え、姫路工学キャンパスと姫路環境人間キャンパスの中間エリアにも下宿しています。多くのマンション及びアパートがあり、学生専用・女性専用マンションもあります。また、姫路工学キャンパスでは兵庫県立大学生生活協同組合が主催する住まい紹介を実施しており、環境人間学部の学生への

サポートも行っております。

なお、姫路環境人間キャンパス周辺及び姫路工学キャンパスとの中間エリアの家賃相場は概ね3万円～5万円です。

<看護学部>

1回生のみ月曜日から水曜日は神戸商科キャンパス、木・金曜日は明石看護キャンパスでの授業となるため、下宿先は神戸・明石地域がほとんどです。入学時に大学生協が賃貸住宅を斡旋しており、通学圏内には十分にあります。

通学は公共交通機関の利用を原則とし、自動車は禁止、バイクは届出が必要ですが、明石看護キャンパス近隣の学生は、自転車の利用が多いです。また、明石看護キャンパスと神戸商科キャンパス間はスクールバスを運行していますので、明石地域に下宿しても便利です。バス利用券は両キャンパスの大学生協にて10枚2,000円で販売しています。

【前期】 4/8 ～ 8/10

ア 月曜日

明石看護キャンパス	神戸商科キャンパス
8:00	8:35
12:00	12:35
18:55	18:20

イ 火曜日

明石看護キャンパス	神戸商科キャンパス
8:00	8:35
11:35	11:00

ウ 水曜日

明石看護キャンパス	神戸商科キャンパス
8:00	8:35
15:35	15:00
18:55	18:20

【後期】 10/1 ～ 2/13

ア 月曜日

明石看護キャンパス	神戸商科キャンパス
8:00	8:35
12:00	12:35
18:55	18:20

イ 火曜日

明石看護キャンパス	神戸商科キャンパス
8:00	8:35
13:15	12:40
15:35	15:00

ウ 水曜日

明石看護キャンパス	神戸商科キャンパス
8:00	8:35
13:15	12:40

注意：時間割や授業開始時間の変更等によって、出発時刻を変更することがあります。

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	区分 No.	回 答 所 属
3	全学	3	教育企画課
【質問事項】 障害のある学生に対して、相談所や支援室のような部署はありますか。また、支援員のような個別対応をしていただける制度はありますか。			
【回答要旨】 本学は、全ての学生が障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら支えあい、学生、教員、職員が多様性を重んじる、開かれた大学を目指しています。 そこで、障がいのある学生など学生生活を送る上で困難を有する学生にとっての障壁を可能な限り除去し、学生が持ちうる能力を最大限に発揮できる学びやすい環境を整えるため、各キャンパスにアクセシビリティセンターを設置し、修学や就職における相談を受け付けるとともに、障がいや慢性疾患による学びにくさや不安がある学生に対して、一人ひとりの状態に合わせた合理的配慮を行っています。 また、障がい学生支援に関する専門知識を持つコーディネーターを配置し、学生と丁寧に面談しながら、個々の障がいの状況や特性に応じた適切な調整が行われるよう、専門的見地から各アクセシビリティセンターの対応を支援する仕組みを整備しています。 今後とも、教職員向けの研修を継続的に実施するとともに、キャンパス間での連携等により、充実した支援に努めていきます。			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	区分 No.	回 答 所 属
3	全学	4	ダイバーシティ推進室
【質問事項】 トランスジェンダー等の学生に対する、具体的な配慮や対応について教えてください。			
【回答要旨】 兵庫県立大学は、性別、障がい、国籍、宗教、文化、性的少数者であることなどに関わらず、ひとりひとりの教職員、学生が持つ能力を最大限に活かし、共創できる環境をつくることを目指し、ダイバーシティとインクルージョンの推進を宣言しています。 令和3年度には、セクシャルマイノリティに関する実態調査を実施し、令和5年度には「兵庫県立大学SOGI の多様性の尊重に関する基本方針」を制定し、公表しました。 また、学生が学生生活を送る上での悩みや相談を気軽にできる窓口を設けたり、施設面において、性的マイノリティの当事者が過ごしやすいキャンパスづくりの一環で、学生グループによるトイレ調査活動を支援し、キャンパスに在る多目的トイレの名称とサインデザインを全学公募にかけ、性的マイノリティや障がいのある誰もが利用できるトイレの実現を進めています。 令和7年度には、SOGIの多様性の尊重に関する基本方針に基づき、「性的指向」と「性自認」に関する悩みや生きづらさを抱える学生がいることを常に理解し、差別と偏見のない学校生活を送ってもらうために、具体的な学生への配慮や対応を明記した「兵庫県立大学におけるSOGI (Sexual Orientation and Gender Identity) の多様性に関する学生への配慮・対応ガイドライン」制定に向けた議論・取組を進め、令和8年4月に制定・公表しました。 今後も、SOGIの理解が学内で浸透するよう、施策や計画に反映していく予定です。			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	区分 No.	回 答 所 属
3	理学部	5	理学部

【質問事項】

理学部の学生寮の利用状況についてお聞かせください。

【回答要旨】

播磨理学キャンパスでは、周辺に西播磨学生寮を有しております。

大学北側に位置しており、寮生は徒歩（約5分）等で通学しております。寮は、3棟に分かれており、A・B棟には主に学部生が、C棟には院生が入寮しています。A棟は女子棟であり、数部屋が備蓄庫等となっております（*1）。B棟は男子棟となっております。

また、C棟につきましては、1～4Fが男子階、5Fが女子階と分かれており、1Fは、学生の自治会用、備品庫等としても利用しております（*2）

	定員	入寮人数	空室
A棟（女子）	48	28	20
B棟（男子）	72	54	16(*1(2室)除く)
C棟 計	100	68	32
男子（1～4F）	79	47	29(*2(3室)除く)
女子（5F）	21	21	0

（令和8年6月末現在）

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	区分 No.	回 答 所 属																					
4	全学	1	教育企画課																					
【質問事項】 学部別の就職先（職種等を含む）を教えてください。																								
【回答要旨】 令和7年度卒業生の学部別就職先企業及び職種は下表のとおりです。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学部</th><th>主な就職先（企業）</th><th>主な職種</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国際商経学部</td><td>(株)みなと銀行、(株)阪急阪神エクスプレス、(株)リソナ銀行、アクセンチュア(株)、(株)ダイフク、古野電気(株)、コベルコシステム(株)、(株)NTTデータ、(株)オービック、尼崎信用金庫、大和ハウス工業(株)、シスメックス(株)、トーカロ(株)、ニプロ(株)、(株)キーエンス、日本アイ・ピー・エム(株)、三菱電機(株)、(株)デンソーテン、トヨタ自動車(株)、パンドー化学(株)、関西電力(株)</td><td>事務職 41.5% 販売職 25.8% 専門的技術的職業(情報処理・通信技術者) 11.7%</td></tr> <tr> <td>社会情報科学部</td><td>キュービー(株)、(株)神戸製鋼所、(株)ノーリツ、ダイキン工業(株)、東京エレクトロン(株)、三浦工業(株)、JFEスチール(株)、(株)ジェイテクト、富士フイルムビジネスソリューション(株)、(株)オーグス総研、(株)TKC、(株)さくらケーシーエス、(株)マーブル、(株)菱友システムズ、(株)大塚商会、(株)JR西日本ITソリューションズ、NECネクスソリューションズ(株)、SCSK(株)、パナソニックインフォメーションシステムズ(株)、ニッセイ情報テクノロジー(株)、アビームシステムズ(株)</td><td>専門的技術的職業(情報処理・通信技術者) 63.1% 事務職 15.4%</td></tr> <tr> <td>工学部</td><td>川崎重工業(株)、(株)神戸製鋼所、三菱電機(株)、関西電力(株)、(株)クボタ、マイクロンメモリジャパン(株)、(株)デンソーテン、(株)ノーリツ、JFEスチール(株)、三菱重工業(株)、パナソニックエナジー(株)、ナイス(株)、(株)ダイセル、(株)ダイヘン、(株)大阪ソーダ、サンディスク合同会社、キャタピラー・ジャパン合同会社、ダイキン工業(株)、ナガセケムテックス(株)、パンドー化学(株)、BX新生精機(株)</td><td>専門的技術的職業(その他の技術者) 17.8% 専門的技術的職業(製造技術 電気・開発) 15.5% 専門的技術的職業(製造技術 電気・開発除く) 14.7%</td></tr> <tr> <td>理学部</td><td>日本製鉄(株)、三菱重工業(株)、川崎重工業(株)、ダイキン工業(株)、NTT西日本(株)、三菱自動車工業(株)、マツダ(株)、小野薬品工業(株)、(株)レゾナック、日亜化学工業(株)、キオクシア(株)、ダイハツ工業(株)、(株)大林組、(株)SCREENホールディングス、大王製紙(株)、森永乳業(株)、リンナイ(株)、UCC上島珈琲(株)、ニデック(株)、スタンレー電気(株)、キャタピラー・ジャパン(同)</td><td>事務職 17.1% 専門的技術的職業(製造技術 その他・開発) 14.6% 専門的技術的職業(情報処理・通信技術者) 14.6%</td></tr> <tr> <td>環境人間学部</td><td>日本年金機構、独立行政法人国立病院機構東海北陸グループ、姫路赤十字病院、神戸市教育委員会、沖縄県教育委員会、(株)大林組、(株)竹中工務店、大和ハウス工業(株)、積水ハウス(株)、西松建設(株)、大東建託(株)、(株)フジタ、セキスイハイム山陽(株)、(株)一条工務店、大林ファンリティーズ(株)、(株)阪神住建、川崎重工業(株)、新明和工業(株)、パナソニックエナジー(株)、カナデビア(株)</td><td>事務職 33.1% 販売職 24.7% 専門的技術的職業(建築・土木・測量技術者) 14.5%</td></tr> <tr> <td>看護学部</td><td>県立尼崎総合医療センター、県立西宮病院、県立はりま姫路総合医療センター、県立丹波医療センター、県立淡路医療センター、県立こども病院、県立がんセンター、県立リハビリテーション中央病院、県立リハビリテーション西播磨病院、兵庫県災害医療センター、神戸市立医療センター中央市民病院、神戸市立医療センター西市民病院、明石市立市民病院、加古川中央市民病院、神戸大学医学部附属病院、兵庫医科大学病院、姫路聖マリア病院、関西労災病院</td><td>保健師・助産師・看護師 98.0%</td></tr> </tbody> </table>				学部	主な就職先（企業）	主な職種	国際商経学部	(株)みなと銀行、(株)阪急阪神エクスプレス、(株)リソナ銀行、アクセンチュア(株)、(株)ダイフク、古野電気(株)、コベルコシステム(株)、(株)NTTデータ、(株)オービック、尼崎信用金庫、大和ハウス工業(株)、シスメックス(株)、トーカロ(株)、ニプロ(株)、(株)キーエンス、日本アイ・ピー・エム(株)、三菱電機(株)、(株)デンソーテン、トヨタ自動車(株)、パンドー化学(株)、関西電力(株)	事務職 41.5% 販売職 25.8% 専門的技術的職業(情報処理・通信技術者) 11.7%	社会情報科学部	キュービー(株)、(株)神戸製鋼所、(株)ノーリツ、ダイキン工業(株)、東京エレクトロン(株)、三浦工業(株)、JFEスチール(株)、(株)ジェイテクト、富士フイルムビジネスソリューション(株)、(株)オーグス総研、(株)TKC、(株)さくらケーシーエス、(株)マーブル、(株)菱友システムズ、(株)大塚商会、(株)JR西日本ITソリューションズ、NECネクスソリューションズ(株)、SCSK(株)、パナソニックインフォメーションシステムズ(株)、ニッセイ情報テクノロジー(株)、アビームシステムズ(株)	専門的技術的職業(情報処理・通信技術者) 63.1% 事務職 15.4%	工学部	川崎重工業(株)、(株)神戸製鋼所、三菱電機(株)、関西電力(株)、(株)クボタ、マイクロンメモリジャパン(株)、(株)デンソーテン、(株)ノーリツ、JFEスチール(株)、三菱重工業(株)、パナソニックエナジー(株)、ナイス(株)、(株)ダイセル、(株)ダイヘン、(株)大阪ソーダ、サンディスク合同会社、キャタピラー・ジャパン合同会社、ダイキン工業(株)、ナガセケムテックス(株)、パンドー化学(株)、BX新生精機(株)	専門的技術的職業(その他の技術者) 17.8% 専門的技術的職業(製造技術 電気・開発) 15.5% 専門的技術的職業(製造技術 電気・開発除く) 14.7%	理学部	日本製鉄(株)、三菱重工業(株)、川崎重工業(株)、ダイキン工業(株)、NTT西日本(株)、三菱自動車工業(株)、マツダ(株)、小野薬品工業(株)、(株)レゾナック、日亜化学工業(株)、キオクシア(株)、ダイハツ工業(株)、(株)大林組、(株)SCREENホールディングス、大王製紙(株)、森永乳業(株)、リンナイ(株)、UCC上島珈琲(株)、ニデック(株)、スタンレー電気(株)、キャタピラー・ジャパン(同)	事務職 17.1% 専門的技術的職業(製造技術 その他・開発) 14.6% 専門的技術的職業(情報処理・通信技術者) 14.6%	環境人間学部	日本年金機構、独立行政法人国立病院機構東海北陸グループ、姫路赤十字病院、神戸市教育委員会、沖縄県教育委員会、(株)大林組、(株)竹中工務店、大和ハウス工業(株)、積水ハウス(株)、西松建設(株)、大東建託(株)、(株)フジタ、セキスイハイム山陽(株)、(株)一条工務店、大林ファンリティーズ(株)、(株)阪神住建、川崎重工業(株)、新明和工業(株)、パナソニックエナジー(株)、カナデビア(株)	事務職 33.1% 販売職 24.7% 専門的技術的職業(建築・土木・測量技術者) 14.5%	看護学部	県立尼崎総合医療センター、県立西宮病院、県立はりま姫路総合医療センター、県立丹波医療センター、県立淡路医療センター、県立こども病院、県立がんセンター、県立リハビリテーション中央病院、県立リハビリテーション西播磨病院、兵庫県災害医療センター、神戸市立医療センター中央市民病院、神戸市立医療センター西市民病院、明石市立市民病院、加古川中央市民病院、神戸大学医学部附属病院、兵庫医科大学病院、姫路聖マリア病院、関西労災病院	保健師・助産師・看護師 98.0%
学部	主な就職先（企業）	主な職種																						
国際商経学部	(株)みなと銀行、(株)阪急阪神エクスプレス、(株)リソナ銀行、アクセンチュア(株)、(株)ダイフク、古野電気(株)、コベルコシステム(株)、(株)NTTデータ、(株)オービック、尼崎信用金庫、大和ハウス工業(株)、シスメックス(株)、トーカロ(株)、ニプロ(株)、(株)キーエンス、日本アイ・ピー・エム(株)、三菱電機(株)、(株)デンソーテン、トヨタ自動車(株)、パンドー化学(株)、関西電力(株)	事務職 41.5% 販売職 25.8% 専門的技術的職業(情報処理・通信技術者) 11.7%																						
社会情報科学部	キュービー(株)、(株)神戸製鋼所、(株)ノーリツ、ダイキン工業(株)、東京エレクトロン(株)、三浦工業(株)、JFEスチール(株)、(株)ジェイテクト、富士フイルムビジネスソリューション(株)、(株)オーグス総研、(株)TKC、(株)さくらケーシーエス、(株)マーブル、(株)菱友システムズ、(株)大塚商会、(株)JR西日本ITソリューションズ、NECネクスソリューションズ(株)、SCSK(株)、パナソニックインフォメーションシステムズ(株)、ニッセイ情報テクノロジー(株)、アビームシステムズ(株)	専門的技術的職業(情報処理・通信技術者) 63.1% 事務職 15.4%																						
工学部	川崎重工業(株)、(株)神戸製鋼所、三菱電機(株)、関西電力(株)、(株)クボタ、マイクロンメモリジャパン(株)、(株)デンソーテン、(株)ノーリツ、JFEスチール(株)、三菱重工業(株)、パナソニックエナジー(株)、ナイス(株)、(株)ダイセル、(株)ダイヘン、(株)大阪ソーダ、サンディスク合同会社、キャタピラー・ジャパン合同会社、ダイキン工業(株)、ナガセケムテックス(株)、パンドー化学(株)、BX新生精機(株)	専門的技術的職業(その他の技術者) 17.8% 専門的技術的職業(製造技術 電気・開発) 15.5% 専門的技術的職業(製造技術 電気・開発除く) 14.7%																						
理学部	日本製鉄(株)、三菱重工業(株)、川崎重工業(株)、ダイキン工業(株)、NTT西日本(株)、三菱自動車工業(株)、マツダ(株)、小野薬品工業(株)、(株)レゾナック、日亜化学工業(株)、キオクシア(株)、ダイハツ工業(株)、(株)大林組、(株)SCREENホールディングス、大王製紙(株)、森永乳業(株)、リンナイ(株)、UCC上島珈琲(株)、ニデック(株)、スタンレー電気(株)、キャタピラー・ジャパン(同)	事務職 17.1% 専門的技術的職業(製造技術 その他・開発) 14.6% 専門的技術的職業(情報処理・通信技術者) 14.6%																						
環境人間学部	日本年金機構、独立行政法人国立病院機構東海北陸グループ、姫路赤十字病院、神戸市教育委員会、沖縄県教育委員会、(株)大林組、(株)竹中工務店、大和ハウス工業(株)、積水ハウス(株)、西松建設(株)、大東建託(株)、(株)フジタ、セキスイハイム山陽(株)、(株)一条工務店、大林ファンリティーズ(株)、(株)阪神住建、川崎重工業(株)、新明和工業(株)、パナソニックエナジー(株)、カナデビア(株)	事務職 33.1% 販売職 24.7% 専門的技術的職業(建築・土木・測量技術者) 14.5%																						
看護学部	県立尼崎総合医療センター、県立西宮病院、県立はりま姫路総合医療センター、県立丹波医療センター、県立淡路医療センター、県立こども病院、県立がんセンター、県立リハビリテーション中央病院、県立リハビリテーション西播磨病院、兵庫県災害医療センター、神戸市立医療センター中央市民病院、神戸市立医療センター西市民病院、明石市立市民病院、加古川中央市民病院、神戸大学医学部附属病院、兵庫医科大学病院、姫路聖マリア病院、関西労災病院	保健師・助産師・看護師 98.0%																						

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	区分 No.	回 答 所 属
4	全学	2	教育企画課

【質問事項】

学部別の就職先の傾向として顕著なものがありましたら教えてください。

【回答要旨】

令和7年度卒業生の学部別就職先（業種）の主な傾向は、下表のとおりです。

学部	就職先(業種)の傾向
国際商経学部	製造業(15.7%)と情報通信業及び金融業・保険業(15.1%)が高い比率となっており、卸売業・小売業(12.0%)、公務(9.4%)がこれに続いている。
社会情報科学部	情報通信業(55.4%)が大きな比率を占め、製造業(16.9%)、公務(10.8%)がこれに続いている。
工学部	「ものづくり」に特化した学びを強みに、製造業が全体の約 6 割を占める。情報通信業及び学術研究・専門技術サービス業(10.1%)がこれに続いている。
理学部	製造業(39.0%)の比率が最も高く、情報通信業(12.2%)、サービス業(12.2%)、公務(12.2%)がこれに続いている。
環境人間学部	多様なコース制を持ち、従来から就職先の業種は多種多様。公務(22.3%)の占有率が高いが、建設業(14.5%)、卸売業・小売業(13.3%)、製造業(11.4%)、医療・福祉(7.8%)、情報通信業(7.2%)など幅広く業種は分散。
看護学部	卒業生の大半が医療・福祉関係等(84.3%)の仕事に従事している。公務も一定の割合(15.7%)を確保。

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	区分 No.	回 答 所 属
4	全学	3	教育企画課

【質問事項】

学部別の貴学大学院進学率・進学先及びそれらの男女比を教えてください。

【回答要旨】

令和7年度卒業生における学部別の本学大学院進学率・進学先及びそれらの男女比は下表のとおりです。

令和7年度卒業生 学部別自大学院進学率・進学先(研究科)

()内の数字は人数

学部	卒業 者数 (人)	大学院進学			自大学院への進学		自大学院 進学先(研究科)及び男女比				
		進学率(※1)			進学率(※2)	研究科名	男	女			
			男	女							
国際商経学部	364	6.3%	43.5%	56.5%	60.9%	(8)	社会科学研究科	50.0%	(7)	50.0%	(7)
社会情報科学部	102	34.3%	77.1%	22.9%	94.3%	(33)	情報科学研究科	78.8%	(26)	21.2%	(7)
工学部	366	61.5%	87.1%	12.9%	79.6%	(180)	工学研究科	86.5%	(134)	13.5%	(21)
							情報科学研究科	100.0%	(23)	0.0%	(0)
							社会科学研究科	100.0%	(1)	0.0%	(0)
							環境人間学研究科	0.0%	(0)	100.0%	(1)
理学部	164	71.3%	67.5%	32.5%	54.7%	(64)	理学研究科	62.1%	(36)	37.9%	(22)
							情報科学研究科	100.0%	(4)	0.0%	(0)
							地域資源マネジメント研究科	100.0%	(1)	0.0%	(0)
							緑環境景観マネジメント研究科	100.0%	(1)	0.0%	(0)
環境人間学部	202	14.9%	6.7%	93.3%	76.7%	(23)	環境人間学研究科	5.0%	(1)	95.0%	(19)
							減災復興政策研究科	0.0%	(0)	100.0%	(2)
							緑環境景観マネジメント研究科	0.0%	(0)	100.0%	(1)
看護学部	109	3.7%	0.0%	100.0%	60.0%	(3)	看護学研究科	0.0%	(0)	100.0%	(3)

※1: (自大学院進学者+他大学院進学者)/卒業者総数

※2: 自大学院進学者/進学者総数

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	区分 No.	回 答 所 属
4	全学	4	教育企画課
【質問事項】 海外の大学への進学状況を教えてください。			
【回答要旨】 直近3年間の海外の大学への進学状況は以下のとおりです。 【令和5年度卒業】 国際商経学部から台湾の国立大学に1名 環境人間学部から台湾の国立大学に1名 【令和6年度卒業】 該当なし 【令和7年度卒業】 国際商経学部からポーランドの国立大学に1名、デンマークの国立大学に1名			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	区分 No.	回 答 所 属
4	全学	5	教育改革課

【質問事項】

学部別の教員免許取得状況及び教員採用試験受験（合否人数、受験・採用教科、受験都道府県等）について教えてください。

【回答要旨】

学部別の教員免許取得状況等については、下記のとおりです。

学校種別教員免許状取得状況(令和7年度実績)

(人)

キャンパス名	学部名	教職課程受講者数 (A)	免許状取得者実数 (B)	取得率 (B/A)	中学校 免許状	高等学校 免許状	養護教諭 免許状	栄養教諭 免許状	合計 (延べ数)	教員採用 試験 合格者数
				一種	一種	一種	一種	一種		
姫路工学	工学部	17	16	94.1%	13	16			29	
播磨理学	理学部	48	33	68.8%	30	37			67	3
姫路環境人間	環境人間学部	11	10	90.9%	4	4		6	14	2
明石看護	看護学部	9	9	100.0%			9		9	
	合計	85	68	80.0%	47	57	9	6	119	5

※その他合格者数（大学院生：5名、既卒者：13名）

<学部生合格者内訳>

学部	合格先自治体等	教科
理学部 (3名)	兵庫県	数学
	東京都	数学
	私立	理科
環境人間学部 (2名)	神戸市	保健体育
	沖縄県	栄養

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	区分 No.	回 答 所 属
4	看護学部	6	看護学部

【質問事項】

看護師、保健師、養護教諭（看護学部にて）の免許を4年間で取得できるとのことですが、卒業後の看護師・保健師・助産師・養護教諭・その他職種ごとの就職者数・就職先を教えてください。

【回答要旨】

卒業生の多くは、看護師や助産師として県内外の病院に就職しています。また、保健師や養護教諭として自治体や学校等にも就職しています。

令和8年3月卒業生の主な就職先は下記のとおりです。

種別	就職先	
	県内	県外
看護師 助産師 85名	県立尼崎総合医療センター 県立西宮病院(★) 県立はりま姫路総合医療センター 県立丹波医療センター 県立淡路医療センター 県立こども病院 県立がんセンター 兵庫県災害医療センター 県立リハビリテーション中央病院 県立リハビリテーション西播磨病院 神戸市立医療センター中央市民病院(★) 神戸市立医療センター西市民病院 明石市立市民病院 加古川中央市民病院(★) 神戸大学医学部附属病院 兵庫医科大学病院 関西労災病院 姫路聖マリア病院 済生会兵庫県病院(★) 湊川病院 湘南美容外科クリニック	岡山医療センター(★) 大手前病院 大阪急性期・総合医療センター 大阪国際がんセンター 大阪母子医療センター(★) 京都市立病院 大阪市立総合医療センター 市立豊中病院 箕面市立病院 大垣市民病院(★) 京都大学医学部附属病院 大阪大学医学部附属病院 宮崎大学医学部附属病院 大阪公立大学医学部附属病院 大阪医科薬科大学病院 関西医科大学総合医療センター JCHO 大阪病院(★) JOHAS山陰労災病院 東京かつしか赤十字母子医療センター(★) 横浜市立みなと赤十字病院 大阪赤十字病院(★) 鳥取赤十字病院 千船病院(★) 大阪府済生会茨木病院 大阪府済生会千里病院 大阪府済生会富田林病院
保健師 16名	兵庫県 神戸市 尼崎市 明石市 伊丹市 相生市 淡路市 猪名川町	京都市 八尾市

(★)は、助産師養成課程修了生の就職先
同一病院等への複数名の就職実績を含む

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	区分 No.	回 答 所 属
5	全学	1	教育改革課

【質問事項】

現時点でも多くの高校と貴大学で連携がなされていると思いますが、連携のあり方について、さらに広げる方向でしょうか。または、連携の効果的運営の観点から連携先を絞ることは考えていますか。

【回答要旨】

〈国際商経学部〉

学部にとっての高大連携の重要性は強く認識しており、今後も積極的に検討を進めます。対応する教員の負担増が一番の懸念材料ですが、連携先を絞ることは現在検討していません。

〈社会情報科学部〉

高大連携は重要であると認識しており、積極的に進めていきたいと考えています。連携先については、単純に、絞るか広げるかは言えません。双方にメリットがあるような連携であれば受け入れますが、そうでなければ、人手不足のため、広げることは困難と考えています。

〈工学部〉

以前より大学見学・進学説明や出前講義の受入等を通じて高大連携に取り組んでおり、さらに令和5年3月には県立龍野高等学校、令和6年4月には県立明石北高等学校、令和6年7月には県立小野高等学校、令和8年6月には県立加古川東高等学校との教育交流に関する協定を締結しています。工学部としては、協定締結により高大連携の取組をより一層深めていきたいと考えており、今後もスーパーサイエンスハイスクール指定校等との協定締結を推進したいと考えています。

〈理学部〉

高大連携は、今後ますます重要となると認識しています。高校からのご意見を踏まえて、積極的に広げる方向で予定しておりますが、広報に係る費用などを鑑みて検討いたします。

現状で、連携先を絞ることは考えていません。しかしながら、受入先の高校については、審議することも重要ではないかと考えております。

〈環境人間学部〉

本学部は、従来より高大連携に積極的に取り組んでおり、今後も教員の負担とのバランスを考慮しつつ継続したいと考えています。

具体的には、学部教員のサポートを受けて高校生が研究の成果を発表する高校生プレゼンフォーラムの実施や、高等学校教員・生徒への探究的な活動の支援、サイエンスオープンラボの実施、高校への出前講義・進学説明会への教員派遣、キャンパス見学の受入れ等を行っています。

〈看護学部〉

今年度、高校の進路説明会において、本学学部生（当該高校卒業後、本学部に進学）が出席し、大学生活や本学部の魅力を紹介してもらいました。

今後も機会があれば、同様の取り組みを進めていきたいと考えています。

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	区分 No.	回 答 所 属
5	全学	2	教育改革課

【質問事項】

各学部における高校との連携について、特徴的な連携の実例や活動があれば教えてください。

【回答要旨】

〈国際商経学部〉

- ・国際高校との高大連携事業で教員の派遣等の交流を実施しています。
- ・兵庫高校へ留学生が訪問して国際交流を実施しています。
- ・兵庫県高等学校商業教育協会との高大連携事業で、県下相当数の商業科高校生の大学見学、及び学部より模擬授業を実施しています。

〈社会情報科学部〉

- ・附属高校、連携協定高校の探求学習の指導を行っています(年数回程度)。
- ・大学近隣の高校(学園都市高校(旧伊川谷北高等学校、今後連携予定)の探求科の指導と本学に招いての発表会の補助を行っています。
- ・連携協定高校が主催するデータサイエンスコンテストの共催と運営を毎年行っています(姫路西高校による日本、台湾、オーストラリアの高校生によるデータサイエンスコンテスト)。
- ・サイエンスフェア(主催:兵庫「咲いテク(Science & Technology、Sci-Tech)」運営指導委員会)に参加し、研究紹介や学部紹介を行っています。
- ・23年度から、全国の中高校生対象に Japan AI Cup を人工知能学会、日本統計学会と連携して実施しています(笹嶋教授が実行委員長)。
(https://kikaku.ai-gakkai.or.jp/article/japanaicup2025tankyu_results)
- ・全国の SSH 高校が主体となって開催している FESTAT(全国統計探求発表会)に、毎年、指導教員として、学部教員が参画しています(昨年度は、笹嶋教授がアドバイザー参加)。
- ・人工知能学会全国大会にて、中高生向けのデータサイエンス教育をテーマとした特別セッションやパネル討論を毎年実施。研究科博士後期課程を修了された林宏樹氏と笹嶋教授が企画と運営をしています。
- ・県内 SSH 校、受験実績があるなど有力な高校については高校訪問や模擬授業を毎年行っています。

〈工学部〉

- ・大学見学・進学説明会の受入や出前講義の講師派遣を通じて、キャンパスの雰囲気や大学での学び等を紹介しています。他にも、スーパーサイエンスハイスクールなどに教員が赴き、高校生の探究活動に対する学習指導を行い、学校評議員として参加している事例もあります。
- ・令和5年3月には県立龍野高等学校、令和6年4月には県立明石北高等学校、令和6年7月には県立小野高等学校、令和8年6月には県立加古川東高等学校との教育交流に関する協定を締結しました。協定締結により高大連携の取組をより一層深めていきたいと考えています。

〈理学部〉

- ・高校からの播磨理学キャンパスの見学希望をすべて受け入れ、模擬講義および研究室見学・実演を通して、近隣のSPRING-8/SACLAをはじめとする最先端大型研究装置を活用した研究など、本学部ならではの特色を伝えています。
- ・高校からの出前講義の希望を受けて、理学部教員の講師派遣を通じて理学部のある播磨理学キャンパスの雰囲気や、理学部における研究事例を紹介しています。
- ・附属高校には、他の高校とは別日時に前出講義ならびに大学・研究室見学等の対応をしています。

〈環境人間学部〉

- ・高校生の探究活動の成果を発表する「高校生プレゼンフォーラム」を企画、開催しています。R7年度は6校、29発表、106名が参加。フォーラムの約1か月前の段階で各発表者が本学部教員と面談する機会を設け、教員がアドバイスをを行いました。当日は、第1部では口頭発表形式として高校生のプレゼンテーションに対して本学部教員がコメントし、第2部では高校生どうしが交流できるようにするためポスター発表形式として、いずれも活発なディスカッションが行われました。
(<https://shse-maga.com/seminar/2530>)
- ・先端食科学研究センターが、中学生、高校生を対象に、「サイエンスオープンラボ」を開催しています。深い体験をしてもらうために、人数を20人に限定し、大学の実験器具をつかった「実験体験」、模擬実験を見学してもらう「研究室見学」等を提供しています。
- ・附属中学・高校との連携授業、その他高校への出前講義、大学訪問の受け入れなども積極的に行っています。

〈看護学部〉

- ・「出張講義」「模擬授業」「高校内進学相談会」において、本学部の魅力や専門性をPRしています。
- ・今年度、高校の進路説明会において、本学学部生（当該高校卒業後、本学部に進学）が出席し、大学生活や本学部の魅力を紹介してもらいました。

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	区分 No.	回 答 所 属
5	全学	3	教育改革課

【質問事項】

昨年度各高校で実施した出前授業、大学(学部)説明会などの実績を教えてください。

【回答要旨】

昨年度（令和7年度）実績は、下記のとおりです。

【各キャンパス実績】

神戸商科キャンパス（国際商経学部、社会情報科学部）：出前講義 31 件

姫路工学キャンパス（工学部）：出前講義 15 件、大学見学・進学説明会 21 件

播磨理学キャンパス（理学部）：出前講義 2 件、大学研究室見学・模擬授業 4 件、
附属高校への連携授業 1 件

姫路環境人間キャンパス（環境人間学部）：出前講義 1 件、大学見学 4 件、
附属高校への連携授業 8 件

明石看護キャンパス（看護学部）：出前（出張）講義 10 件、附属高校への連携授業 4 件、
進学相談会・入試説明会 8 件

なお、本学においても下記のとおりオープンキャンパスを実施しています。

令和7年度オープンキャンパス実績

学部名	実施方法	実施日程	開催延べ日数(日)	参加者数(人)
国際商経学部	対面	8/6	1	3, 145
社会情報科学部				
工学部	ハイブリッド (対面、Web)	8/11、8/12	2	3, 120
理学部	対面	8/9	1	697
環境人間学部	対面	7/12、7/13	2	2, 328
看護学部	対面	8/7、8/8	2	1, 932

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	区分 No.	回 答 所 属
6	全学	1	教育企画課

【質問事項】

推薦書類の郵送を学校取りまとめではなくて、個人扱いに改めていただくことはできないでしょうか。

【回答要旨】

令和7年度入学学校推薦型選抜から、出願書類の発送を志願者が行い、合格発表についても志願者が確認する(ホームページ掲載結果を自身で確認・郵送される合格通知書を自宅で受取)等、出願にかかる各種手続きを変更しています。変更概要は以下のとおりで、詳細は9月上旬公開を予定している学校推薦型選抜学生募集要項によりご確認ください。

従前よりも志願者自身で対応する各種手続きが増えていますが、高等学校が推薦する学校推薦型選抜の趣旨を踏まえ、適宜手続きに漏れがないよう、志願する生徒へのご指導を引き続きお願いいたします。

令和6年度入学者選抜

選抜区分	出願書類の発送	受験票印刷	1次試験 合格発表方法	合格発表方法
学校推薦型選抜(11月出願)	学校長	志願者	—	学校長あて郵送(合格・不合格) HP受験番号掲載
学校推薦型選抜(1月出願)	学校長	志願者 (1次試験合格者)	学校長あて郵送 (合格・不合格)	学校長あて郵送(合格・不合格) HP受験番号掲載
一般選抜	志願者	志願者	—	合格者あて郵送(不合格者には郵送なし) HP受験番号掲載



令和7年度以降入学者選抜

選抜区分	出願書類の発送	受験票印刷	1次試験 合格発表方法	合格発表方法
学校推薦型選抜(11月出願)	志願者	志願者	—	合格者あて郵送(不合格者には郵送なし) HP受験番号掲載
学校推薦型選抜(1月出願)			HP受験番号掲載	
一般選抜			—	

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	区分 No.	回 答 所 属
6	全学	2	教育企画課

【質問事項】

志願者または高校が出願時におけるミスを防ぐために、昨年度に発生した出願時の不備などを教えてください。

【回答要旨】

昨年度の出願において、主に以下のような不備がありました。出願時のミス防止のため、ご確認・ご指導いただきますようお願いいたします。

<顔写真データについて>

- ・規定サイズを満たしていない、前髪で眉や目が隠れている、正面から撮影されていない、画質が粗い、光が反射している等、本人確認が困難な写真がありました。
- ・プリントした証明写真をスマートフォン等で再撮影したデータが提出される事例が多く見受けられましたが、本学の募集要項にも記載のとおり、このようなデータは使用できません。

※令和9年度入学者選抜から、共通テスト出願時に撮影した写真も活用しやすいよう、出願に使用できる写真の撮影時期を「3か月以内」から「6か月以内」に変更しています。

<提出書類について>

- ・学校推薦型選抜の推薦書や調査書において、学校長印や記載者印の押印漏れがありました。
- ・卒業証明書や成績証明書の発行日が有効期間外となっている事例がありました。
- ・指定した用紙サイズと異なるサイズの書類が提出される事例がありました（例：A4 指定に対して B5 サイズなど）。特に、成績証明書はA4 両面で指定していますが、A3 やB4 サイズで提出される学校が一定数見受けられます。募集要項をご確認のうえ、指定のサイズにてご提出いただきますようお願いいたします。
- ・他大学宛ての調査書や、提出不要の書類（出願確認票の本人控え等）が同封されている事例もありました。

<出願内容の登録について>

- ・電話番号やメールアドレスの記載漏れがありました。
- ・出願確認票と調査書で住所が一致していない事例や、部屋番号の記載漏れ、転居前の住所が登録されたままの事例がありました。
- ・出願システム登録時に、番地等をスペースで区切って入力したため、住所データが正しく表示されない事例がありました。番地・号はハイフン（－）等を用いて入力し、マンション・アパート等にお住まいの場合は部屋番号まで漏れなくご入力ください。

例：「1丁目2番3号」または「1－2－3」と記載いただきたいところ「1 2 3」と入力。
データを取り出すと「1 2 3」となってしまう、合格通知書等を正しい住所に郵送できない。

- ・出願内容確認のため大学から電話をかけたところ、登録外の電話番号からの着信を受け付けない設定となっていたため、連絡がつかず、確認に時間を要した事例がありました。

＜国際商経学部「英語能力・検定試験結果」・環境人間学部「資格・技能」の利用について＞

- ・対象となる検定試験について、有効期間外（中学校在学中など）の結果が提出される事例がありました。
- ・英検では「合格証明書」ではなく「スコア証明書」、GTEC では「OFFICIAL SCORE」ではなく「生徒用帳票（SCORE REPORT）」が提出される（アセスメント版は不可）など、提出書類の誤りがありました。
- ・国際商経学部が求める書類を提出できない場合は無資格者となり、受験は認められませんので、「英語能力検定の年度別判定基準」を十分ご確認のうえ、ご出願ください。
- ・環境人間学部が求める書類を提出できない場合は加点はしませんので、募集要項を十分ご確認のうえ、ご出願ください。

6 質問事項・回答（芸術文化観光専門職大学）

令和8度 大学・高等学校教育研究懇談会 質問事項 一覧

1 教育方針・教育内容・研究内容等について

質 問 事 項				備考	ページ数
区分	通し No.	区分別 No.	内 容		
全学	1	1	演劇と観光、町づくりの結びつきについて、PR等における工夫と今後の発展性についてどのように考えておられるか教えてください。		7
全学	2	2	育成を目指す生徒像を教えてください。		8
全学	3	3	地域活性化を創出する人材育成とありますが、どのような場面で活躍する人材を育成しようとお考えですか。		9
全学	4	4	教育内容や人材育成と地域振興をどう結びつけていこうとされているのでしょうか。またそれを、学生の成長にどう繋げようとなさっているのですか。		10
全学	5	5	学生の成長を測る指標のようなものを策定されているのですか。その指標の客観性などは第三者による評価を受けておられるのですか。		11
全学	6	6	学生の対話的コミュニケーション能力や着想・思考など数値化しにくい能力について、どのような評価をされているのか教えてください。		12
全学	7	7	語学力の強化や情報処理能力の向上についての具体的な成果は出ていますか。		13
全学	8	8	実践的プログラム以外の教養科目への学生の取組状況はどのような状況ですか。専門科目以外の学生のモチベーション維持にはどう取り組まれているのですか。		14
全学	9	9	芸術へのスキルの不足気味の学生への指導はどうされているのですか。学生のスキルのばらつきなど指導の困難があるのではないのでしょうか。その対応策はどうされているのですか。		15
全学	10	10	自らが起業し、地域、世界で活躍することを期待するとありますが、それに向かって学生を育てサポートしていくシステムがあるのか説明していただけるとありがたいです。		16
全学	11	11	在学中に取得できる資格はありますか。また、資格取得が可能になるようなカリキュラムの見直しの予定はありますか。		17
全学	12	12	海外留学や企業での実習の予定を教えてください。		18
全学	13	13	留学生の受け入れ状況を教えてください。		19
全学	14	14	実習にかかる費用はどれくらいでしょうか。補助金などで学生に何か支援されていますか。		20
全学	15	15	座学と実習の割合について年次毎に教えてください。		21
全学	16	16	1学年の定員が80人であるが、少人数での効果について教えてください		22

令和8度 大学・高等学校教育研究懇談会 質問事項 一覧

2 入学者選抜全般について

質 問 事 項				備考	ページ数
区分	通し No.	区分別 No.	内 容		
全学	1	1	R8年度入学者選抜結果の詳細を教えてください。		23
全学	2	2	学校推薦型の地域枠の詳細を教えてください。		24
全学	3	3	外国語の試験に代えて、英検などの外部検定のスコアを入試に使用する予定はありますか。		25
全学	4	4	令和9年度の入試区分(学校推薦型、総合型選抜、一般選抜)、各入試区分の募集定員・選抜方法・配点・実施時期について変更点があれば教えてください。		26
全学	5	5	令和9年度入試においても、一般選抜において他の国公立大学と併願受験できる予定でしょうか。		27
全学	6	6	総合型選抜と学校推薦型選抜の活動報告書の内容のうち、部活動での実績(全国大会出場など)はどの程度評価されますか。		28
全学	7	7	学生募集において想定しておられる生徒像(出身地域や学力など)はどのようなものですか。		29
全学	8	8	今後、試験会場を増やされる計画はありますか。		30

令和8度 大学・高等学校教育研究懇談会 質問事項 一覧

3 入学後の学生の状況等について

質 問 事 項				備考	ページ数
区分	通し No.	区分別 No.	内 容		
全学	1	1	全寮制のメリットは何でしょうか。		31
全学	2	2	現在の入寮率はどのようなものでしょうか。		32
全学	3	3	入寮者のメンタルヘルスの状況について教えてください。		33
全学	4	4	1年次のみ全寮制ということですが、事情がある場合、自宅通学は可能ですか。また2年次以降は学生寮に入寮できますか。		34
全学	5	5	心のサポートが必要な学生や障害のある学生に対するサポートについて教えてください。		35
全学	6	6	トランスジェンダー等の学生に対する、具体的な配慮や対応について教えてください。		36
全学	7	7	学校周辺にアルバイト先等がありますか。また、どのようなアルバイトに就いていますか。		37
全学	8	8	経済的に困窮し生活状態が大変な学生に対して、支援するシステムなどがありますか。		38
全学	9	9	部活動・サークル活動にはどのようなものがありますか。		39
全学	10	10	学生の退学等、継続が困難な生徒の状況について教えてください。		40

令和8度 大学・高等学校教育研究懇談会 質問事項 一覧

4 進学、就職について

質 問 事 項				備考	ページ数
区分	通し No.	区分別 No.	内 容		
全学	1	1	大学としてはどのような企業への就職をイメージしておられますか。また、現役学生における就職の希望状況はいかがでしょう。		41
全学	2	2	学生たちの就職先の希望の分野は、芸術文化と観光ではこういった比率になりますか。		42
全学	3	3	貴校の場合、地域密着、地域貢献的な観点から企業連携もされていると思いますが、広く地元以外との連携状況について教えてください。		43
全学	4	4	キャリアサポートセンターの詳細についてお聞かせください。		44
全学	5	5	学生の出身は全国にわたっていますが、就職地の志向はありますか。		45
全学	6	6	卒業した学生の具体的な進路先を教えてください。		46

令和8度 大学・高等学校教育研究懇談会 質問事項 一覧

5 高大連携の取組等について

質 問 事 項				備考	ページ数
区分	通し No.	区分別 No.	内 容		
全学	1	1	現時点でも多くの高校と貴大学で連携がなされていると思いますが、連携のあり方について、さらに広げる方向でしょうか。または、連携の効果的運営の観点から連携先を絞ることは考えていますか。		47
全学	2	2	大学に高校生を招いた体験授業等の連携はありますか。また、どのような高大連携があるのでしょうか。		48
全学	3	3	地域を題材とした探究活動に対する学生コーディネーターの派遣等の連携は可能でしょうか。		49
全学	4	4	高校生対象の教育プログラムがあれば教えてください。		50

令和8度 大学・高等学校教育研究懇談会 質問事項 一覧

6 その他

質 問 事 項				備考	ページ数
区分	通し No.	区分別 No.	内 容		
全学	1	1	高校等への文化祭における出張公演など考えていただけないでしょうか。（大学PRも兼ねた無料公演など）		51
全学	2	2	オープンキャンパスも含め、遠方の地区の学生に対し、無料の送迎バスを出すなどの予定はありませんか。また、都心部での説明会や講演等の開催を希望しますが可能ですか。		52

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
1	教育方針・教育内容 ・研究内容等	1	芸術文化観光専門職大学
【質問事項】 演劇と観光、町づくりの結びつきについて、PR 等における工夫と今後の発展性についてどのように考えておられるか教えてください。			
【回答要旨】 本学のディプロマ・ポリシーに関して、ホームページや大学広報誌をはじめ、進学希望者に対する大学説明会等を通して情報を提供するほか、教員の研究活動等に係る刊行物、公開講座、講演会等を活用するなど、広く情報を公開しています。 受験生に対しては、学生募集のためのオープンキャンパスなどの入試広報の場や、大学ホームページなど、様々な機会を通じて、芸術文化と観光の双方を学ぶ意義を周知しております。 また、オープンキャンパスでは、本学の掲げる学びの意義等を具体的に理解していただくため、模擬講義に参加できるプログラムをご用意しています。 さらに、実習や演習、地域協働の事業を通じて、学生が地域に出ていく機会が増えています。授業で政策提案をしたり、地域行事に参加させていただくなど、実際の学生の様子を見ていただくことも理解につながるものと考えております。 今後も引き続き、芸術文化と観光の双方を学ぶ意義と、それらがどのように地域協働に繋がるかを示していきます。			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
1	教育方針・教育内容 ・研究内容等	2	芸術文化観光専門職大学
【質問事項】 育成を目指す生徒像を教えてください。			
【回答要旨】 本学では、他者と協調・協働して行動できる対話的コミュニケーション能力をもち、地域活性化における芸術文化と観光の果たす役割を理解したうえで、地域と協働し、ユニバーサルな視点で社会的な課題に取り組み、地域に新たな活力を創出しようとする意欲を持つ人材の育成を目指します。			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
1	教育方針・教育内容 ・研究内容等	3	芸術文化観光専門職大学
【質問事項】 地域活性化を創出する人材育成とありますが、どのような場面で活躍する人材を育成しようとお考えですか。			
【回答要旨】 本学では、「芸術文化分野」と「観光分野」、それぞれの専攻において以下のような人材の育成を目指します。 ① 芸術文化分野 芸術文化と地域社会を橋渡しし、地域の魅力づくりに資する知識、技法、創造活動全体を意味する芸術文化マネジメント能力を身に付けたうえで、地域社会の側が芸術文化に求めているニーズを発掘し、芸術文化がそのニーズに応えられるように芸術文化と地域社会との良好な関係をコーディネートする能力を高めるとともに、地域の観光関連事業者と連携することにより新たな価値を創造できる人材。 ② 観光分野 観光のマネジメントの特性を理解したうえで、マーケティングや経営学のディシプリンから観光事業分野の学びを徹底し、理論的かつ実践的な職業人としての基礎能力を高めるとともに、これら観光に関する能力に併せ持つものとして、地域活性化の力となる芸術文化分野の知見を生かして、新たな観光の展開を具体化できる人材。			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
1	教育方針・教育内容 ・研究内容等	4	芸術文化観光専門職大学
【質問事項】 教育内容や人材育成と地域振興をどう結びつけていこうとされているのでしょうか。またそれを、学生の成長にどう繋げようとなさっているのですか。			
【回答要旨】 本学が育成する人材は、芸術文化を生かした観光による価値連鎖を引き起こし、観光事業による交流の拡大、消費活動の喚起を通じて文化の振興、観光の振興、地域の活性化の好循環を促すことのできる人材であり、芸術文化と観光の果たす役割を理解し、両分野の視点を生かして地域を活性化する専門職業人です。 それらの能力を理論と実践により修得するカリキュラムを構築しています。 例えば、学内において理論科目「地域創生論」などの理論科目を履修した後、県市町の行政機関における臨地実務実習として「地域創生実習」などの実践科目を履修しています。地域の有する課題、社会課題を政策に転換するプロセス、地域創生の取組について理解できるとともに、事業や施策に関する調査・分析を実施し、改善提案等の企画・立案、自らの体験に基づき、独自の考察を加えたレポートを作成し、プレゼンテーションを実施することで、実践的能力を修得でき、学生の成長に繋がります。			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
1	教育方針・教育内容 ・研究内容等	5	芸術文化観光専門職大学
【質問事項】 学生の成長を測る指標のようなものを策定されているのですか。その指標の客観性などは第三者による評価を受けておられるのですか。			
【回答要旨】 本学では、教育内容をより良いものにするための改善に努め、絶えず現状を分析しています。 (1) 文部科学大臣認証機関による第三者評価 第三者評価は、自己評価の妥当性が検証され、透明性及び客観性が高まるとともに、その評価自体の信頼性が向上すると考えます。また、自己評価では気付かなかった改善点が明らかになり、より効果・効率的な教育研究活動の推進につながります。 令和7年度に文部科学大臣の認証手続きを行っている第三者機関による認証評価（分野別認証評価）を受け、その結果を踏まえた見直しに取り組んでいます。 令和9年度には、文部科学大臣認証機関による認証評価（機関別認証評価）を受けることにしています。 (2) ジェネリックスキルテストの実施 新入生を対象に、課題発見力など知識を活用する力と、対人基礎力など行動特性の2つの能力を測定し、現時点での学生個人の強みと弱みを客観的に数値化して示すとともに、以後の成長に繋げるための助言を行っています。さらに、3年次において再びテストすることで、成長状況を把握する取組を行っています。 (3) 授業評価アンケートの実施 全科目を対象に、授業内容、授業方法、学生の自己評価などの質問項目を設定した「学生による授業評価」を実施し、授業内容や方法の改善と教育研究活動の活性化のため、授業評価の結果は、とりまとめて全教員に供覧しています。 例えば、入学直後に芸術文化と観光の双方の視点を修得する意義を学ぶ必修科目「芸術文化と観光」を開講しており、この科目の授業評価アンケートの学生理解度の結果は、約93%と高いことから、学生は本学特有の学びを理解した上で学修を進めていると考えています。			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
1	教育方針・教育内容 ・研究内容等	6	芸術文化観光専門職大学
【質問事項】 学生の対話的コミュニケーション能力や着想・思考など数値化しにくい能力について、どのような評価をされているのか教えてください。			
【回答要旨】 多文化、多様性の中で人とつながり、相互の違いを理解することが重要となっています。「言葉にしなくとも察してもらえるはず」などの従来型の意思疎通が通用しなくなってきており、多様な背景を持つ人々と良好な人間関係を形成できる力が求められており、ビジネスをはじめ社会生活を営むにあたり、欠かせない重要な能力と考えます。 関係者と上手く折り合いをつけながら、対話を通じて一定期間内に合意形成に導く「対話的コミュニケーション能力」を養成するため、1年次に全員が「コミュニケーション演習」を履修し、実際に身体を動かすワークショップ形式を織り交ぜながら、理論と実践を通して学生のコミュニケーション能力を磨き、他者の考え方や立場を理解しながら、将来にわたって自分らしく生きていく人間力を養成しています。 評価については、「コミュニケーション演習」の授業評価アンケートの学生理解度は約 96%と高い評価となっています。 また、1年次及び3年次に実施している対人基礎力などを測定するジェネリックスキルテストにおいて、特に、役割を理解して相互に助け合う協働力のうち「役割を理解し連携して行動する力」と、意見を主張してチームを高める統率力のうち「建設的・創造的な討議を行う力」については、他の国公立大学の平均値よりも高い能力を有するとの判定結果となっています。			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
1	教育方針・教育内容 ・研究内容等	7	芸術文化観光専門職大学
【質問事項】 語学力の強化や情報処理能力の向上についての具体的な成果は出ていますか。			
【回答要旨】 本学は、生涯にわたり必要な素養を身に着ける目的で基礎科目を設けており、その中に、語学力を強化する科目と情報処理能力を養成する科目を配置しています。 英語力を強化する科目では、外国人とのコミュニケーション能力を高め、相互の理解を深めるため、1年次の英語科目は年間を通じて週4時間、2年次も年間を通じて週4時間と他大学より多い授業時間を必修とし、観光や芸術文化分野における専門職業人の基礎となる英語能力を修得します。 加えて、「海外語学研修」を通じて実践的な英語スキルを磨くことにより、国際社会で活躍できる人材育成を目指しています。 情報処理能力を養成する科目では、情報化社会を踏まえ、学生が必要な情報を吟味し、収集、処理、分析し、その結果を新たなビジネスモデルの創出に繋げることができるよう「情報処理演習1」「情報処理演習2」「データ分析論」を配置しています。 語学面では、交換留学、海外実習や語学研修を希望する学生の増加や、留学生の生活や日本語学習をサポートする「バディ制度」にも多数の応募があるなど、学生が主体的に異文化コミュニケーションを行う雰囲気が醸成されてきています。情報処理についても、授業評価アンケートの回答において、よく理解し修得できていると感じている学生の割合が多くなっています。 引き続き、学生の能力の向上に資する教育の提供に努めてまいります。			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
1	教育方針・教育内容 ・研究内容等	8	芸術文化観光専門職大学
【質問事項】 実践的プログラム以外の教養科目への学生の取組状況はどのような状況ですか。専門科目以外の学生のモチベーション維持にはどう取り組まれているのですか。			
【回答要旨】 本学は、1 学年を 4 期に区分するクォーター制を採用しており、第 1・第 3 クォーターでは“理論”第 2・第 4 クォーターでは“実践”を繰り返し学ぶスタイルを取り入れています。 専門職大学では、一般大学の「教養科目」とは異なり、生涯にわたり自らの資質を向上させ、社会的及び職業的に自立するために必要な能力を養成するための「基礎科目」を設けています。 本学では、「基礎科目」を主に第 1・第 3 クォーターに配置し、語学力を強化する科目、情報処理能力を養成する科目のほか、対話的コミュニケーション能力を身に付けさせるコミュニケーション演習などのリテラシー科目（25 科目）を設けています。 また、新たな価値創造につながる着想や思考を喚起するため、芥川賞受賞者による「文学」や元文部科学副大臣による「政治学」など、著名な学外有識者による知的創造性科目（6 科目）を設けています。 現在開講中の全 155 科目のうち、「基礎科目」をはじめとする“理論・演習”系科目が 119 科目あり、学生は卒業要件を踏まえ、教職員の履修指導を受けながら、自らの進路に応じた興味のある履修科目をバランス良く選択しています。			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
1	教育方針・教育内容 ・研究内容等	9	芸術文化観光専門職大学
【質問事項】 芸術へのスキルの不足気味の学生への指導はどうされているのですか。学生のスキルのばらつきなど指導の困難があるのではないのでしょうか。その対応策はどうされているのですか。			
【回答要旨】 本学では、芸術文化のスキルを伸ばす教育ではなく、芸術文化の持つ力を活用することに主眼を置いた教育を行っています。 指導方法としては、多様な価値観に対する理解を深め、自分と異なる価値観を持つ他者と協働できる学生を受け入れることにしており、学生一人ひとりに応じたきめ細やかな指導を行うため、担当教員が1年次から4年次まで少人数による指導を行う体制を構築しています。 各学年での具体の指導体制は、次のとおりです。 1年次は、必修科目「知と表現のデザイン1」の担当教員がクラス担任となり、高校から大学への円滑な学修の接続をサポートし、大学での学び方や履修計画の立て方、学生生活に関する相談にも個別に対応しています。 2年次は、芸術文化と観光経営のいずれかの専攻に所属し、「知と表現のデザイン2」の担当教員がクラス担任となります。 3年次は、必修科目「専門演習」の担当教員が所属する少人数の学生を担当し、研究分野の異なる教員も副担当として指導しています。 4年次においても、3年次と同様に必修科目「総合演習」において、研究分野の異なる複数の教員が担当し、両分野からきめ細やかな教育研究指導や進路支援を行っています。 また、各学年で個別面談を行っており、教務委員会と連携して履修登録、主となる専攻の選択や、さらには、学生のキャリア形成を支援し、将来の進路を見据えた指導を行うためキャリアセンターとも連携した指導を行っています。面談で把握した授業の問題点は、教員間で情報を共有して授業改善にもつなげています。 本学は、芸術文化と観光の双方の視点の修得を目指しており、1年次に必修科目「芸術文化と観光」を配置し、入学直後に両分野を学ぶ意義とそれぞれが深く関連している実例を含め、本学での学びの意義を分かりやすく教育し、各科目においても両分野が関連することを踏まえた授業内容としています。			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
1	教育方針・教育内容 ・研究内容等	10	芸術文化観光専門職大学
【質問事項】 自らが起業し、地域、世界で活躍することを期待するとありますが、それに向かって学生を育てサポートしていくシステムがあるのか説明していただけるとありがたいです。			
【回答要旨】 起業に限らず、キャリアサポートセンターを中心に学生からの相談内容に応じた支援を行っております。また、本学には実務家教員が多数在籍し、ゼミ活動などの授業等を通して、学生へノウハウなどを指導しています。 また、アントレプレナーシップ論やグローバルリーダー入門など、起業家育成のための科目を設けています。			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
1	教育方針・教育内容 ・研究内容等	11	芸術文化観光専門職大学
【質問事項】 在学中に取得できる資格はありますか。また、資格取得が可能になるようなカリキュラムの見直しをする予定はありますか。			
【回答要旨】 現在、正課内で取得可能な資格はございません。 資格取得に向けたカリキュラムの見直しの予定はありませんが、学生のキャリア形成に資する資格取得のために検定料を助成する制度を設けています。			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
1	教育方針・教育内容 ・研究内容等	12	芸術文化観光専門職大学
【質問事項】 海外留学や企業での実習の予定を教えてください。			
【回答要旨】 《 海外留学 》 半年から1年の範囲内で学生の派遣と受け入れを行っています。 現在、以下の大学と協定を締結しています。 〈韓国〉 ソウル芸術大学校 中央大学校 京畿大学校 〈ドイツ〉 トリア大学 〈台湾〉 嶺東科技大学 修平科技大学 建国科技大学 また、第2、4Qに海外語学研修（3～4週間）、海外実習（3週間）を実施しています。 《 企業等での実習 》 第2、4Qに以下の施設で実習を予定しています。 第2Q（7月末～9月）：但馬圏内の自治体や団体など60施設程度 第4Q（1月末～3月）：公共ホールなど40施設程度			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
1	教育方針・教育内容 ・研究内容等	13	芸術文化観光専門職大学
【質問事項】 留学生の受け入れ状況を教えてください。			
【回答要旨】 令和5年度から留学生を受け入れています。詳細は以下のとおりです。 <令和5年度> 韓国1名、台湾3名 <令和6年度> 台湾2名、韓国2名、ドイツ1名（台湾の1名は令和5年度から継続） <令和7年度> 韓国3名 <令和8年度> 韓国4名			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
1	教育方針・教育内容 ・研究内容等	14	芸術文化観光専門職大学
【質問事項】 実習にかかる費用はどれくらいでしょうか。補助金などで学生に何か支援されていますか。			
【回答要旨】 臨地実務実習に関わる費用（宿泊費・交通費など）は、原則学生負担としています。金額は、参加する実習施設・実習期間に応じて様々ですが、例えば、遠方の実習施設を選択した場合、宿泊費と交通費を合わせて最大10万円程度かかる実習施設もあります。 本学では、実習にかかる学生の費用を軽減するため、大学及び後援会から実習にかかる費用を補助しています。 ・大学 3, 500円/泊（宿泊費） ・公共交通機関が不便な実習先への送迎支援 ・後援会 最大3万円（宿泊費・交通費） *予算の状況により、変動することがあります。			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
1	教育方針・教育内容 ・研究内容等	15	芸術文化観光専門職大学
【質問事項】 座学と実習の割合について年次毎に教えて下さい。			
【回答要旨】 開講する全155科目のうち、講義科目が約77%（119科目）、実習系科目が約23%（36科目）です。 配当年次別では以下のとおり開講しており、学生はクラス担任等の指導のもと、自身の進路や大学の卒業要件に沿った履修計画を立てることとなります。 【1年次】講義：39科目、実習：10科目 【2年次】講義：44科目、実習：16科目 【3年次】講義：33科目、実習：9科目 【4年次】講義：3科目、実習：1科目			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
1	教育方針・教育内容 ・研究内容等	16	芸術文化観光専門職大学
【質問事項】 1 学年の定員が 80 人であるが、少人数での効果について教えてください			
【回答要旨】 教員と学生が互いの顔や個性をしっかりと認識できる環境により、一人ひとりの理解度に応じたきめ細やかな指導が可能となっている。 原則、全科目を 40 人以下で行う徹底した少人数教育を実施。教員と学生の顔の見える関係ときめ細やかな指導を通じて学びを深め、高い教育効果を実現します。 また、1 年次、2 年次はクラス「担任制」（1 クラス 13 名程度）、3、4 年次は「専門演習」「総合演習」のゼミ担当教員がアドバイザーとなり全面的にサポートします。また、1、2 年次に集中的な語学教育の少人数（15 人程度）指導など一貫した少人数指導体制を確立し、第一線の講師陣と交流しながら、理論と実践を修得できます。 また、キャリア支援の面でも、専門資格を有するキャリアコーディネータなどによる手厚いサポートを実施することができており、その結果が学生の就職率につながっていると考えます。			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
2	入学者選抜全般	1	芸術文化観光専門職大学

【質問事項】

R 8 年度入学者選抜結果の詳細を教えてください。

【回答要旨】

R 8 年度入試について、志願者数は 244 名、志願倍率は 3.1 倍で、昨年の志願倍率（3.9 倍）から減少していますが、引き続き全国から受験いただいています。また、志願者の県内・県外比率は、県内が 21.3%、県外が 78.7%で、昨年の県内比率 25.5%と比べ、県内志願者が減少しました。

実施結果については、本学ホームページ上でも公開していますのでご参照ください。

芸術文化観光専門職大学実施結果 2026 年度（令和 8 年度）入学者選抜 実施結果

入試 種別	募集定員 A	志願者数 B	1 次選抜 通過者	受験者数 C	合格者数 D	入学者数	志願倍率 B/A	合格倍率 C/D
学校 推薦型 選抜	30 人	78 人	—	78 人	33 人	33 人	2.6 倍	2.4 倍
総合型 選抜	30 人	93 人	93 人	89 人	31 人	31 人	3.1 倍	2.9 倍
一般 選抜	20 人	73 人	—	67 人	25 人	21 人	3.7 倍	2.7 倍
合計	80 人	244 人	—	234 人	89 人	85 人	3.1 倍	2.6 倍

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
2	入学者選抜全般	2	芸術文化観光専門職大学
【質問事項】 学校推薦型の地域枠の詳細を教えてください。			
【回答要旨】 学校推薦型選抜の推薦枠について、県外の学校については1校1名以内の推薦としているところ、兵庫県内の学校のうち、但馬地域に所在する学校は1校3名以内、兵庫県内の学校のうち、但馬地域以外に所在する学校は1校2名以内と推薦枠を拡大しています。 公立の大学として、地元の高校から本学のアドミッションポリシーにマッチする優秀な生徒に本学に入学していただき、社会に貢献する人材として育成することは大変重要であると認識しているところです。 是非、今後とも県内の高校から優秀な生徒をご推薦ください。			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
2	入学者選抜全般	3	芸術文化観光専門職大学

【質問事項】

外国語の試験に代えて、英検などの外部検定のスコアを入試に使用する予定はありますか。

【回答要旨】

現在のところ、外国語の試験に代えて、英検等の外部検定のスコアを入試に使用する予定はございません。

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
2	入学者選抜全般	4	芸術文化観光専門職大学

【質問事項】

令和9年度の入試区分(学校推薦型、総合型選抜、一般選抜)、各入試区分の募集定員・選抜方法・配点・実施時期について変更点があれば教えてください。

【回答要旨】

令和9年度入学者選抜について、総合型選抜が例年より1週間遅い実施になっています。その他、入試区分、募集定員、選抜方法、配点に変更はありません。

なお、実施時期等の詳細については本学ホームページ上で「入試概要（選抜要項）」を公表していますのでご参照ください。

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
2	入学者選抜全般	5	芸術文化観光専門職大学

【質問事項】

令和9年度入試においても、一般選抜において他の国公立大学と併願受験できる予定でしょうか。

【回答要旨】

令和9年度入試においても、本学の一般選抜は独自日程で実施予定のため、他の国公立大学と併願受験が可能です。

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
2	入学者選抜全般	6	芸術文化観光専門職大学

【質問事項】

総合型選抜と学校推薦型選抜の活動報告書の内容のうち、部活動での実績（全国大会出場など）はどの程度評価されますか。

【回答要旨】

総合型選抜と学校推薦型選抜について、部活動での実績を含む活動報告書に記載した内容は、書類選考による評価に使用することがあるほか、個人面接において活用しています。

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
2	入学者選抜全般	7	芸術文化観光専門職大学

【質問事項】

学生募集において想定しておられる生徒像（出身地域や学力など）はどのようなものですか。

【回答要旨】

本学では実習を中心とする教育課程を進める上で、新たな価値創造や地域活性化への意欲、さらには主体性・多様性・協働性を重視しています。そのため、アドミッション・ポリシーを踏まえただけで、学力だけに留まらず、本学での学修に対する意欲や解決すべき課題を発見する力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度など、受験生の多様な資質・能力・態度のほか、高等学校における活動実績等を幅広く評価しています。

多様な入学者の確保を目指して、受験生の能力、適性及び学修意欲を多角的に評価するために「一般選抜」「総合型選抜」「学校推薦型選抜」の3つの入試区分を設け、全国から幅広く優秀な学生を募集しています。

【参考】アドミッション・ポリシー

- ① 高等学校で習得すべき基礎学力を身に付けている人（知識・技能）
- ② 専門職大学での学修に必要な柔軟な思考による創造力、判断力、リーダーシップ、コミュニケーション能力を身に付けている人（思考力・判断力・表現力）
- ③ 芸術文化及び観光に関する専門的知識・技能を身に付けた上、その知見を生かして新たな価値創造に挑戦し、地域の活性化を図りたいという強い意欲を持っている人（主体性・協働性）
- ④ 多様な価値観に対する理解を深め、自分と異なる価値観や文化的な背景を持った人々とも交流を促進しようとする強い意欲と、相互に支え合いながら他者と協働して行動しようとする寛容性を持っている人（主体性・多様性・協働性）

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
2	入学者選抜全般	8	芸術文化観光専門職大学

【質問事項】

試験会場を増やされる計画はありますか。

【回答要旨】

現在のところ、入学試験会場として、本学以外の会場を設定する予定はございません。

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通しNo.	回 答 所 属
3	入学後の学生の状況	1	芸術文化観光専門職大学

【質問事項】

全寮制のメリットは何でしょうか。

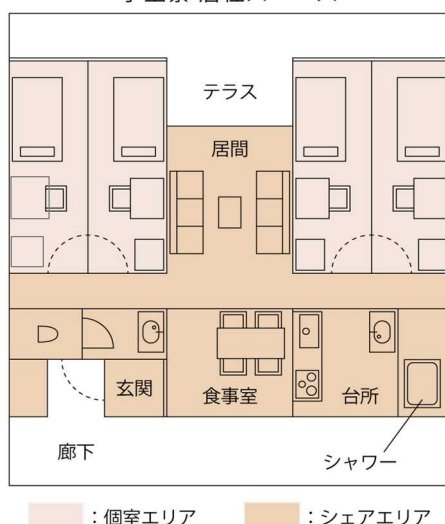
【回答要旨】

学舎に隣接した立地で学修環境を確保すること、学生同士での生活交流を通じて、自律性、社会性、コミュニケーション能力を養うことができます。

また、全国各地から入学する学生にとって、住居を探す負担が無いことや、比較的安価であることもメリットです。

【参考】 寮の概要

学生寮 居住スペース



寮費

30,000 円／月（光熱水費、インターネット接続料を含む）

※別途、布団等レンタル料が必要です。

共用施設

1 階：交流室、事務室、ラウンジ、給湯室、メールコーナー、多目的トイレ

各階：ミーティングルーム、ランドリー室（洗濯機、乾燥機（月額寮費込））

個室設備等

【ユニット共用部分】

キッチン（IH コンロ、冷蔵庫、炊飯器、電子レンジ、調理器具等）、ダイニングルーム（テーブル、イス）、リビングルーム（テーブル、イス）、トイレ、洗面所、脱衣室、シャワーブース、エアコン

【個室】

シングルベッド、学習机、イス、照明、クローゼット、エアコン、カーテン

※布団、枕、ベッドパッド、シーツは学校が指定する業者からレンタル

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
3	入学後の学生の状況	2	芸術文化観光専門職大学
【質問事項】 現在の入寮率はどのようなものでしょうか。			
【回答要旨】 1年生は全寮制です。2年生以降は、ドミトリー・チューター※として寮に残る学生が数名いるほかは、退寮しなければなりません。 ※) ドミトリー・チューター：寮生を生活面で指導・支援し、寮内行事の企画運営を行う学生			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
3	入学後の学生の状況	3	芸術文化観光専門職大学
【質問事項】 入寮者のメンタルヘルスの状況について教えてください。			
【回答要旨】 新しい環境で不安な気持ちを抱える学生に対しては、ドミトリー・チューター（寮内で生活する上級生）への相談や大学のカウンセリングの利用を促し、心の健康が保てるような環境を整備しています。			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
3	入学後の学生の状況	4	芸術文化観光専門職大学
【質問事項】 1年次のみ全寮制ということですが、事情がある場合、自宅通学は可能ですか。また2年次以降は学生寮に入寮できますか。			
【回答要旨】 本学の学生寮は、学生の修学環境を確保し、学生同士の生活交流を通じて自立性、社会性、コミュニケーション能力を養い、本学学生としての勉学に資することを目的としているため、1年次は入寮を原則としています。ただし、第1Q終了以降は適正な理由があれば退寮を認めています。 また、2年次以降は原則入寮できませんが、ドミトリー・チューター※に任命された者は入寮を認めています。 (※) ドミトリー・チューター：寮生を生活面で指導・支援し、寮内行事の企画運営を行う学生			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
3	入学後の学生の状況	5	芸術文化観光専門職大学
【質問事項】 心のサポートが必要な学生や障害のある学生に対するサポートについて教えてください。			
【回答要旨】 毎週1回程度、外部のカウンセラーによるカウンセリングの場を備えており、希望する学生は相談することができます。 障害のある学生への支援については、本学で策定した「障がいのある学生支援のガイドライン」に基づき、全学が一体となった支援体制を構築し、専門家の協力を得ながら適切に支援します。			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
3	入学後の学生の状況	6	芸術文化観光専門職大学
【質問事項】 トランスジェンダー等の学生に対する、具体的な配慮や対応について教えてください。			
【回答要旨】 LGBTQ の学生に対しては、学生生活における支障や不安が少しでも軽減されるように、本人に寄り添い、一緒に問題を解決します。例えば、以下のような対応が可能です。 (例) ・通称名の使用 ・多目的トイレの使用 ・健康診断の時間調整 ・入寮時の個室対応 ・宿泊を伴う実習先における調整			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
3	入学後の学生の状況	7	芸術文化観光専門職大学
【質問事項】 学校周辺にアルバイト先等がありますか。また、どのようなアルバイトに就いていますか。			
【回答要旨】 多くの学生が、大学周辺の飲食店やコンビニエンスストアなどでアルバイトをしています。			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
3	入学後の学生の状況	8	芸術文化観光専門職大学
【質問事項】 経済的に困窮し生活状態が大変な学生に対して、支援するシステムなどがありますか。			
【回答要旨】 本学では、学業成績優秀で、授業料等の納入が困難な者について、申請にもとづき選考のうえ授業料等を減免する制度を設けており、全額免除または半額免除があるほか、特別な事由があると認められたときには、授業料の分割納入又は納入の延期をすることもできます。また、本学は大学等における「修学の支援に関する法律に基づく修学支援（授業料等減免と給付型奨学金）」を受けることができます。			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
3	入学後の学生の状況	9	芸術文化観光専門職大学

【質問事項】

部活動・サークル活動としてはどのようなものがありますか。

【回答要旨】

部活動はありませんが、現在、以下の公認サークルが活動しています。
活動内容は、舞台公演、音楽、アートマネジメントなど多岐にわたります。

＜令和8年度公認サークル＞

No,	サークル名	活動内容
1	CAT Musical Circle	ミュージカル
2	アートマネジメントサークル	アートマネジメント
3	アカペラサークル うたた音	アカペラ
4	映像制作団体プロジェクト	映像制作
5	お笑い研究サークル	お笑い
6	古典研究ユニット「テアトロ」	演劇研究・公演
7	なまおと	音楽
8	ねこ大学附属☆高校演劇部	高校演劇作品の上演
9	ひよこモンズ	学生団体の公演情報等発信、地域団体とのイベント企画
10	劇場研究会	作品の創作・仮説劇場の運営
11	但馬旅人生活拠点。	作品創作・地域交流
12	中国研究サークル	中国文化・アジア圏文化の研究
13	踊る会	コピーダンス
14	落語研究会	落語
15	朗読劇サークル	朗読劇
16	KPOP サークルMix-Star	K-POP ダンス
17	愛どるサークル	アイドル活動
18	Sweet Atelier	おかしづくり

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
3	入学後の学生の状況	10	芸術文化観光専門職大学

【質問事項】

学生の退学等、継続が困難な生徒の状況について教えてください。

【回答要旨】

現時点での退学者は20名です。進路変更など退学の理由は様々です。

令和3年度：2名（R3年度入学2名）

令和4年度：2名（R3年度入学1名、R4年度入学1名）

令和5年度：4名（R3年度入学1名、R4年度入学1名、R5年度入学2名）

令和6年度：6名（R3年度入学1名、R4年度入学1名、R5年度入学2名、R6年度入学2名）

令和7年度：6名（R3年度入学1名、R4年度入学2名、R5年度入学3名）

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
4	進学、就職	1	芸術文化観光専門職大学

【質問事項】

大学としてはどのような企業への就職をイメージしておられますか。また、現役学生における就職の希望状況はいかがでしょうか。

【回答要旨】

日々、芸術文化や観光に限らず、様々な分野から多くの求人をいただいています。
就職先としては、劇団、劇場・文化ホール等の文化施設、DMOなどの観光団体・旅行会社、ホテル、国・地方公共団体などを想定しています。

学生が志望する業種・業界は多岐に渡りますが、観光分野では、旅行会社やホテル業界、また、芸術文化分野では、劇団・劇場を保有する団体や文化ホール等の文化施設を志望する学生が多くみられます。

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
4	進学、就職	2	芸術文化観光専門職大学

【質問事項】

学生たちの就職先の希望の分野は、芸術文化と観光ではこういった比率になりますか。

【回答要旨】

芸術文化、観光分野での就職を希望する者は、その専攻にかかわらず、両分野で同数程度を就職先として希望しています。（重複回答あり）

また、この分野以外の企業や公務員への就職や、大学院等への進学希望者もいます。

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
4	進学、就職	3	芸術文化観光専門職大学

【質問事項】

貴校の場合、地域密着、地域貢献的な観点から企業連携もされていると思いますが、広く地元以外との連携状況について教えてください。

【回答要旨】

本学では、産業界及び地域社会等の委員からなる教育課程連携協議会を設置し、年に2回協議会を開催することとしています。協議会では、但馬地域を実習先の中心とする本学の臨地実務実習の実施状況や調整状況を実習担当の教員から説明するなど、地域と連携した本学の臨地実務実習への取り組みについて活発な意見交換を行い、本学への理解を深めていただけています。

実習先については、「地域の偏りへの配慮」「但馬地域内での更なる実習先開拓」について指摘を受けており、地域と連携した実習先の充実に引き続き取り組んでいく必要があると考えています。

また、地域連携の拠点として、地域リサーチ&イノベーションセンターを設置し、本学が持つ「芸術文化」「観光」「経営」という研究シーズを活かして地域課題の解決に取り組んでいます。教職員、学生による地元自治体や団体、民間企業との連携事業（通称RICプロジェクト）を通じて地域活性化や地域経済の持続的発展に寄与するとともに、その成功モデルを但馬地域から全国へと発信しています。この連携事業実績は、過去5年間で160件余りに上り、県内外の行政機関、団体、但馬地域外の教育機関などとも連携事業を実施しています。

令和8度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
4	進学、就職	4	芸術文化観光専門職大学

【質問事項】

キャリアサポートセンターの詳細についてお聞かせください。

【回答要旨】

キャリアサポートセンターでは、エントリーシートの書き方や面接指導等のキャリア講座などを通じ、キャリア支援を行っています。

令和5年度からは、キャリア支援システムを導入、令和6年度からは、キャリアコーディネーターを1名配置し、学生の進路相談や面接指導などを中心に、サポート体制を強化しています。また、就職支援会社やハローワーク等と連携した支援体制も構築しています。

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
4	進学、就職	5	芸術文化観光専門職大学

【質問事項】

学生の出身は全国にわたっていますが、就職地の志向はありますか。

【回答要旨】

卒業後の進路等について、地域に関わらず、興味関心のある企業への就職を希望する学生が多くみられます。

実際に1期生では、兵庫県内に就職した学生11名のうち、9名が県外出身の学生で、2期生では、兵庫県内に就職した学生12名のうち、8名が県外出身の学生でした。

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
4	進学、就職	6	芸術文化観光専門職大学
【質問事項】 卒業した学生の具体的な進路先を教えてください。			
【回答要旨】 1期生・2期生の進路としては、卒業生138名のうち、就職者122名、進学者10名となっています。 主な就職先として、芸術文化分野では、四季（株）や（株）宝塚舞台、（公財）兵庫県芸術文化協会等、観光分野では、（株）オリエンタルランドや合同会社ユー・エス・ジェイ、（株）JTB 等になりますが、その他にも銀行や市役所等、就職先は多岐に渡ります。分野別の内訳では芸術文化分野、観光分野それぞれほぼ同数になっています。 また、主な進学先としては、東京藝術大学大学院や早稲田大学芸術学校、和歌山大学大学院観光学研究科等になります。 卒業生の主な就職先 【芸術文化分野】 四季（株）、劇団 SCOT、東京芸術劇場、<u>（公財）兵庫県芸術文化協会</u>、（株）宝塚舞台、<u>城崎国際アートセンター</u>、<u>兵庫県立尼崎青少年創造劇場</u>、横浜市芸術文化振興財団、<u>（公財）静岡県舞台芸術センター</u>、JR 東日本文化創造財団 など 【観光分野】 （株）オリエンタルランド、（株）JTB、<u>豊岡観光イノベーション</u>、日本エアコミュータ（株）、リゾートトラスト（株）、ハウステンボス（株）、合同会社ユー・エス・ジェイ、西日本旅客鉄道（株）、ヒルトン京都、日本航空（株）、近畿 HR パートナーズ、<u>（株）パソナ HR HUB</u> など 【その他】 <u>豊岡市役所</u>、北海道庁、（株）高知新聞社、コザキ（起業）、<u>（株）ハイファイブ</u>、<u>但馬銀行</u>、<u>但馬信用金庫</u> など ※下線は臨地実務実習先			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
5	高大連携の取組等	1	芸術文化観光専門職大学
【質問事項】 現時点でも多くの高校と貴大学で連携がなされていると思いますが、連携のあり方について、さらに広げる方向でしょうか。または、連携の効果的運営の観点から連携先を絞ることは考えていますか。			
【回答要旨】 現在、但馬地域の公私立高等学校、高等専修学校、特別支援学校20校で実施している演劇的手法を用いた「高校コミュニケーションワークショップ事業」をはじめ、但馬地域外の高等学校や行政機関などの求めに応じて受託事業として連携を行っています。 連携先の今後の拡大及び絞り込みについては、現段階では検討していません。			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
5	高大連携の取組等	2	芸術文化観光専門職大学

【質問事項】

大学に高校生を招いた体験授業等の連携はありますか。また、どのような高大連携があるのでしょうか。

【回答要旨】

本学で実施する7月のオープンキャンパスにおいて、演劇、ダンス、アートマネジメント、観光、経営の模擬授業を実施しています。

また、但馬地域の公私立高等学校、高等専修学校、特別支援学校20校で実施している演劇的手法を用いた「高校コミュニケーションワークショップ事業」や、但馬地域外の高等学校等からの要請により本学教員が講師として高校生を指導している例があります。

さらに、ひょうご観光本部からの受託事業として、兵庫県内高校生を対象とした「若者向け観光セミナー」を実施し、観光についての講演、本学学生とのワークショップなどを通じた観光産業の人材育成を行っています。



令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
5	高大連携の取組等	3	芸術文化観光専門職大学
【質問事項】 地域を題材とした探究活動に対する学生コーディネーターの派遣等の連携は可能でしょうか。			
【回答要旨】 地域連携事業中にアシスタントが必要な場合は教員の補助として学生が参加することはありますが、学生のみを派遣する制度はありません。 本学は専門職大学という特性上、履修単位数が多く、学生は大変多忙にしております。 高校生にとって大学生と触れ合う機会は大切と考えますので、今後の課題としてまいります。			

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
5	高大連携の取組等	4	芸術文化観光専門職大学

【質問事項】

高校生対象の教育プログラムについて教えてください。

【回答要旨】

本学に高校生を招いて行う教育プログラムは現在実施していませんが、
但馬地域の公立高等学校、高等専修学校、特別支援学校20校で実施している演劇的手法を用いた「高校コミュニケーションワークショップ事業」や、但馬地域外の高等学校等からの要請により本学教員が講師として高校生を指導している例があります。

また、ひょうご観光本部からの受託事業として、兵庫県内高校生を対象とした「若者向け観光セミナー」を実施し、観光についての講演、本学学生とのワークショップなどを通じた観光産業の人材育成を行っています。

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
6	その他	1	芸術文化観光専門職大学

【質問事項】

高校等への文化祭における出張公演など考えていただけないでしょうか。(厚かましい意見ですが、PRも兼ねた無料公演など)

【回答要旨】

本学の学生は、年間を通して、授業や臨地実務実習を履修する必要があるため、出張公演を行うことは困難ですが、具体的な企画に応じて、公認サークルに周知することは可能です。

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会

分類	区 分	通し No.	回 答 所 属
6	その他	2	芸術文化観光専門職大学

【質問事項】

オープンキャンパスも含め、遠方の地区の学生に対し、無料の送迎バスを出すなどの予定はありますか。また、都心部での説明会や講演等の開催を希望しますが可能ですか。

【回答要旨】

遠方にお住まいの方々に対しては、Web オープンキャンパスとして教員によるミニ講義やキャンパスの紹介映像を公開しております。ご要望の無料の送迎バスについては、現時点で実施の予定はありません。

なお、豊岡でのオープンキャンパス以外の学校説明会につきましては、昨年度実施した東京と福岡に加えて、今年度は仙台でも本学独自のオープンキャンパスを開催しています。今後の説明会の開催等については、受験希望者の動向も見ながら、検討してまいります。

7 質疑応答・懇談（記録・要旨）

【県立大学へ】

高校（校長）： 詳しい説明をいただき、また丁寧な回答をいただきありがとうございます。話を伺っていて、今の大学の教育内容はすごく面白そうだなと感じています。私が高校生だったらここに行きたいなと思うものがいくつもありました。質問ですが、県立大学さんの説明の中で就職率が非常に高く、就職に強いというお話がありました。学生に対する就職サポートで、具体的にどのようなことをされているのか、県立大学ならではの特徴的な取組があれば教えてください。

大学（坂下副学長）： 支援に関しては様々な展開をしております。まず学部ごとに、それぞれの専門領域または企業を呼んで企業紹介を年数回実施しております。また、入学直後から基礎教育の中で全員が受講する『キャリアデザイン』の講義の中で、自分のキャリアをどう描いていくか自分の将来像を計画するということをしています。本部としては、障がいのある方や就職活動に困難を感じている方たちを対象に自分の良さを見つけていくといった支援、また就職活動の支援として面談や卒業後早期転職を希望する卒業生への支援も行っております。特に地元企業との接点を増やすというのが県立大学の使命であると考えており、地元企業の方に講義に来ていただいたり、バスツアーで実際に企業を訪問したりして、学生たちが早期から自分の多様な進路を検討できるようなことをしています。9つのキャンパスごとにキャリアセンターの分室を設け、きめ細かな相談と支援を行っております。

高校（校長）： ありがとうございます。

高校（校長）： 高坂学長はじめ皆様、ありがとうございます。前任の小野高校では工学部と連携協定を結んでおります。現任の佐用高校では普通科に加え農業と家庭の専門学科がありまして、来年度から農業はアグリクリエイト科になります。環境人間学部のグリーンサイエンス学科に非常に興味を持っております。環境人間学部は鶏を飼うことができないため、本校において100羽の鶏を飼育しており、昨年度から連携して卵の成分分析や共同研究を始めました。この学科を目指したいという生徒も実際にいました。ですが、農業学科は専門科目が25単位以上あり、入試科目の数学BやCを履修することができません。県内には農業関係の高校が本校を含めて11校あります。他の学部には工業や商業からの枠がありますが、農業において優れた課題研究を行っている生徒もいますが、入試科目を見ると諦めざるを得ない生徒がいます。無理を承知でですが、農業学科からの推薦を次年度以降検討いただけないでしょうか。農業の分野で特化して頑張った生徒が県立大学でさらに頑張っていければと思っています。佐用高校では昨年度、卵の全国大会で3位という成績を取り、現在はもっと良い卵を作ろうと環境人間学部と連携し、さらに研究を進めているところです。生徒はその続きを大学でしたいと思っていましたが、難しいということで諦めざるを得ないということになりました。農業の生徒が大学を目指すことができるように推薦の枠を考えていただくとか一緒に勉強ができるようなことがあれば県内の農業の学校も頑張れると思います。農業科の生徒にも門戸を開いていただき、普通科ではやっていない素晴らしい研究をやった生徒を是非県立大学で引き続き学べる道を作っていただけるとありがたいです。理科の免許をとれることはありがたく、理科の免許を持っているものは少なく、困っているのでありがたいのですが、農業の免許を持っているものはもっといません。難しいかもしれませんが、農業の免許が取れる学校はなかなかありません。しかし、農業教育は一次産業で絶対に必要です。農業の免許が取れるということも将来的に検討していただければと思います。以上、お願いも含めた質問です。

大学（環境人間学部長）： ご意見をいただきありがとうございます。卵の連携は存じております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。また、今後検討していかなければならない課題をいくつかいただきました。一般入試において数学 B・C の点、および農業の教員免許についても今後あわせて検討していきたいと、お話を聞いて強く思いました。一般推薦枠もありますので、そのあたりの検討もできるのではないかと思います。

高校（校長）： ありがとうございます。普通の生徒と一緒に勝負しようとする、英語の時間数なども専門教科に割かれている分、二の足を踏んでしまいます。農業の中では英語ができたとしても普通科の生徒に対して勝負ができるかというところでまた二の足を踏んでしまいます。数学や英語は少し苦手かもしれませんが、専門的なことでは普通科の生徒に絶対負けないという生徒を送れるようなことを考えていただければありがたいということです。

大学（環境人間学部長）： ありがとうございます

大学（学長）： 農業の 11 人の校長と環境人間学部の先生と一緒に一度ディスカッションしたらどうですか。その機会を設定してください。

【県立大学へ】

高校（校長）： 本日は大変丁寧な説明をしていただき、ありがとうございました。工業高校についても、1 月出願ではありますが、各学科 1 名という狭き門ではありますが、募集をいただいています。できれば、共通テストを経ない 11 月の商業科と同じように勝負させてもらえるとありがたいです。県立大学（工学部）としてどのような工業高校の生徒を求めているのかを教えてください。

大学（工学部長）： 1 月の共通テストを受けた上での工業高校の推薦枠を設けています。今年も実績として何人かの入学をしていただいています。求めている人材としては、地元中心ではありますがエンジニアとして、ものづくりに関わる学生を育成して世に出し、活躍してほしいと考えています。その中で工業高校で専門性を持ち、強い興味を持って学び、さらに大学で専門性を高めたいと志望される生徒に、工学部で専門性の高い工学を学んでいただきたいと思います。共通テストは大変なことは承知していますが、入学した学生を見ると非常によく頑張ってくれています。高校での履修科目を大学入学後での学びで補うよう努力しているので、そのようなやる気のある工学に興味のある生徒さんにぜひ来ていただきたいと思っています。

高校（校長）： ありがとうございます。20 単位以上は工業の学びをしている分、共通教科の分では勉強できていないところがあります。16 歳の頃からずっと目指している生徒がたくさんいます。その枠がもう少し増えればうれしいと思います。

【芸術文化観光専門職大学へ】

高校（校長）： 芸術文化観光専門職大学の方に 2 点質問させてください。一つ目はクォーター制と実習について。第 2・第 4 クォーターの実習において、学生がどのように移動し、800 時間のなかでどのような学びがあるのか詳しく教えてください。二つ目は、開学から時間が経ち、初期の学生と現在の学生の様子に変化はありますか。学生の様子を今後の展望も含めて伺いたいです。

大学（学長）： クォーター制についてですが、海外との交流や留学がしやすいよう海外基準に合わせて導入しました。本学では 1 コマを 120 分に設定しています。90 分ではアクティブラー

ニングには短く、120 分にすることで講義とディスカッションを組み合わせ、教員の裁量を大きくしています。それを 12 回で単位を出すことになっています。夏休みと冬休み、春休み等を含め 2 ヶ月半の期間が確保でき、短期留学や集中講義、そして実習を行います。短いものは 1 週間から 10 日、最長のものは 2 ヶ月間、城崎温泉の旅館や、ホテルオークラ神戸、ネスタリゾートなどに行つて実習を行っています。日本の大学のインターンは 1 日か 2 日で非常に短いですが、海外では半年間くらいインターンを行い、そのなかから就職を決めます。それに近い形で、ヒルトンに 2 か月インターンに行き、別のヒルトンですが就職をしたという学生がいます。グローバルスタンダードな形になっていると思っております。 学生の様子については、一期生は非常に個性が強い学生が多く、開学を待つて浪人してまで入ってきたような学生もいました。 最近は落ち着いてきたというか、学力差などのバラつきも落ち着き、受験生も大体どんな大学か分かってきて、学生は雰囲気的にも落ち着いてきたと思います。一定数、メンタルの重たい休学してしまったりする学生もいますが、一期生や二期生の時のように入学してイメージが違ふというような学生は減ってきています。全体として自己実現に向けて着実に取り組む雰囲気になっています。

高校（校長）： ありがとうございます。

県立大学（楠田特任教授） 入学前教育について意見交換してもらおうと思っていましたが、時間が少なくなってきました。県立大学附属高校の昼屋進路指導部長に入学前教育について現状等をお話ししていただきたいと最初に打診をしていましたので、報告をしていただければと思います。県立大学も芸術文化観光専門職大学も年内入試で合格する生徒が増えてきたということもあり入学前教育に力を入れなければいけない状況にあり、検討しているところがあります。本日は協議する時間がないため、各校の様子やこんな要望がある、こんな力をつけて欲しい等、後日ご意見をいただければと思います。

高校（進路指導部長）： 大学がこれから入学前教育に力を入れられるという前提でお話をしたいと思います。すべての大学の入学前教育について知っている訳ではありませんが、私立大学だとこういう風にしますのでご協力をお願いしますという文書が来ます。それで理解をしているという感じです。生徒は大学へ行き、説明を受けた上でいつまでにどういったことをしなさいと指示されます。大学によっては受験用の問題集を 1 冊渡され、解答しなさいというところもあります。私はそれはどうかなと思っています。自分が受験だとモチベーションが上がリません。もう合格しているのにまた受験用をしなさいと。おそらく説明を受けていると思います。入学前教育の目的として、1 つは大学で使う知識をしっかりともう 1 度確認してほしい、学力を落とすなよということがあると思います。あと、大学によっては共通テストを受験するように、そして 2 月の一般試験を受験し特待生を挑戦してくださいと要請があります。上位に入れば授業料が減額や全額免除され、頑張ってくださいよという意味も込めてやっている大学もあります。コロナ前の話ですが、ある国立大学では合宿をしています。仲間作りから始め、勉強はこうやってやりましょうということを 1 泊 2 日でしていました。ただし、コロナ以降はしていません。ほとんどの大学は、なるべく高校の教師に負担にならないようにと配慮をいただいています。大学がされる際は、高校は望んでいますのでよろしくをお願いします。教科ごとの話をしますと、数学では受験用の問題集を解くことはあまり嬉しくない。ただ、理系の大学については微分積分、特に積分をよく使うので、大学で要るんだということをはっきり言っていただき、高校の範囲をもう一回見直しましょうはいい

と思います。ただ、今の生徒は答えを求めたがります。正解は何なんだと聞いてきます。大学でそれで通じるのか、通じないよということを教えていただきたい。答のないもの、これが模範解答だというものが無いものをしていただければ嬉しいです。例えば、英語の課題では問題集をこなさいというのではなく、自分で英語に関する本を1冊選んで読み、英語や日本語でコメントを書く。本を選ぶこと自体が勉強になります。今の生徒はやれといったことはできます。自分で考えろといってもできません。それが大学生は必要だと思います。数学であれば、問題を解けではなく、定理・公式の原理をもう一度確認させるような課題が嬉しいなと思います。それは理科についても同じかもしれません。教科にとらわれず、分野やテーマは大学で指定してもらいたいですが、何か本を自分で選び取り組み、意見や感想を何字程度で書きなさいという内容であれば生徒は結構自分で考えるといったチャンスが生まれます。大学生になったら自分でしないといけないだな、答えは一つではないんだなということを、入学前に少しでも分からせてもらえると高校現場の教員としては嬉しいです。とにかく大学入試の問題集だと生徒はやらされている感があります。これから大学生活で学んでいく基礎知識をしっかりと身につけて欲しいということが伝わるような課題にしていいただければと嬉しいなというのが現場の意見です。

8 閉会挨拶（要旨）

兵庫県公立大学法人 藤原 俊平 副理事長兼事務総長

まずは昨年度まで、4 年間ではございましたけれども教育長として、皆さんと一緒に、高校の教育の推進をしてまいりました。

この場をお借りして、皆さんのご尽力、ご協力に感謝申し上げます。今日は、両大学での事業の特色として意見交換をさせていただきました。時間が限られておりましたので、まだまだ意見交換をとということもあるかと思えますけれども、そこはお許しをいただきたいと思います。間違いないと言えることは、両大学とも地域が期待している大学・学部であること、そして、その大学としての大きな役割を果たしながら、しっかりと実績を上げ、そしてまた、学生が課題を踏まえながら、将来を見据えた取り組みを着実に推進をしているということでもあります。やはりこの両大学の大きな強みは、兵庫県を代表する公立大学であるということでもあります。だからこそ国や県、市町としっかりと連携ができていて、また多くの企業団体との連携、さらには、世界を代表するような研究機関、そして海外の大学との連携をしっかりとやっていけるからこそ、総合的な知の拠点としての形成ができているということでもあります。そのことで、学生は、次の時代を担っていく力を育成ができていますし、また、社会で活躍できるような力を育成できる、そのことが、先ほどの就職等の実績にも大きく繋がっているものと考えております。ぜひ、本日ご参加の各学校におかれましては、この県立の両大学に、安心をしていただいて、そして、大きな期待を持っていただいて、進路選択としていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

そしてこれは少し、話が違いますけれども、今日は発展的統合の高校の先生も来られております。いわゆる今年最後の3年生が来年卒業ということになりますので、ぜひ、この3年生の進路指導についても、しっかりと対応していただきたいと思いますというふうに思います。

最後に、今後とも高大連携、しっかりと進めて、お互いに兵庫の教育を推進していければと思いますので、どうぞよろしくお願いをいたします。本日は、誠にありがとうございました。

兵庫教育大学

7月28日(火)

方 式：オンライン開催

時 間：14:00～16:00

〔別添 配付資料〕

1. 令和9年度入試の入学選抜方法について
2. 令和8年度入試結果の概要
3. 令和9年度兵庫教育大学入学選抜要項
4. 令和9年度兵庫教育大学学生募集要項【総合型選抜・学校推薦型選抜】
5. 令和9年度（令和8年度実施）の学校教育学部における入学選抜方法の変更について
（予告）—第2報—
6. 大学案内2027
7. ひょうご地域教員育成プログラムリーフレット

※ 山本 理 助教による講義「探究を終わらせない—高校卒業後の学びへの接続と私たちの役割」の記録及び資料等は、本報告書に掲載しておりません。

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会 出席者(高等学校関係者)一覧

【7月28日(火)兵庫教育大学】

59

	所属	職名・分掌等		名前 (参加代表者)	人数	備考 (代表者以外参加者職名等)
1	県教育委員会 高校教育課	指導主事		都築 紫峰	1	
2	学校長協会副会長	校長 (県立西脇工業)		波部 新	1	
3	進路指導委員会委員長	校長 (県立淡路三原)		大塚 剛啓	1	
4	進路指導委員会副委員長	校長 (県立大学附属)		足立 幸謙	1	
5	県立明石高等学校	教諭	進路指導部長	池本 圭佑	1	
6	県立明石高等学校	校長		泉村 靖治	1	
7	県立明石城西高等学校	教諭	進路指導部長	梅原 英治	1	
8	県立明石西高等学校	主幹教諭	進路指導部長	魚住 和晃	1	
9	県立家島高等学校	教諭	進路指導部長	三澤 岳人	1	
10	県立生野高等学校	教諭	キャリア教育部長	山本 真祈子	1	
11	県立伊丹北高等学校	教諭	進路ガイダンス部長	足立 龍飛	2	進路ガイダンス部
12	県立小野高等学校	教諭	進路指導部長	大江 佐智子	1	
13	県立加古川北高等学校	校長		古河 真紀子	1	
14	県立加古川西高等学校	教諭	進路指導部長	安田 泉	1	
15	県立加古川東高等学校	主幹教諭	進路指導部長	大澤 哲	1	
16	県立上郡高等学校	教諭	進路指導部長	赤堀 寛子	1	
17	県立川西北陵高等学校	校長		長谷場 純一	1	
18	県立神戸鈴蘭台高等学校	主幹教諭	キャリアガイダンス部	平野 厚	1	
19	県立篠山鳳鳴高等学校	教諭	進路ガイダンス部 部長	藤原 一彦	1	
20	県立佐用高等学校	教諭	進路指導部長	岸本 皓之	1	
21	県立飾磨工業高等学校	教頭		宮田 真裕	1	
22	県立洲本高等学校	教諭	進路指導部	大石 昇平	1	
23	県立青雲高等学校	教諭	進路指導部長	岩橋 嘉大	1	
24	県立太子高等学校	教諭	進路指導部長	安原 秀晃	2	進路指導部
25	県立多可高等学校	校長		木澤 直子	2	進路指導部長
26	県立宝塚西高等学校	教諭	3年担任	吉川 昌希	1	
27	県立龍野高等学校	主幹教諭	進路指導部長	猶原 正通	2	進路指導部
28	県立龍野北高等学校	教諭	進路指導部	林 敏一	1	
29	県立豊岡高等学校	主幹教諭	進路指導部	原田 満	1	
30	県立長田高等学校	校長		藤原 生也	1	
31	県立西宮高等学校	教諭	進路指導部長	稲垣 智彦	1	
32	県立西宮甲山高等学校	校長		横山 真紀	1	
33	県立西脇高等学校	主幹教諭	進路指導部長	大久保 晃希	1	
34	県立浜坂高等学校	校長		西岡 優子	2	進路指導部
35	県立東灘高等学校	教諭	進路指導部長	川中 修	1	
36	県立東播磨高等学校	教諭	キャリア支援部	野口 敦雄	1	
37	県立氷上高等学校	臨時実習助手	進路指導部	永尾 ゆかり	1	
38	県立姫路飾西高等学校	教諭	3年学年主任	坂本 健一	1	
39	県立姫路飾西高等学校	教諭	進路指導部長	渡辺 憲	2	3学年主任
40	県立姫路西高等学校	教諭	進路指導部次長	前川 慎一郎	1	

	所属	職名・分掌等		名前 (参加代表者)	人数	備考 (代表者以外参加者職名等)
41	県立舞子高等学校	教諭	進路指導部	濱田 良介	1	
42	県立三木東高等学校	教諭	進路指導部	伊郷 和真	1	
43	県立夢野台高等学校	教諭	進路指導部	藤原 靖彦	3	進路指導部
44	県立吉川高等学校	教諭	進路図書部	山口 智恵	1	
45	県立和田山高等学校	教諭	進路指導部長	足立 有沙	2	総合学科推進部長
46	県立大学附属高等学校	教諭	進路指導部長	豊家 克彦	1	
47	伊丹市立伊丹高等学校	校長		古谷 勇行	1	
48	神戸学院大学附属高等学校	進路指導部長	進路指導部	森永 武人	2	第3学年担任
49	滝川高等学校	教諭	進路指導部	小林 ひかり	1	

令和8年度大学・高等学校教育研究懇談会 次第

日 時：令和8年7月28日（火）14:00～16:00

開催方法：Zoomミーティングによるオンライン開催

1. 開会
2. 兵庫教育大学長挨拶
3. 兵庫県教育委員会挨拶
4. 兵庫県立学校長協会挨拶
5. 兵庫教育大学の概要について
6. 令和9年度入試の入学者選抜方法について
7. 事前質問に対する質疑応答、懇談
8. 講義「探究を終わらせない—高校卒業後の学びへの接続と私たちの役割」

講師：教育方法・生徒指導マネジメントコース 山本 理 助教
9. 閉会

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会出席者名簿

(兵庫教育大学)

番号	職 名	氏 名	備考
1	学 長	森 山 潤	
2	理事・副学長	秋 光 恵 子	
3	理事・副学長	森 秀 樹	
4	副学長・事務局長	北 崎 哲 章	
5	教育方法・生徒指導マネジメント コース助教	山 本 理	
6	学部学生募集戦略企画室長	小和田 善之	遅れて出席
7	学部学生募集戦略企画室	澁 谷 義 人	
8	教育研究支援部長	梅 野 健 一	
9	学務課長	内 藤 直 樹	
10	教職デザイン課長	宮 脇 明 子	
11	学生支援課長	藤 木 裕 一	
12	入試課長	長 畠 孝 治	

4 代表挨拶（要旨）

(1) 兵庫教育大学 森山 潤 学長

皆様こんにちは。兵庫教育大学長の森山でございます。本日はお忙しい中、兵庫県の県立高等学校の皆様にお集まりをいただきまして、誠にありがとうございます。皆様には日頃から本学の教育研究活動に多大なるご支援・ご協力をいただいておりますこと、心よりお礼を申し上げます。また、毎年各高校から優秀な生徒の皆さんを本学にお送りいただいておりますことにつきましても、重ねてお礼を申し上げます。

さて、本日の懇談会ですが、前半は進路指導に関する意見交換の場となっております。これは生徒の皆さんの進路自己実現を的確に支援するという上で、非常に重要なものだと思っております。本学の入試に関わる様々な情報もございますので、是非とも生徒の皆さんにお伝えをいただければと思います。

また後半は、本学の山本助教から、「探究を終わらせない 一高校卒業後の学びへの接続と私たちの役割」というテーマで講演を行っていただきます。現在、次期学習指導要領の改定に向けた議論が様々に行われておりますが、主体的・対話的で深い学びの実装、あるいは探究的な学びの重要性がますます高まってきております。このようなことから、本日の山本助教の講演を大変楽しみにしているところですが、皆様の実践にも有益ではないかと思っております。

最後の意見交換では、入試に関することに加えまして、大学院や現在進行中の教育改革のことなど、様々な議論ができましたら大変ありがたく、今後の高大連携に向けた様々なアイデアなどが生まれることを期待しております。このようなことも含めまして、本日は皆様どうぞよろしくお願いいたします。

(2) 県教育委員会事務局高校教育課 都築 紫峰 指導主事

ただ今ご紹介いただきました、兵庫県教育委員会事務局高校教育課の都築でございます。

平素は、本県の教育振興のため、ご理解とご協力をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

本日はお忙しい中、大学と高等学校との教育研究懇談会の場を設けていただき、兵庫教育大学の森山学長をはじめ関係の皆様方に感謝申し上げます。また、高等学校の校長先生をはじめ、進路指導ご担当の先生方にも多数お集まりいただきありがとうございます。

この懇談会は、大学と高等学校の双方が相互に意見を交換できる貴重な機会として長年続いております。本日も積極的に意見が交わされ、充実した会合となりますことを期待いたします。

現代はグローバル化が我々の社会に多様性をもたらし、急速な情報化や技術革新が人間生活を質的に変化させつつあると言えます。こうした社会の変化が激しく将来の予測が困難な時代にあってこそ、自信をもって自分の人生を切り拓き、よりよい社会を創り出すことができる人材の育成が求められています。兵庫県教育委員会では、第4期「ひょうご教育創造プラン」の重点テーマである「『絆』を深め、『在りたい未来』を創造する力の育成」のもと、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、兵庫らしい教育はもとより、新しい時代に応じた取組を推進しています。

本県の県立高等学校の進路状況を見ますと、令和8年3月卒業者約25,000名のうち、大学・短期大学進学者数が約16,000名で、卒業者数の約64%でした。このうち、国公立大学への進学者は3,551名でした。そのような状況の中、進学する生徒が「大学進学後何を学ぶのか」、「大学卒業後を含め、どのようなキャリア設計を行うのか」ということを考えて進学できるよう、大学進学前の高校生の段階におけるキャリア教育の必要性が重要視されています。

大学入学者選抜においては、各大学がそれぞれの教育理念に基づき、生徒が高等学校段階までに身に付けた力を、大学において発展・向上させ、社会へ送り出すという大学教育の一貫したプロセスを前提として、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえたアドミッション・ポリシーに基づき、入学段階において求める資質・能力を多面的・総合的に評価・判定する役割を担うものとされています。

また、各大学においては、調査書、学力検査、小論文、面接、志願者本人の記載する資料等を適切に組み合わせ、入学志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定することが求められています。

令和9年度大学入学者選抜実施要項においては、次のような変更がありました。まず、志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定する「総合型選抜」及び「学校推薦型選抜」においては、面接による評価を必ず行うこととされました。

次に、文理横断・文理融合教育を通じた課題解決力の涵養等の重要性に鑑み、言語能力及び数理的思考力の育成に配慮することとされました。

あわせて、私立大学における入学料に係る負担軽減等に関する記載や、不正行為防止のための本人確認の適正な実施、ならびにオンライン試験に関する留意事項等の追記がありました。

本日は、大学側から求める生徒像をお示しいただき、高等学校で身に付けておくべき学力、また、適切な入学者選抜の方法等について忌憚のない意見交換をしていただきたいと思います。

この懇談会が、今後とも大学と高等学校との率直な意見交換の場として、有意義な機会となることを祈念いたしまして、県教育委員会のあいさつとさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(3) 県立学校長協会 波部 新 副会長（県立西脇工業高等学校長）

本日は兵庫教育大学との教育研究懇談会が開催できますことに誠にありがたく感謝をしております。兵庫教育大学におかれましては、森山学長を始め山本先生他、多くの先生方にお世話になりますことを改めてお礼を申し上げます。

森山学長には、私が県立教育研修所で勤務している時代からお世話になっておりました。当時の情報に関する研修の仕方から、教頭になってからのSteam探究に至るまで、様々なことを教えていただきました。現在は全国で活躍される中において、本日本会にご参加いただいておりますこと誠にありがとうございます。

さて、高校の勉強量は中学校の5倍から10倍という風に言われます。そのぐらい高校の勉強量が多い状況です。その中で中学校と同じペースで勉強していたのでは終わらないという状況になっています。高校ではその中でカリキュラムを工夫しながら授業を行っています。

探究学習がクローズアップされていますが、求められる勉強量をこなす以上に本当に探究に

時間を割くことが効果的なのかと、懐疑的な意見もまだまだ多くある状況があります。一方で2040年問題と言われる中で、生産年齢が全体の55%となってどの分野も人手不足となり、1人1人が担う責任が増す中で、今までのような学びの中で剥落するような知識はいらないとも言われています。そうした中で、大学教育が目指されている方向に沿って、我々高校も将来に役立つ学びについて考え、意識を変えながらやっていかなければならないと思っている次第です。

本日は山本理先生に高校時代に必要な探究のあり方についてご講演いただけること、大変楽しみにしております。その他、入試等に関する各質問等にも事前にお答えいただいております。改めて兵庫の生徒が地元にある、全国でも注目されるこの教育大学で学べるために、本会は貴重な機会であると感じています。本会が盛会に終わりました。今後兵庫の高校と兵庫教育大学の学びが繋がるきっかけになることを祈念いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

令和8年度

大学・高等学校教育研究懇談会

兵庫教育大学 学校教育学部の概要

未来の教育が、
ここから生まれる

兵庫教育大学が求める人物像

- 高等学校における教科・科目を幅広く修得し、
しっかりとした基礎的な知識・技能を身につけている
- 知識・技能を活用して、自らの課題を発見し、その
解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要
な思考力・判断力・表現力等の能力を有している
- 豊かな人間性を備え、コミュニケーション能力や
協調性をもち、主体性をもって多様な人々と協働する
態度を有している
- 優れた新人教員になろうとする強い意志をもち、
意欲的に本学の教育課程に取り組む

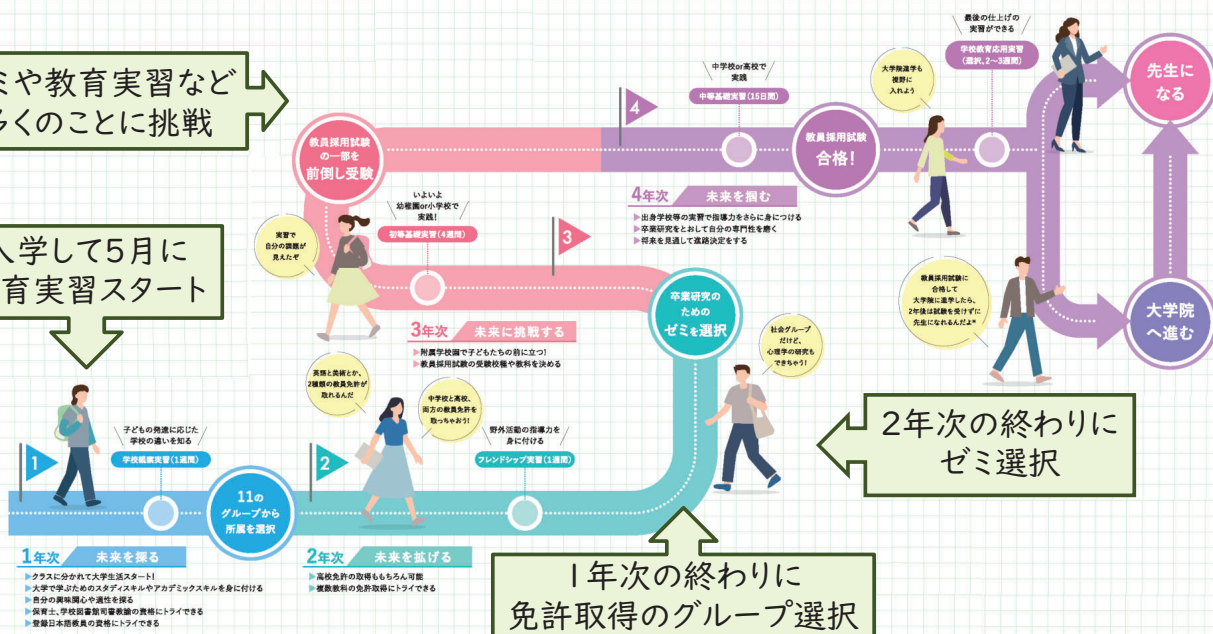
Myキャリア・プランニングシステム

兵庫教育大学では、**4年間**をかけてじっくりと自分のキャリアを選択し、専門性を深め、未来を実現していきます。

4年間かけて考えた自分の未来を実現する

ゼミや教育実習など多くのことに挑戦

入学して5月に教育実習スタート



兵教大生に聞いてみた!

兵庫教育大学を選んだ理由

- 1 いろいろな教員免許・資格がとれる
- 2 教育内容や教育実習が充実している
- 3 教員就職率が高い
- 4 環境や設備が充実している

1 いろいろな教員免許・資格がとれる

	1年次	2年次	3年次	4年次
クラス	4年間ずっと続く仲間			
グループ	幼稚園・中学校・高校の免許を目指す仲間			
ゼミ	卒業研究を深める仲間			

教育系（グループ）		幼稚園教諭 （一種免許状）	小学校教諭 （一種免許状）	中学校教諭 （二種免許状）	中学校（一種） 高等学校（一種）
教科教育系	国語 英語 社会 数学 理科 音楽 美術 保健体育 技術・情報 家庭	◎は卒業要件単位で取得、○は卒業要件+αで取得可能			
		○ （+18単位）	◎	◎	○ （+8～20単位）
幼年教育系	幼年教育	◎	○（+19～33単位）		

1 いろいろな教員免許・資格がとれる

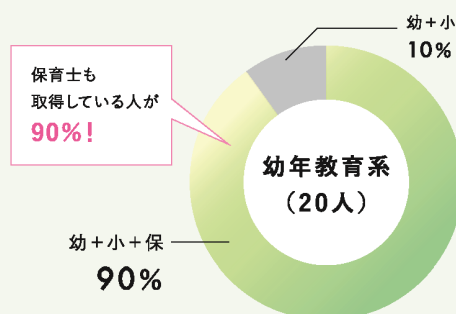
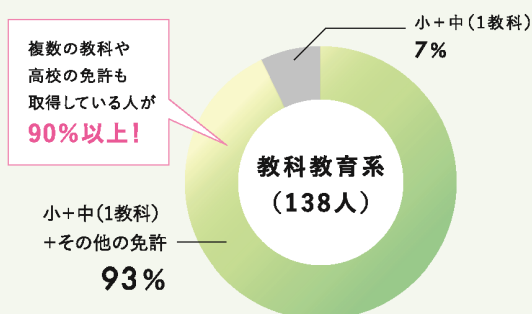
教員免許	幼稚園 小学校 中学校⇒国語、英語、社会、数学、理科、音楽、 美術、保健体育、技術、家庭 高 校⇒国語、英語、地歴、公民、数学、理科、 音楽、美術、保健体育、家庭、情報
資格	保育士、学校図書館司書教諭 登録日本語教員（資格試験の受験が必要）

所属グループ
以外の免許も
取得できる

教員採用
試験で有利！

時間割の関係から、取得できない
組み合わせもあります。

免許取得状況（令和7年度卒業生）



① いろいろな教員免許・資格がとれる

	1年次	2年次	3年次	4年次
クラス	4年間ずっと続く仲間			
グループ	幼稚園・中学校・高校の免許を目指す仲間			
ゼミ	卒業研究を深める仲間			

11グループ

〔教科教育系〕
国語グループ、英語グループ、社会グループ
数学グループ、理科グループ、音楽グループ
美術グループ、保健体育グループ
技術・情報グループ、家庭グループ
〔幼年教育系〕
幼年教育グループ

3部門

教育学部門
心理学部門
特別支援教育部門

2年次の
終わり頃に
選択する

② 教育内容や教育実習が充実している

教員としてのスタート（教師としての専門性の継続的な向上）

兵庫教育大学 卒業

【問いを持ち課題を設定する力】【探究し実践する力】【省察し改善する力】

専任教員 131人
教員1人あたりの
学生数 5.2人

省察的な学び

ポートフォリオ・TSS

4年
3年
2年
1年

実地教育
実地教育
実地教育
実地教育

講義・演習科目
講義・演習科目
講義・演習科目
講義・演習科目

探究科目
探究科目
探究科目
探究科目

仲間
（学生コミュニティ）
大学教職員
附属学校園教員
地域・社会 etc

A

B

C

D

E

F

G

教職基盤

兵庫教育大学 入学（教師としての潜在的な資質能力）

- A 教師としての基本的な力
- B 多くの人と協力しながら働く力
- C 子どもを理解する力
- D 特別な配慮や支援に対応する力
- E 教科を教える力
- F ICTや情報・教育データを活用する力
- G 学級づくりや生徒指導の力

★ 2 教育内容や教育実習が充実している

授業の満足度
95%

- ① 教養を深める科目
- ② 教員としての資質・能力を養う科目
- ③ 学習指導や生徒指導の力を高める科目
- ④ 教科教育や幼年教育の専門性を磨く科目
- ⑤ 教師としての実践力を身につける科目

「**教員養成フラッグシップ大学**」に
選ばれています。

全国で
4大学だけ!

教育界を
リードする
新しい科目

開発のための
連携機関数

55

民間企業 14

大学 14

教育委員会 14

2026年4月現在 など

★ 2 教育内容や教育実習が充実している



1年次

幼稚園・小学校・中学校・特別支援
学校での見学と参加実習



2年次

社会教育施設の野外活動に参加して
児童生徒の観察と指導補助



3年次

附属小学校、または附属幼稚園での
教育実習(4週間)



4年次

公立中学校、または高等学校等での
教育実習(3週間)



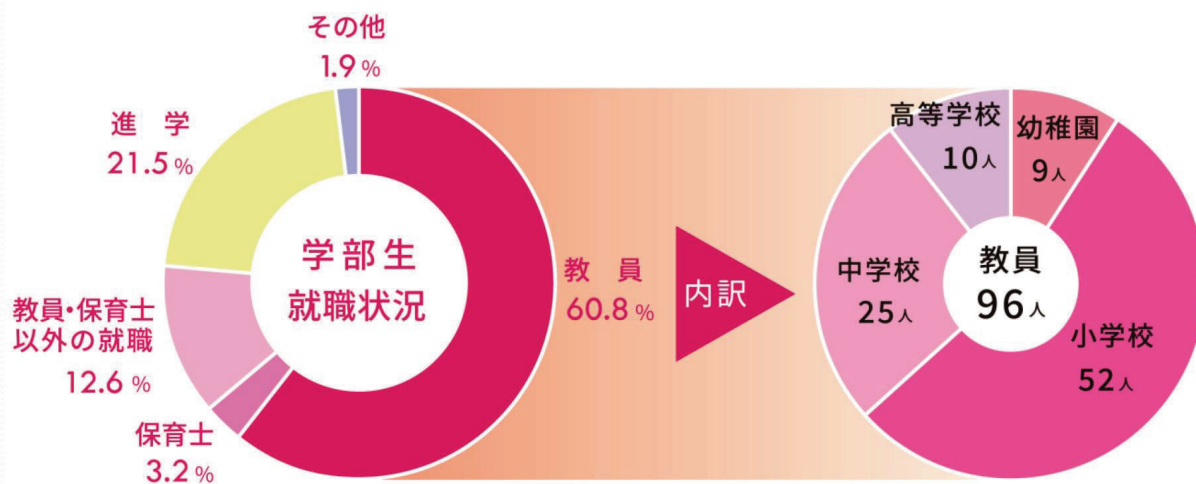
公立学校園等での
学校応用実習(選択制)

3 教員就職率が高い

教員・保育士
への就職率

81.5%

卒業者の就職・進路状況(令和8年3月卒業者の暫定値)



- ※ 卒業翌年度の5月1日現在
- ※ 幼稚園には、幼保連携型認定こども園を含む
- ※ 就職者には、臨時的任用者や非正規雇用者を含む
- ※ 教員・保育士就職率の算出には、卒業者から進学者を除く

3 教員就職率が高い

令和8年3月卒業者 兵庫県・神戸市教員実績



兵庫県

53人



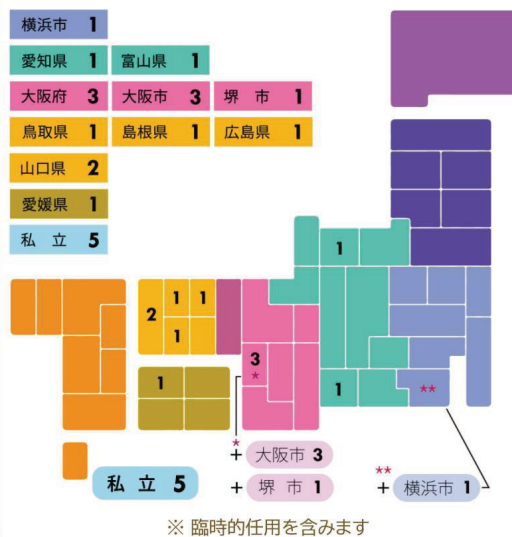
神戸市

13人

※ 臨時的任用を含みます

キャリアセンターが
サポートします!!

令和8年3月卒業者 兵庫県・神戸市以外の教員実績



令和8年3月卒業者 幼稚園教諭・保育士等実績

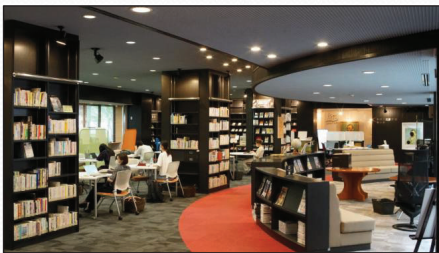
保育士	4人
認定こども園	7人
幼稚園	2人

4 環境や設備が充実している

- *附属図書館（平日 8:45-20:00、土日祝 10:00-17:00）
- *模擬授業やグループ学習等のためのラーニングコモンズ
- *トレーニング室（平日 9:00~21:00）
エアロバイク、ベンチプレス等のトレーニングマシンを自由に利用できます。
- *ピアノ練習室（個室41台） 常時自由に使用できます。
- *教職キャリア開発センター
進路相談や教員採用試験対策講座を実施しています。
- *グローバル教育センター
13か国・地域の32大学・機関と交流協定を締結しています。
- *ボランティアステーション
年間延べ2,270人以上がボランティア活動に参加しています。

4 環境や設備が充実している

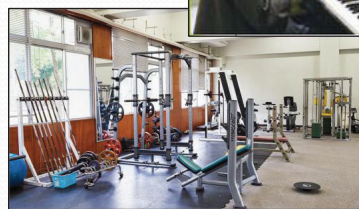
附属図書館



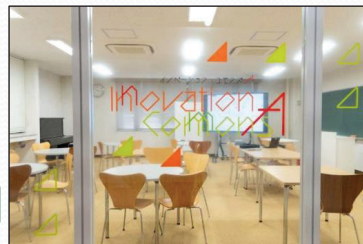
ピアノ練習室



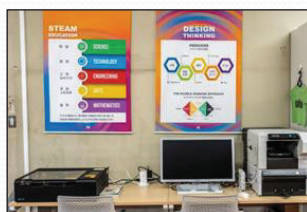
トレーニング室



Eigoしゃべり場

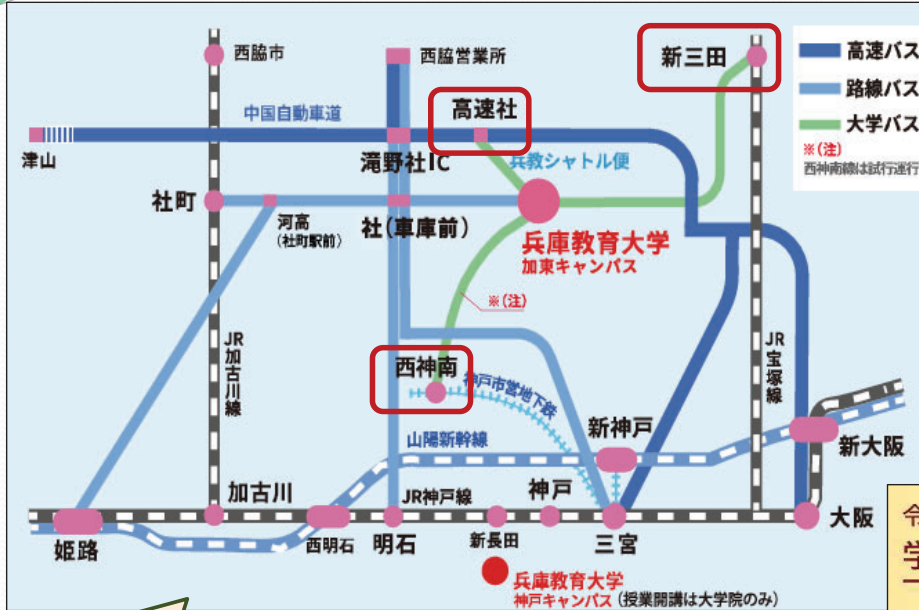
イノベーション
コモンズ Aキャリアセンター
模擬集団面接

STEAM Lab II

ボランティア
ステーション

大学までどうやって通う？

15



高速バスで

- ・大阪から約85分
- ・三宮から約60分

高速バス停～大学
← 平日20往復

新三田シャトル便
西神南シャトル便
← 平日3往復

自宅 47%
学生寄宿舍 34%
アパート等 19%

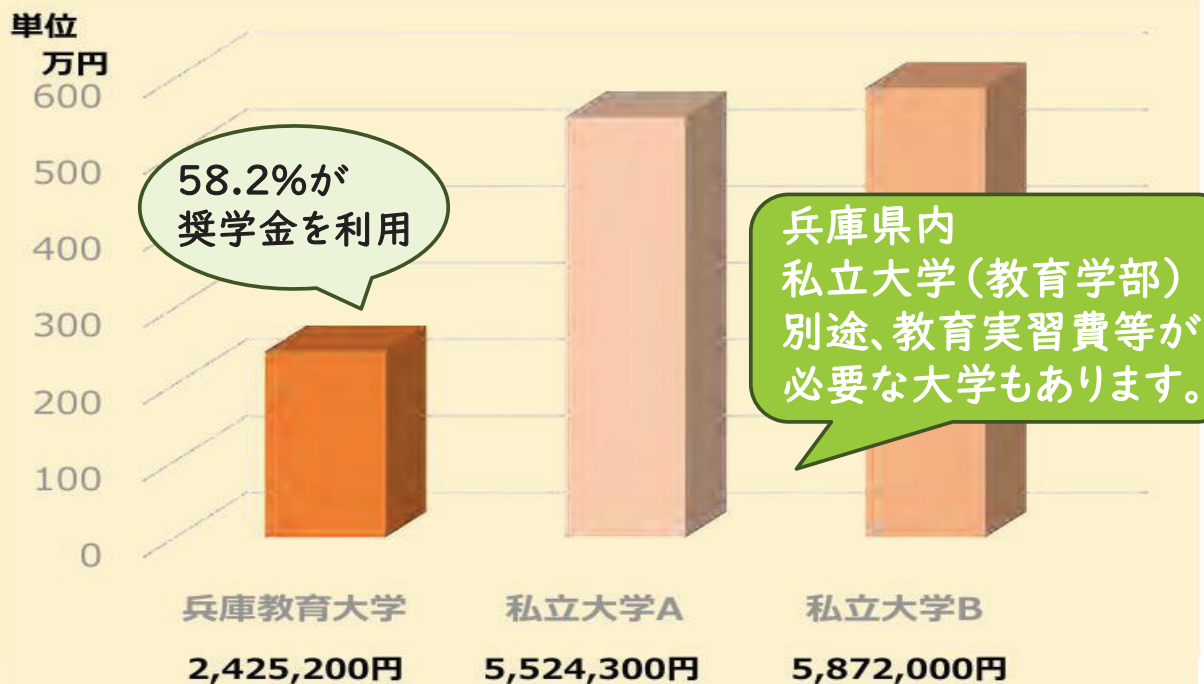
加東市内の
巡回バス運行
(1日4便)

令和7年4月
学部入学者



学費（4年間）を比較すると..

16



入学料 282,000円
授業料 535,800円(年額)

令和9年度入試の変更点

17

選抜区分	募集人員	大学入学 共通テスト	個別学力検査等
総合型選抜 ＜一般枠＞	20人→16人	課さない	・教員志望理由書 ・活動実績報告書 ・学習計画書 ・個人面接 (プレゼンテーションを含む)
総合型選抜 ＜地域教員希望枠＞	8人	課さない	・教員志望理由書 等 ・小論文 ・個人面接
「但馬地域」「丹波地域」「播磨西地域(姫路市除く)」で 小学校又は中学校教員として地域に貢献しようと強く希望する人			
学校推薦型選抜	60人→56人	3教科 [文系重視型] [理系重視型]	・個人面接
一般選抜(前期日程)	70人→80人	6～7教科	・小論文A ・小論文B ・集団面接
一般選抜(後期日程)	募集停止		

総合型選抜

18

＜地域教員希望枠＞について

「但馬地域」「丹波地域」
「播磨西地域(姫路市除く)」で
小学校又は中学校教員として
地域貢献を強く希望する人



入試 兵庫教育大学入学選抜試験

対象3地域での教員就職希望
生徒を対象に
**総合型選抜＜地域教員
希望枠＞による入試**
を実施します

入学前教育

合格者を対象として
本プログラムの円滑
な受講を図るための
入学前教育を
実施します

カリキュラム等

- 正課内外での**教育現場体験**を拡充します
↓
地域の教育を学ぶためのバスツアーなども実施予定
- 学校教育学部(各教科のグループ)に加え、
ひょうご**地域教員養成プログラム**の独自科目など
を履修します

科目名	単位数
地域と教育(兵庫の教育の特色と課題)	2単位
シナジーシップと教育	1単位
体験教育の理論と実践	1単位
へき地・小規模学校教育の実態	1単位
地域教材開発・活用実習	1単位
- コーディネーター(実務家教員)や学内の各センターと連携し、
修学を支援します
- プログラム受講生のクラスミーティングやPBL(課題解決型学習)
などを実施します



オープンキャンパスで、
プログラム体験ができます。

オープンキャンパス2026 ご案内

夏・2026年7月18日(土) <開催済み>

午前の部 9:30~12:30(9:00から受付)

午後の部 13:30~16:30(13:00から受付)

*各回 440名

満員御礼

秋・2026年10月4日(日) <事前申込制>

*詳細は決定次第、ホームページで
公表します。

貴校の生徒さんに
ぜひお薦めください!

教師になりたい人
集まれ!

教師になるのを
迷っている人も!

参加費
無料

ひょうご教師みらいセミナー2026
in Tajima

教師になること、但馬の教育のよさを
まるごと学ぶ一日!

日時

令和8年8月24日(月) 10:00~15:00

会場

豊岡市民プラザ(豊岡市大手町4番5号アイティ7階)

対象

但馬地域の高校に通学する高校2年生以上の高校生

プログラム

○受付(9:30~)

○開講式(10:00~)

○教師セミナー(10:10~)

・教員採用試験等について
(講師:兵庫県教育委員会)

○大学授業体験(11:10~)

・但馬の学びって何?(講師:兵庫教育大学 神田貴司准教授)

○講義・演習(13:00~)

・演劇的手法を用いたコミュニケーション能力向上について
(講師:芸術文化観光専門職大学 平田オリザ学長)

申込方法

右のQRコードから申込をしてください

締切

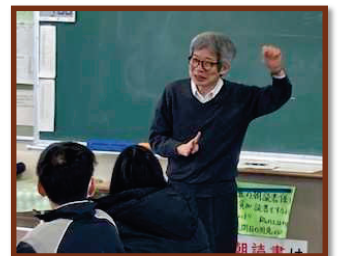
令和8年7月13日(月)

問い合わせ

兵庫教育大学教職デザイン課(キャリアセンター内)

電話:0795-44-2391 e-mail:kykk-chiki@ml.hyogo-u.ac.jp

参加
募集



(申込フォーム) ひょうご教師みらいセミナー2026 in Tajima ~先生になること、但馬の教育のよさをまるごと学ぶ1日!



兵庫教育大学大学院について

21

連合学校教育学研究科(博士後期課[36名])

- ・本学を基幹大学として、上越教育大、鳴門教育大、岡山大、岐阜大、滋賀大からなる連合大学院

学校教育研究科[300名]

- ・現職教員のリカレント教育の拠点
- ・修士課程 2専攻8コース
- ・専門職学位課程 1専攻9コース
- ・連携協力校(200校以上)
- ・フラッグシップ科目の大学院展開

＊神戸キャンパスを拠点とするコースあり(3コース)
＊16コースでフレックスクラスを開設!

教育プログラム等

＊それぞれのプログラム等に参加できるコースやクラスは指定されています。

- ・ダブルディグリープログラム
- ・他教科免許状取得支援
- ・小中連携教育プログラム
- ・研究力向上特別プログラム
- ・理数系教員養成特別プログラム
- ・コア・サイエンス・ティーチャー養成プログラム
- ・小学校理科専科プログラム
- ・言語系コース海外留学プログラム
- ・健康教育実践プログラム
- ・心理支援実践プログラム
- ・特別支援教育プログラム
- ・子育て支援コーディネーター養成プログラム
- ・職場適応援助者養成研修(厚生労働省認可)

教師教育の
トッランナー
を目指す!

22

令和8年度 大学・高等学校教育研究懇談会（兵庫教育大学への質問事項）

質問番号	質問内容	回答
ア 教育方針・教育内容・研究内容等について		
1	・ICT教育の実施状況と、ICT教育の環境整備状況について教えてください。	既設の授業科目「情報処理基礎演習」「A I・データサイエンス基礎」「教育データサイエンス」「教育情報化概論」に加えて、令和6年度から「デジタル学習環境と情報活用」「小学校プログラミング教育教材論」「情報モラル・セキュリティ教育論」の3科目を新設してICT教育の充実を図っています。 また、令和5年度に「A I・データサイエンス基礎」「教育データサイエンス」の2科目から成る本学「数理・データサイエンス・A I教育プログラム」が、文部科学省の「数理・データサイエンス・A I教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」に認定されました。本プログラムとSTEAM教育、EdTech・ICT活用教育等の関連科目を履修することにより、学校現場でデータ・A I活用ができる教員の養成を目指しています。 環境整備については、学内各所に無線LANを整備しつつ、ICT教育推進のため、従来からある情報教育実習室（1～5）に加えて、令和4年度にSTEAM Lab（スチームラボ）1室、令和6年度にイノベーション・コモンズ1室を設置しました。さらに令和7年度には、より充実した学修環境を整えるため、新たにSTEAM Lab II、イノベーション・コモンズA及びイノベーション・コモンズLを整備しました。 また、令和7年度入学生からはBYODをiPadからWindows端末に変更し、様々な端末によるICTを活用した授業を体験させるため、Chromebook60台を利用できる教室とiPad24台を利用できる教室を整備しました。
2	・「情報」免許状取得に向けた取組状況について教えてください。（特に兵庫県では情報以外にもう1教科の教員免許状が必要ですが、どのように指導されていますか。）	令和6年12月に文部科学大臣から高等学校教諭一種免許状（情報）の課程の認定を受け、令和7年度入学生から高等学校教諭一種免許状（情報）の取得が可能となりました。学生の希望や1年次の学びを基に配属される「技術・情報グループ」の学生を中心に、2～4年次を通して所定の授業科目（30単位）を修得することで、当該免許状を取得できます。 また、本学では2教科目登録という制度を設けており、本制度を利用することで所属グループと異なる教科の中学校教諭二種免許状の取得が可能です。中学校教諭二種免許状の必修科目に追加して単位を修得することで高等学校教諭一種免許状の取得を目指すこともできます。今後、高等学校（情報）の教員を目指す学生には、情報に加えて他の教科の高等学校教諭一種免許状を取得することについて指導していきたいと考えています。

質問 番号	質問内容	回答
イ 入学者選抜全般について		
3	・R 8 年度入学者選抜結果の詳細を教えてください。 募集人員を変更したことにより、入学した学生の気質等に変化は見られますか。	参考資料 1 「令和 8 年度入試結果の概要」のとおりです。 https://www.hyogo-u.ac.jp/admission/education/R8_gakubu_nyushikekka.pdf なお、今年度実施の入試から募集人員を変更するため、まだ入学者はありません。
4	・学校推薦型選抜の実施時期を変更したことによる入試結果の変化はありましたか。	早期に志望校を決定している、意欲の高い学生を確保できたと考えています。
5	・総合型選抜において、活動実績としてどの程度の実績を期待されていますか。出願前に生徒への適切な指導を行うために、教えていただけるとありがたいです。	出願要件に記載のとおり ・全国レベル又は都道府県レベルの競技会やコンクール等において、優秀な成績をおさめた者 ・各種の語学検定試験や技能検定試験等において、その技能の高さを証明できる者 ・ボランティア活動や社会貢献活動等において、第三者機関からその実績を高く評価された者 ・生徒会活動において、生徒会長又はそれに準じる役職として優れたリーダーシップを発揮したことを、出身学校長から高く評価された者からの志願を期待しています。
6	・個人面接で行われるプレゼンテーションについて、具体的内容、形式、時間、事前準備等について、詳しく教えていただけるとありがたいです。	プレゼンテーション用に持参した資料（A 4 用紙、片面 3 枚以内）を用い、面接員に対して口頭で行います。時間は10分。タブレット等の電子機器類は使用不可。楽器や作品等の持ち込み不可。 詳細は、参考資料 3 「令和 9 年度学生募集要項【総合型選抜＜一般枠・地域教員希望枠＞、学校推薦型選抜】」でご確認ください。
7	・学校推薦型選抜において、文系重視型と理系重視型の合格者数は元々決めてあるのでしょうか。それとも文系重視、理系重視を合わせた中で、全体の高得点者から合格者を決めるのでしょうか。	文系重視型と理系重視型に人数の枠はありません。 大学入学共通テストの成績及び面接の成績を合計し、得点の高い者から順に合格者を決定します。
8	・総合型選抜と学校推薦型選抜のどちらを受験するか迷っている生徒を指導するために、各方式で求める受験者像や各方式に対する受験生の向き不向き等について、お考えをご教示ください。	総合型選抜では、「優れた技能や得意分野を持った者」を要件とし、学校推薦型選抜では、「出身学校長が、教員となるにふさわしい資質、適性、意欲等を有する者として、責任をもって推薦できる者」を要件としています。 なお、総合型選抜では大学入学共通テストを課しませんが、学校推薦型では大学入学共通テストを課しています。

質問 番号	質問内容	回答
9	・学校推薦型選抜および総合型選抜入試の募集枠は今後増えていくのでしょうか。	総合型選抜＜地域教員希望枠＞の新設と一般選抜（後期日程）の廃止に伴い、今年度実施の入試において募集人員を変更したところであり、今後の募集人員については、現行の入試状況を踏まえ検討することとなります。 新設された総合型選抜＜地域教員希望枠＞の詳細は、参考資料3「令和9年度学生募集要項【総合型選抜＜一般枠・地域教員希望枠＞、学校推薦型選抜】」でご確認ください。
10	・一般前期試験のみ面接形式が「集団面接」であることの意図はどのようなものでしょうか。	一般選抜（前期日程）では、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を重視しているため集団面接を実施しています。
ウ 入学後の学生の状況等について		
11	・生徒の通学手段とそのおよその割合を教えてください。	令和7年度に行った学生生活実態調査によると、自宅通学者が46.8%、学生寄宿舍入居者が33.7%、下宿等が19.5%を占めています。通学手段については、同調査によると、自家用車が52.1%、徒歩30%、JR2.9%が上位を占めています。
12	・2年次以降も希望すれば全員学生寮に入居できますか。	現在、学生寄宿舍の計画的な管理運営のため、入居に関しては入試の選抜区分ごとに、入学手続時に入居募集を行っています。追加の入居募集については不定期のため、2年次以降に入居を希望されても入居できない可能性があります。
13	・大学の周辺にアルバイト先は十分あるのでしょうか。また、アルバイト先やアルバイトに就いている学生数を教えてください。	大学の周辺（加東市街）に、コンビニや飲食店等があります。令和7年度に行った学生生活実態調査によると、97.4%の学生がアルバイトを行っており、アルバイト先については、家庭教師が5.3%、自然学校等の指導補助員が9.7%、塾の講師が41.8%を占めています。その他、販売業が19.7%、サービス業が68.9%を占めています。
14	・心のサポートが必要な学生や障害のある学生に対する支援について教えてください。	心身の悩みや不安、大学生生活上の精神的な悩みごとについて、保健管理センターの医師又はカウンセラーが相談に応じています。また、障害学生支援室を設け、特別支援コーディネーターが毎日常駐しており、障害や疾患を持つ学生に対して、障害のある学生一人ひとりの希望に合うように、学内外の様々な機関と協力しながら、障害学生本人との話し合いを通じて、支援・配慮の内容を決めています。
15	・トランスジェンダー等の学生に対して、施設面で配慮していることや、配慮を検討されていることがありましたら教えてください。	学内の各建物に多目的トイレを設置しています。令和7年度便所改修では、トランスジェンダーの配慮として、従来の青／赤の配色ではなくモノトーン色のサインを採用しました。引き続き、老朽狭隘や安全安心等を目的とした便所改修工事のタイミングで更なる機能向上（吊り輪手すりやフィッティングボードの設置等）に取り組んでいます。 フィッティングボード：トイレ内で靴を脱いで着替えが出来る設備

質問 番号	質問内容	回答
エ 卒業後の進路（教員採用試験・進学・就職等）について		
16	・教員採用試験の合格率と全国順位を、可能であれば教えてください。	令和6年度卒業生の教員採用試験1次試験合格率は92.2%、最終合格率は69.0%でした。また、文部科学省発表の教員就職率（臨時講師を含み、進学者・保育士を除く）は77.5%で、国立大学教員養成課程44大学中9位でした。
17	・小・中・高への採用状況と中・高の教科別について教えてください。正規採用・臨時採用の人数（割合）や都道府県ごとの人数についてもお願いします。	令和6年度卒業の教員就職者は100名で、正規採用は77名、臨時採用は23名でした。校種別の人数は、小学校教員62名（うち臨採13名）、中学校教員22名（うち臨採6名）、高等学校教員7名（うち臨採3名）、認定こども園・幼稚園教員9名（うち臨採1名）です。そのほか教員とは別に、7名が保育士として就職しています。中学校の教科別採用状況は、国語7名、社会2名、数学5名、理科2名、英語4名、家庭2名で、高等学校は地歴公民1名、数学3名、理科1名、英語2名です。また、小・中・高の都道府県等別採用者数は、兵庫県56名、神戸市15名、横浜市、大阪府、大阪府豊能地区、沖縄県が各2名、岐阜県、愛知県、名古屋市、大阪市、和歌山県、香川県、愛媛県、福岡市が各1名、そのほか国立大附属学校1名、私立学校3名となっています。
18	・近年の教職員数の不足に対して特に育成する側として取り組まれていることはありますか。	本学では、授業や就職支援などで、教員はもとより、現職教員（大学院学生）、学校現場で活躍している先輩や学校長から、様々な場面において教職の実情とともに体験談、教職の魅力ややりがいを学生に伝えています。その結果、近年においてもこれまでと同様の高い教員就職率を維持しています。
19	・企業への就職を志望する学生に対するフォローアップはなされていますか。	本学は教員養成大学のため、進路変更をして企業就職を目指す学生はかなり少数です。そのため、日常的に支援を行うことはしていませんが、近隣のハローワークと連携して、月に1、2回程度キャリアコンサルタント相談会を学内で実施しており、希望者は就職活動に関するアドバイスを受けることができます。また、面接マナー練習会など、教員・保育士以外の進路を希望する学生にも役立つ講座を開講しています。
20	・障害を持つ学生の、具体的な就職活動状況や進路先について教えてください。	大学院学生の実績となりますが、障害を持つ学生の多くが教員になることを志望しています。教職キャリア開発センターが実施する講座や練習会では、それぞれ要望に応じて、手話通訳の手配など可能な範囲で個別に対応しています。教員採用試験では主に「障害者を対象とした特別選考」等により受験し、正規採用で教職に就いている学生もいます。

質問番号	質問内容	回答
21	・受験する校種や都道府県に対応した教員採用試験指導（対策）を行っていただけるでしょうか。	教職キャリア開発センターでは、公立小学校・中学校・高等学校の元校長などがキャリア開発指導員を務めており、個人面談では校種など学生の要望に応じてアドバイスをしています。多くの学生を対象とした講座などは、受験者数が多い兵庫県の内容が中心となりますが、模擬面接や模擬授業、場面指導などの個別の支援は、希望自治体・希望校種の実施形態を考慮して行っています。
22	・大学院に進学してから教職に就く利点はなにか。学生に大学院進学を勧めておられますか。	・急激に変化する社会の中で、学校現場が抱える教育課題は多様化・複雑化するとともに、学習環境を取り巻く状況も大きく変化し、教員にはこれらに対応する資質・能力が求められています。本学大学院で学ぶことにより、これらに的確に対応できる、教科や教職に関する高度な専門的知識や新たな学びを展開できる実践的指導力を身に付けて教職に就くことは大きな利点であると考えます。 ・多くの教育委員会では、大学院入学前に教員採用試験に合格した場合、採用時期を修了時まで延長する措置がとられており、大学卒業後直ちに入職するよりも初任給が高くなり、また、本学における奨学金給付や日本学生支援機構の第一種奨学金返還免除制度（要件を満たすことで、大学院在籍時に貸与を受けた日本学生支援機構の第一種奨学金の返還が免除される制度）を活用できるなど、経済的にもメリットがあります。 ・学部学生向けに開催する大学院進学説明会で大学院進学のメリットを説明するなどし、大学院進学を勧めています。
23	・教員免許を取得しながら、教員採用試験を受験しなかった学生はどれくらいいるでしょうか。その理由も含めて教えてください。	令和6年度卒業生158名のうち教員採用試験を受験しなかったのは29名です。その理由は、保育士採用試験受験6名、特別支援学校教諭免許状取得などを目的とした大学院進学6名、臨時講師希望2名、海外留学1名、進路変更13名（民間企業就職者6名、公務員就職者6名、その他1名）、進路未定1名となっています。

オ 高大連携の取組等について

24	・現時点でも多くの高校と貴大学で連携がなされていると思いますが、連携のあり方について、さらに広げる方向でしょうか。または、連携の効果的運営の観点から連携先を絞ることは考えていますか。	・令和4年度より、高大連携教育協定締結校を、7校から23校に拡大しました。現在は協定校数の拡大よりも、大学体験プログラムの実施、高校への講師派遣等連携内容の充実に努めていきたいと考えています。
25	・高校との連携について、連携先、具体的な例や特徴的な活動を教えてください。	・大学体験プログラムの実施(対面) ・高校での探究学習等における大学教員講師派遣 ・大学の施設を使用しての高校生への実験観察等の補助

質問 番号	質問内容	回答
カ その他		
26	・現在、試用運行中の西神南シャトル便の利用状況と今後の展望について教えてください。	令和7年度1年間の1便あたりの平均乗車人数は約9人です。また、今後の展望については、令和9年度まで試行的に運行し、その間の利用状況によって、令和10年度以降も継続運行するかを決定する予定です。

7 質疑応答・懇談（記録・要旨）

高校（校長）： ご丁寧な説明ありがとうございました。兵庫教育大学の様子であるとか、それからまたその先の就職のことであるとか、よくわかりました。

その資料 5 のところですが、一通り回答はしていただいておりますが、もう少し踏み込んで、お聞きしたいというか、それ以外記載以外のところも、もし、おありでしたら詳しくお聞きできたらと思っておりますので、今から何点か質問番号を申し上げますので、そちら少しご説明いただけたらと思っております。よろしいでしょうか？

まず、質問番号の 1 です。ICT 教育の実施状況と ICT 教育の環境整備状況について。それから 2 つ目で、情報の免許に関すること。それから、質問番号の 9 ですね、学校推薦型選抜及び総合型選抜の募集枠のこと。それから、質問番号の 22、大学院進学してからの教職に就く利点。それから、24 番、現時点での多くの高校との連携というところ。それから、25 番の、特徴的な活動。それから最後の 26 番ですね、西神南のシャトルの利用状況と、その辺りをお聞きできたらと思います。よろしくお願いします。

司会： ありがとうございます。それでは質問番号 1 と 2 の ICT 教育の関係と情報の免許取得につきまして、学長よろしくお願いいたします。

大学（学長）： 「AI データサイエンス基礎」や「教育データサイエンス」、この 2 科目に関しましては、いわゆる国の MDASH という、数理・データサイエンス・AI 教育プログラムのリテラシーレベルの科目に認定されてるものになっています。

こちらに示しています「教育情報化概論」や「デジタル学習環境と情報活用」など、ICT 系の科目がたくさんあるんですけど、これは全て教員養成フラッグシップ大学で開発した科目となっておりますので、他の教員養成系大学にはこういった科目は存在していない、本学独自の科目となっております。

加えて、これは特定の教科、例えば中学校の技術や高校の情報の教員になるための科目ではなく、小学校教員免許を取得する全ての学生が必修で履修をしているということになりますので、こういった科目の単位を取らないと本学は卒業できないという体制を整えております。

また、それに加えて、環境整備ということで STEAM ラボやイノベーションコモンズを設けていますが、ご存じの通り、兵庫県は小学校、中学校、高校、それから地域によって、1 人 1 台端末の機種が違っていたり、導入されているクラウドの種類が違っていたりということがありますので、本学では、学生に、iPad、Windows 端末、Chromebook 端末、この 3 種類を必ず触ることができるような環境と、そういった授業科目を設定しているというのが、1 番のところでございます。

2 番につきましては、特に兵庫県は情報以外にもう一つ教科を持つておかなければならないとい

うお話がございすけれど、この辺り、現在の中教審での学習指導要領の改定において、特に高校に関しては、情報Ⅱの履修をこれから推進していくということになってまいります。そういった中、高校情報の免許を持っている学生がこれから必要になってくるかなと思うんですけど、本学では、技術情報グループというグループがございまして、そこで中学校技術と高校情報の免許を取得することになっています。

加えて2科目登録ということで、大体2科目取って、2、3個免許取っていく学生が多いので、高校の教員採用を情報でしたいという学生に関しましては、しっかりもう一教科の免許状取得ということについても指導していくということで考えているところでございます。

司会： 続きまして、質問番号9の学校推薦型選抜及び総合型選抜の入試の展望につきまして、秋光副学長よろしく願いいたします。

大学（秋光理事・副学長）： ご質問ありがとうございました。募集枠は今後増えていくのでしょうかということですが、特に地域枠の方ですね、地域枠については今年度初めてのところですので、やってみてその動向を見てっていうところがあるかなと思っております。

学校推薦型選抜と総合型選抜っていうのは、ある程度、募集できる人員っていうのが定められていますので、それが増えていくのは難しいかと思うんですけど、その中でも、受験生の方ができるだけ早く結果を、自分の進むべき大学を決めていきたいという動向があるというのは我々も承知しておりますので、そのような高校生たちのニーズを踏まえて、どのように対応すべきかということとは、これからも考えていきたいと思っております。

地域枠について先ほど少し説明させていただきましたけれど、我々もそして受験生の皆さんも高校の方も、まだ手探りというところがあるかと思っておりますけれど、その3地域でしっかりと根付いて、どこの地域から、県外からでも受けられるんですけど、おそらくその地元の高校生が受けようというような気持ちになられることが多いのかなと思っておりますので、ご自分の地元、育ってきたところにしっかりと教員として貢献・恩返しし、今度は自分が子どもたちを育てる側になるという強い気持ちを持っている高校生を迎え入れてしっかりと育てていきたいと考えています。

先ほど少し紹介させていただきましたように、入ってからはプラスアルファのプログラムを科目として履修してもらうことになりますので、そういったものもしっかりと学べるよっていうことと同時に、少しプラスアルファの負担もあるんだよって。でもそれを通してより地域に密着した教員になることができるよっていうことも是非お伝えいただければありがたいなと思っております。

司会： 次、質問番号22の大学院への進学につきまして、森副学長よろしく願いいたします。

大学（森理事・副学長）： 本学におきましては、本学の学部学生、それから他大学の学部学生向けに、大学院説明会等を開いております。その際、大学院進学の特長をご説明して、大学院進学を勧めているような状況があります。

本学の学部卒業生は割合すぐ就職される方が多かったんですけど、最近だんだんと大学院進学者も増えてきております。その背景にあるのは何かと言うと、やはり、近年、非常に教育環境が複雑化していること、それから、学習観の転換、学習環境が大きく変わっているというようなことで、学部時代に勉強していることだけではちょっと足りないんじゃないかということ、興味を持つということと、さらに自信を持って教壇に立つということを求めて、進学しているんじゃないかなと分析しているところです。

特に本学の場合は、現職の先生方も大学院に在籍しておられますので、一緒に学べる、実践的なことが話し合えるということで、そういったところも大きなメリットになるのかなと考えております。

合わせまして、経済的なメリットというのがあります。多くの教育委員会の方からは、採用猶予制度というのをお認めいただいております。学部時代に合格して、採用猶予を受けさせていただいて、大学院で学ぶと。その際、大学院時代にいただく日本学生支援機構の第一種奨学金などに関しましては、返還免除制度というのがございますので、そういったところでも場合によっては非常に経済的なメリットを享受しながら大学院で学ぶということが可能になっているというようなことがあり、大学院進学にはいくつかのメリットがあると説明しているところでございます。

司会： 続きまして、質問番号 24 と 25 の高校との連携のあり方や特徴的な活動につきまして、秋光副学長よろしく願いいたします。

大学（秋光理事・副学長）： 24 と 25、合わせてということで、少しお伝えしたいと思います。令和 4 年度当時から比べますと、7 校から 23 校と 3 倍以上に協定締結校が増えているんですけど、今後はさらに増やしていくというよりは、すでに締結している学校様とより深い連携をしていければと考えております。

実際に大学体験プログラムも複数ありまして、1 つの学校で大学訪問していただいて本学教員のミニ講義を受けていただくとか、学内ツアーをすとか、そういったものもあります。また、複数の連携校の生徒が同じ日に来て、本学の「嬉野祭」という大学祭の日にやっているんですけど、大学祭を見ながら、そして各校の卒業生ですね、本学に在学する高校生にとっては OB・先輩の皆さんから「兵教、実際どうなん？」みたいなことで座談会をするということもさせていただいたり、学内ミニツアーで兵教大の生の姿を見ていただくということをしております。

25 にあります高校での探究学習等における大学教員の講師派遣ですけど、こちらは社会貢献、地域貢献というものを 1 つの大学の柱として非常に大切にしておりますので、もしご希望があった

場合には、本学のホームページの社会連携センターというところがあるんですけど、そこからどのように講師派遣を依頼すればいいのかという手続きのことであるとか、あるいは本学の131名の教員のこういったことが研究キーワードになるのか、あるいはそれぞれの所属するコースの一覧もありますので、そのようなコースのお名前から「あ、そういうことが専門ならうちに来てもらえるんじゃないか」というようなことのヒントを得ていただくとか、そういうページもありますので、是非、大学ホームページもご活用いただければなと思っております。

単発だけのゲストティーチャー的なこともできますし、場合によっては1年間を通しての共同研究みたいな形もできるかなと思っておりますので、そういったことも事前にご相談いただければ担当部署の方と一緒に考えていくということができるかなと思っております。

司会： それでは、一番最後の質問番号 26、試行運転中の西神南シャトル便の利用状況と展望につきまして、秋光副学長よろしく願いいたします。

大学（秋光理事・副学長）： 現状としまして、一便平均9人というところなので、必ずしもたくさんの方が利用されてるということではないんですけど、ご想像の通り、やはり4月、5月は多いですね。ミニバン、マイクロバスの的なものを使ってるんですけど、かなり乗車は多いです。先ほども申しましたように、学生たちも自分で運転免許を取れば、バスではなく自力で通学ということが増えてきますので、年を通して言えば平均9人というところですよ。

ただ、学生アンケートであるとかオープンキャンパスでのアンケートを見ますと、やはり、西神からのバスには皆さんにとっての関心が高いところですので、そのような動向を踏まえながら、来年度まで試行的に運行して、それ以降継続するかどうかを考えるという状況になっているところで

8 閉会挨拶（要旨）

兵庫教育大学 森山 潤 学長

皆様、本日は長時間にわたりましてご参加をいただき誠にありがとうございました。

前半は入試情報の共有、後半は山本助教の探求についてのご講演ということでございました。前半も後半も、私にとりましては大変有意義な時間となりました。ありがとうございます。

まず、前半に絡めて、本学への進学ということに関しまして、秋光副学長や入試課から説明させていただいた通りであります。地域教員希望枠の設置や後期日程の廃止など、いくつか重要な変更点がございましたので、ご確認をいただければと思います。

その上で、改めて私から、高校生の皆さんに是非お伝えいただきたいこと、3点を強調させていただきたいと思います。

1点目は、教職の魅力についてでございます。教員という職業が、社会にとってはなくてはならない極めて重要な仕事で、この先人工知能 AI がどれだけ発展しても、仕事のあり方は大きく変わるでしょうけれど、人と人との関わりを基盤とする教員という仕事なくなるということは決してないと思っております。そして、教員の仕事は、とても奥深く、職業人生をかけて挑戦するに値する、創造的でやりがいのある仕事だということでございます。本日の山本助教の講演も、そういったところに繋がるかと思いました。そうした教職の魅力を、高校生の皆さんに是非ともお伝えいただければと思います。特に現職の先生方が、こうした教職の魅力を高校生にダイレクトに語っていただくということは、とても大切だと思っておりますので、是非ともよろしくお願いいたします。

2点目は、そうした教員を目指すという場合、是非とも教員養成系大学・学部への進学ということをお願いしたいということでございます。一般学部の教職課程でももちろん免許は取得でき、専門を深めるという観点では、特に高校の先生方の養成ということには適していると感じておりますが、単位取得の負担などから途中で離脱してしまうケースがあったり、単一の教科の免許しか取れなかったり、あるいは、小学校や幼稚園の免許は取得できないということがあったりします。そういった観点で特に幼稚園、小学校、中学校の教員を目指すのであれば、教育についてより深く学べる、教員養成系大学・学部を是非お勧めしたいと思っております。

3点目は、そのような教員養成系大学・学部の中でも、兵庫県で教員を目指すのであれば、是非兵庫教育大学へ、ということでございます。秋光副学長の話にありました通り、兵庫教育大学は教員養成フラッグシップ大学で、他の教員養成系にはない新しい学びがたくさんあります。そういったところを是非ご紹介をいただければと思います。特に、今年度から始まります地域教員希望枠の入試についても、ご周知をいただければと思います。

最後になりますが、今後も県立の高校の先生方、教育委員会の皆様とは、さらに深い連携を進めていければと考えております。今後も大変お世話になりますが、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

本日は本当にありがとうございました。

お礼 編集後記

令和8年度大学・高等学校教育研究懇談会が、兵庫教育大学、兵庫県立大学、芸術文化観光専門職大学の関係者の皆様のご尽力と、県立学校長協会をはじめ、県内各高等学校の校長先生、進路指導関係の先生方等のご参加により、有意義な懇談会となりました。心より御礼申し上げます。

本会は、県内公立大学との教育懇談会として昭和53年に始まりました。令和2年度からのコロナ渦による対面開催中止（報告集での書面開催）を経て、令和5年度から対面開催を再開し、進路指導に携わる多くの先生方の献身的なご尽力により本年度で第48回を迎えることができました。

今年度の懇談会も、より多くの高校の先生方に参加いただけるよう、対面に加えてオンラインでの開催や、これからの学校現場における課題の一つとなっている探究学習を生かした進路指導のあり方に関するご講義をいただくなど、各大学より多大なご配慮いただきました。懇談会では、各大学の入試制度、教育内容、学生生活、学生の進路状況等に加えて、新たな知の創造をめざした教育改革や、若者支援、地域創生、探究的教育活動へのアプローチ等々、様々な観点からのご説明・ご講義をいただくとともに、大学関係者の皆様との意見交換をとおして、高校生のキャリア教育・進学指導に資する多くの情報を得ることができました。

本報告集は懇談会に参加できなかった学校の先生・生徒の皆さんにも、3大学のことを知っていただくため、毎年発刊しています。本報告集が、各高等学校の進路指導に役立てられ、生徒のキャリアプランニング及び自己実現を図るために活用されることを心から願うとともに、来年度もこの懇談会が実施でき、多くの先生方が本懇談会に参加されることを願っています。

最後になりましたが、兵庫教育大学、兵庫県立大学、芸術文化観光専門職大学の益々のご発展をお祈り申し上げ、編集後記といたします。

発行 令和8年10月

編集 兵庫県立学校長協会進路指導委員会副委員長

足立 幸 謙（兵庫県立大学附属高等学校長）